

## 第 I 部 調査結果の概要

## 第1章 調査の概要

### 1. 調査の目的

近年、非正規雇用の増大など就業形態が多様化し、勤労者の就業意識も変化するなかで、仕事を複数持つ人（複数就業者）も見られるようになってきている。こうした複数就業者が増加すると、労働災害時の賃金等の算定の在り方が今後課題となる可能性もある。しかし、複数就業者が本業、副業それぞれで得ている収入や労働時間など具体的な就労状況については、これまであまり調査されていないのが実情である。そこで当機構では、副業における就業形態や賃金、労働時間等の実態を明らかにするため、実際に副業を行っている人を対象としたアンケート調査を実施した。本報告はこの結果をとりまとめたものである。なお、当調査は厚生労働省からの要請に基づき実施したものであり、調査結果は今後の政策立案のための基礎資料に活用されることになっている。

### 2. 調査方法

インターネット調査<sup>1</sup>。

### 3. 調査機関

楽天リサーチ株式会社。

### 4. 調査対象

楽天リサーチが保有する全国の約 136 万人（調査実施時点）の登録モニター（以下「モニター」という）のうち、モニター登録上の職種が「公務員・団体職員」 高校生以下の「学生」 「無職」 「その他」 となっている者を除く 18 歳～64 歳の男女、82 万 5,230 人。

### 5. 実施方法

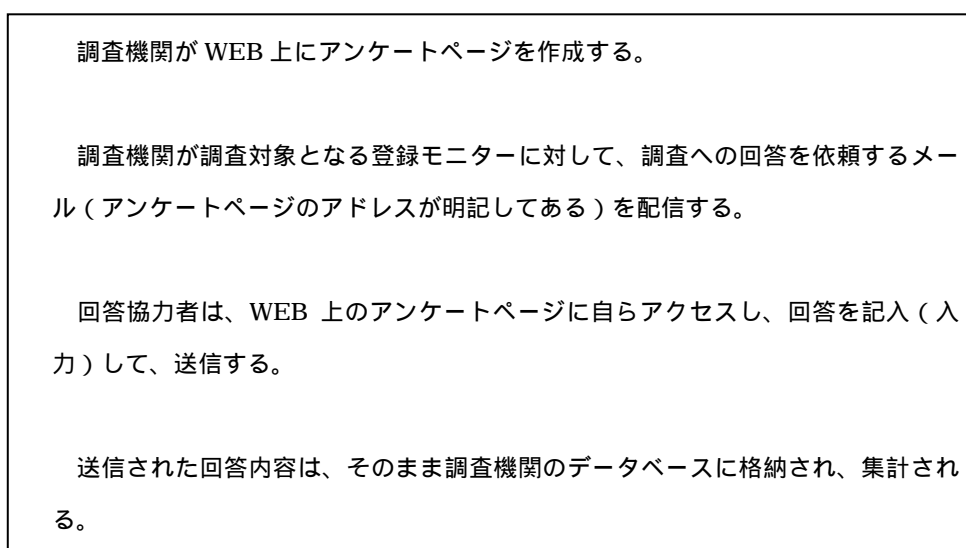
具体的な実施方法は以下のとおりである。

---

<sup>1</sup> インターネット調査採用の主な理由は以下の2点である。第1は、出現率の低い複数就業者のサンプルを一定数以上確保するためである。複数就業者の出現率が低いことは、総務省の「平成19年就業構造基本調査」の結果からあらかじめ確認できる（同調査では副業を持つ人の割合は有業者全体の4.0%である。本報告書P.67参照）。回答率も考慮すると、郵送調査で副業者のサンプルを一定数確保しようとするならば、相当大規模な調査を実施する必要がある。その点インターネット調査では、非常に大規模なモニターを保有する機関もあることから、比較的容易に大規模な調査母集団を確保できるとともに、登録モニター数から逆算することによってある程度の回収数の目安を付けることも可能である。第2は調査の簡便性である。当然ながらインターネット上で調査票の配付・回収が済む。回答負担もパソコンを使ってアンケート画面に直接入力していけばよいので高くない。回答結果は自動的に調査機関のサーバーに格納されるため、回答の入力作業が別途発生することもなく、集計も簡易・迅速と言える。ただしインターネット調査では、調査対象が登録モニターとならざるを得ず、調査母集団から無作為抽出されたサンプルでないことから回答結果について代表性があると言えない面があることには注意を要する。またモニターの属性に応じて、回答結果に特有のバイアスがかかる可能性もある。

調査機関が WEB 上に、調査票が画面化されたアンケートページを作成する。次に、調査機関が調査対象のモニターに対し、調査への回答協力を依頼するメールを配信する。同メールには、アンケートページのアドレスが記載されている。回答に協力してくれる人は、自らそのアドレスにアクセスし、画面上でアンケートに回答（入力）していく。回答が終わり送信ボタン（完了ボタン）をクリックすると、回答内容が自動的に調査機関のサーバーに格納される<sup>2</sup>。流れ図にすると図表 1-1 のとおりである。

図表 1-1 調査実施の基本的な流れ



## 6．調査期間

2007 年 11 月 22 日から同月 29 日（調査への回答を依頼するメールの送信開始日から回答を締め切った日まで）。

## 7．有効回収数

調査対象 82 万 5,230 人に調査回答依頼のメールを送信し、17 万 4,318 人から有効回答を得た。有効回答率は 21.1%である。

---

<sup>2</sup> 第 2 章第 1 節で詳述しているが、実際には回答者はスクリーニング調査 本調査のそれぞれに回答しているため、流れ図の ~ までの作業を 2 度繰り返している。

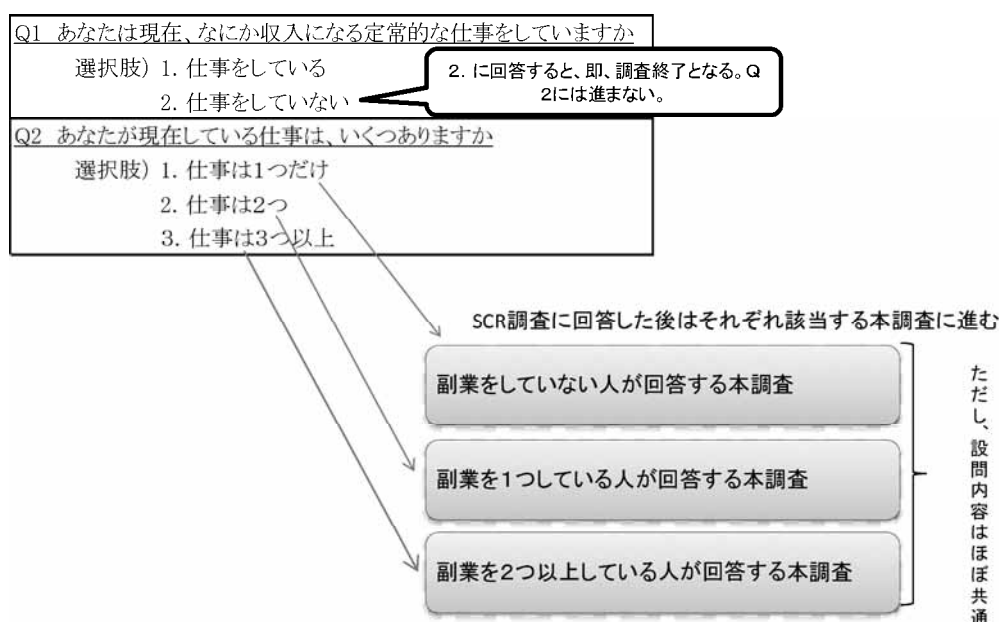
## 第2章 調査結果の概要

### 第1節 副業者の割合

#### 1. SCR 調査

調査機関が保有するモニター会員が調査対象となるインターネット調査では、本調査を実施する前に、あらかじめ調査対象者を絞り込むためのスクリーニング調査（以下「SCR 調査」という）を実施する必要がある。本アンケートにおいても、調査対象者の中から副業をしている複数就業者を識別するため、本調査の前段で SCR 調査を実施した。具体的には、最初に以下の図表 2-1-1 のような SCR 調査に答えてもらうようにした。

図表 2-1-1 SCR 調査の設問



Q2 で「1. 仕事は1つだけ」と回答した人（副業していない人）は、副業していない人が答えるべき本調査画面へ進み、「2. 仕事は2つ」と回答した人（副業を1つしている人）は、副業を1つしている人が答えるべき本調査画面へ、「3. 仕事は3つ以上」と回答した人（副業を2つ以上している人）は、副業を2つ以上している人が答えるべき本調査画面へ進むように設計した。

なお、無職の者はあらかじめ調査対象から除外したにもかかわらず Q1 で現在仕事をしているか否かの設問を置いたのは、モニター登録時は有職でも回答時点で無職となってしまった者もいる可能性があるため、あらかじめ有職者を絞り込むためである。ここで「2. 仕事をしていない」と回答した者は、その回答時点で調査終了となる（SCR の Q2 には進まない）。

また、Q2 の回答によって分岐するそれぞれの本調査の設問構成は、副業に関する部分以外は共通である（本報告書資料 1（71～121 頁）所収の調査票参照）。副業が 1 つの人と副業が 2 つ以上の人の設問構成については、基本的には共通のものとなっており、違いは副業を 2 つ以上している人の本調査では副業の内容等に関して「もっとも収入の多い副業」と「2 番目に収入の多い副業」について同じ設問を繰り返しているため、副業が 1 つの人に比べて設問数が多くなっているところである。

## 2. 副業している人の割合

調査結果（SCR 調査および本調査）をみていくと、有効回答者（17 万 4,318 人）のうち、「仕事をしている」と回答した人は 13 万 3,522 人（76.6%）で、「仕事をしていない」が 4 万 796 人（23.4%）であった<sup>3</sup>。

「仕事をしている」と回答した人に対し、仕事の数を探ねたところ、「仕事は 1 つだけ」（＝副業していない）が 91.9%（12 万 2,719 人）<sup>4</sup>、「仕事は 2 つ」（＝副業を 1 つしている）が 6.4%（8,567 人）で、「仕事は 3 つ以上」（＝副業を 2 つ以上している）が 1.7%（2,236 人）であった。副業している人の割合は、上記の 6.4%と 1.7%を合わせて 8.1%となっている。また、副業している人の 20.7%は副業が 2 つ以上である（図表 2-1-2）。

図表 2-1-2：副業している人の割合

	n	%
全体	133,522	100.0
仕事は 1 つだけ（本業のみ）	122,719	91.9
仕事は 2 つ（副業が 1 つ）	8,567	6.4
仕事は 3 つ以上（副業が 2 つ以上）	2,236	1.7

<sup>3</sup> 「仕事」については「収入になる定常的な仕事」とし、以下のように定義した。

< 調査画面の表示 >

Q1 あなたは現在、なにか収入になる定常的な仕事（以下、「仕事」と略）をしていますか。

ここでの「定常的な仕事をしている」とは、ふだん仕事をしており、今後もしていくことになっている場合をいいます。

年金、利子・家賃、株等の配当、相続などによる収入（例えば、個人的な株のデイトレーディングやネットオークションなどによる収入）は、ここでの仕事には該当しません。

自営業の家族の方が家業を手伝い、少しでも収入を得た場合は「仕事をしている」に該当します。

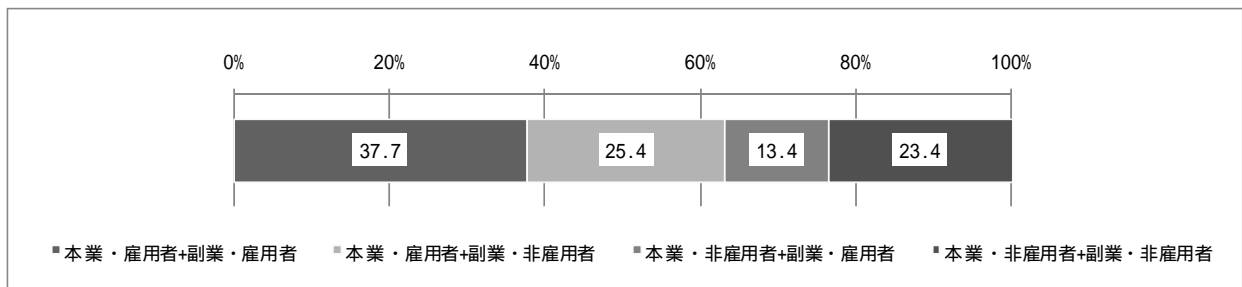
いわゆる専業主婦でも、パートやアルバイト・内職など収入になる仕事をしている場合は「仕事をしている」に該当します。

<sup>4</sup> 「仕事は 1 つだけ」の人（副業していない人）の本調査の回答は、副業している人の回答データと比較するための参考データとして集めたものであることから、12 万 2,719 人の回答のうち 2,000 サンプルをランダム・サンプリングにより抽出し、集計した。

### 3. 副業者の就業形態

副業者の就業形態について、本業の就業形態と主たる副業<sup>5</sup>の就業形態の組み合わせを「雇用者」と雇用者以外の就業形態である「非雇用者」の2区分でみると<sup>6</sup>、本業も主たる副業も「雇用者」であるのが全体の37.7%、本業が「雇用者」、主たる副業が「非雇用者」であるのが25.4%、本業も主たる副業も「非雇用者」であるのが23.4%、本業が「非雇用者」、主たる副業が「雇用者」であるのが13.4%となっている（図表2-1-3）。

図表 2-1-3：副業している人の割合（n=10,803）



## 第2節 副業している人の属性

### 1. 性別

副業している人（以下「副業者」という）の属性について、性別からみていくと、「男性」が45.6%、「女性」が54.4%で、女性の方がやや割合が高い。副業者の内訳でみると、副業1つの人では、男性が44.1%、女性が55.9%と女性が男性を10ポイント以上上回っているが、副業2つ以上の人では男性の方が割合が高くなっている（図表2-2-1）。

図表 2-2-1：副業者の性別（単位：%）

	男性	女性
本業のみの人（n=2,000）	57.2	42.9
副業者（n=10,803）	45.6	54.4
副業1つの人（n=8,567）	44.1	55.9
副業2つ以上の人（n=2,236）	51.7	48.3

<sup>5</sup> 本調査では、「主たる副業」という場合、【副業1つの人の副業（以下「副業」という）の回答結果】と【副業2つ以上の人の副業のうち、最も収入の多い副業（以下「副業A」という）の回答結果】を統合して集計している（したがって、「主たる副業」という場合、副業2つ以上の人の2番目に収入の多い副業（以下、「副業B」）は集計されていない）。これは「副業2つ以上の人」の副業にかかわる設問について、副業Aと副業Bの2種類聞いているためである。ゆえに、副業者全体の賃金や労働時間を集計する際に、便宜上、「副業1つの人」の副業の回答結果と「副業2つ以上の人」の副業Aの回答結果のみを使用した。

<sup>6</sup> ここでの「雇用者」とは、「正社員」「契約・嘱託社員」「パート・アルバイト」「常用雇用型の派遣社員」「登録型の派遣社員」「期間工・季節工・日雇」のこと。「非雇用者」とは、「会社などの役員」「自営業主」「家族従業員・家業の手伝い」「自由業・フリーランス・個人請負（内職含む）」「その他」のこと（以下同じ）。

## 2. 年齢

副業者の平均年齢は、副業 1 つの人が 38.5 歳、副業 2 つ以上の人 が 39.2 歳となっている（本業のみの方は 38.8 歳）。

副業者の年齢を年代別にみると、「30 代」が 38.3%でもっとも多く、次いで「40 代」（32.8%）、「10 代および 20 代」（16.7%）、「50 代」（10.8%）、「60 代」（1.4%）の順となっている。本業のみの方と比べると、副業者の方が「30 代」の割合が 5.1 ポイント程度低いが、「10 代および 20 代」、「40 代」および「50 代」は副業者の方がやや割合が高くなっている（図表 2-2-2）。

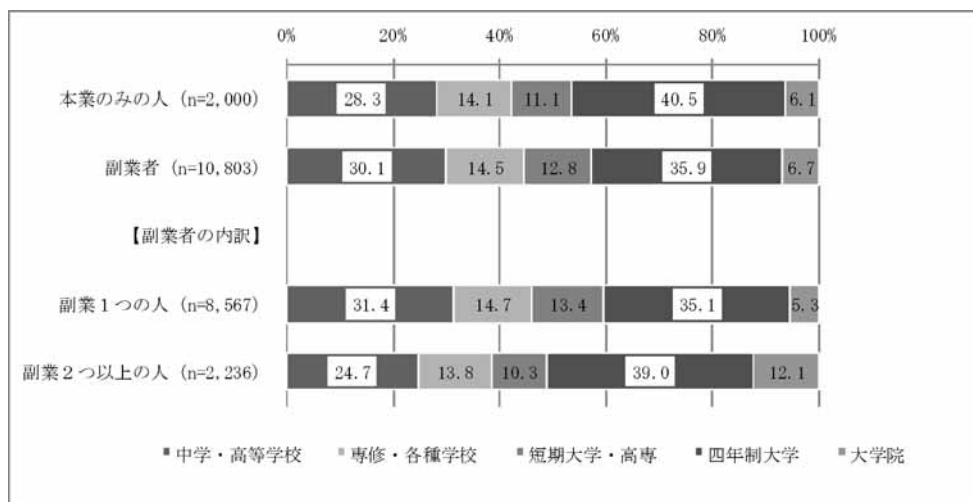
図表 2-2-2：副業者の年齢（単位：%）

	10および20代	30代	40代	50代	60代
本業のみの方 (n=2,000)	13.4	43.4	31.8	10.1	1.4
副業者 (n=10,803)	16.7	38.3	32.8	10.8	1.4
副業 1 つの人 (n=8,567)	17.2	38.7	32.0	10.6	1.5
副業 2 つ以上の人 (n=2,236)	14.7	36.6	36.0	11.4	1.2

## 3. 最終学歴

副業者の最終学歴をみると、「四年制大学」が 35.9%でもっとも多く、次いで「中学・高等学校」（30.1%）、「専修・各種学校」（14.5%）、「短期大学・高専」（12.8%）、「大学院」（6.7%）の順となっている。本業のみの方と比べると、「四年制大学」は副業者の方が 4.6 ポイント低いが、「中学・高等学校」、「専修・各種学校」、「短期大学・高専」といった学歴では、副業者の方が割合が高くなっている。また、副業者の内訳でみると、副業 2 つ以上の人の方が学歴が高い傾向にあり、副業 1 つの人よりも副業 2 つ以上の人の方が「四年制大学」の割合が 3.9 ポイント高く、「中学・高等学校」は副業 2 つ以上の人の方が 6.7 ポイント低い。副業 2 つ以上の人では「大学院」の割合が 12.1%と 1 割を超えている（図表 2-2-3）。

図表 2-2-3：副業者の最終学歴



#### 4. 配偶の状況

副業者の配偶の状況をみると、「既婚（配偶者あり、事実婚含む）」（以下「既婚（配偶者あり）」という）は 53.3%で、「未婚」が 37.6%、「既婚（離・死別）」が 9.1%となっている。本業のみの人と比べると、「既婚（配偶者あり）」の割合は副業者の方が 5.6 ポイント低く、「既婚（離・死別）」、「未婚」では副業者の方がやや割合が高い。「既婚（配偶者あり）」と回答した人に対し、配偶者が仕事をしているかどうかを聞くと、副業者では「仕事をしている」は 83.2%で、本業のみの人（70.5%）よりも共稼ぎの割合が高くなっている（図表 2-2-4）。

図表 2-2-4：配偶の状況（単位：％）

	既婚（配偶者あり、事実婚を含む）			既婚（離・死別）	未婚
		配偶者が仕事をしている	配偶者が仕事をしていない		
本業のみの人（n=2,000）	58.9	(70.5)	(29.5)	6.0	35.2
副業者（n=10,803）	53.3	(83.2)	(16.8)	9.1	37.6
副業 1 つの人(n=8,567)	53.2	(84.3)	(15.7)	9.0	37.7
副業 2 つ以上の人(n=2,236)	53.8	(79.2)	(20.8)	9.3	36.9

注）配偶者の仕事の有無のそれぞれの割合は、「既婚（配偶者あり、事実婚を含む）」を 100%とした場合の割合

#### 5. 世帯の状況

##### （1）世帯上の地位

副業者の世帯上の地位をみると、「世帯主」が 50.9%とほぼ半数で、「世帯主の配偶者」が 25.3%、「世帯主の子」が 21.5%などとなっている。男女別にみると、男性は「世帯主」が 7 割強（76.5%）を占め、女性は「世帯主の配偶者」が 4 割（44.8%）を占めている。本業のみの人と比べると、「世帯主」の割合は副業者の方が本業のみの人よりも 8.7 ポイント低い。女性だけで比べると、「世帯主」の割合は副業者の方がやや高くなっている（図表 2-2-5）。

図表 2-2-5：副業者の世帯上の地位（単位：％）

		世帯主	世帯主の配偶者	世帯主の子	その他
本業のみの人 (n=2,000)	全体	59.6	20.0	18.8	1.7
	男性 (n=1,143)	82.9	1.1	15.2	0.8
	女性 (n=857)	28.6	45.2	23.5	2.8
副業者 (n=10,803)	全体	50.9	25.3	21.5	2.3
	男性 (n=4,929)	76.5	2.0	20.0	1.5
	女性 (n=5,874)	29.5	44.8	22.8	2.9



## (2) 扶養人数

「世帯主」の副業者に対し、扶養人数を聞くと、「0人」が44.0%でもっとも多く、次いで「1人」(17.9%)、「2人」(16.9%)、「3人」(13.5%)などの順となっている。男女別にみると、男性では「0人」が33.4%でもっとも多く、次いで「2人」(20.1%)、「1人」(18.3%)などの順となっている。一方、女性は「0人」が7割近く(67.0%)にのぼっている。本業のみの人と比べると、「0人」の割合は副業者の方が8.3ポイント高く、「1人」～「4人」までの各割合は本業のみの人の方が高くなっている(図表2-2-6)。

図表2-2-6：副業者の世帯主の扶養人数(単位：%)

		0人	1人	2人	3人	4人	5人以上
本業のみの人 (n=1,192)	全体	35.7	19.6	18.5	18.0	6.4	1.8
	男性(n=947)	27.6	20.0	20.9	21.8	7.8	2.0
	女性(n=245)	67.3	18.4	9.0	3.7	0.8	0.8
副業者 (n=5,502)	全体	44.0	17.9	16.9	13.5	5.4	2.4
	男性(n=3,770)	33.4	18.3	20.1	17.9	7.2	3.1
	女性(n=1,732)	67.0	17.0	9.9	3.8	1.4	0.9

## 6. 本業の状況

### (1) 本業の就業形態

副業者の本業<sup>7</sup>の就業形態をみると、「正社員」がもっとも割合が高かったが、その割合は27.2%と3割弱にとどまり、「パート・アルバイト」が21.9%、「自営業主」が15.8%、「自由業・フリーランス・個人請負」(以下「自由業・フリーランス等」という)が13.8%、「契約・嘱託社員」が8.3%などの順となっている。本業のみの人と比べると回答結果は大きく異なっており、「正社員」の割合は本業のみの人よりも35.0ポイント低く、一方、「契約・嘱託社員」、「パート・アルバイト」、「自営業主」、「自由業・フリーランス等」では副業者の方が割合が高い。副業者の内訳でみると、副業2つ以上の人で「自由業・フリーランス等」(21.9%)と「自営業主」(18.1%)の割合が高いが目立つ(図表2-2-7、図表2-2-8)。

本業の就業形態について、雇用者に該当する就業形態を「正社員」と「非正社員」<sup>8</sup>、雇用者以外の就業形態を「非雇用者」<sup>9</sup>として、この3区分で各割合をみると、副業者は「正社員」が27.2%、「非正社員」が35.9%、「非雇用者」が36.8%で、本業のみの人と比べるとその構成は大きく異なる。副業者の内訳でみると、副業1つの人に比べて副業2つ以上の人の方が「非雇用者」の割合が13.7ポイント高く、「正社員」の割合は副業2つ以上

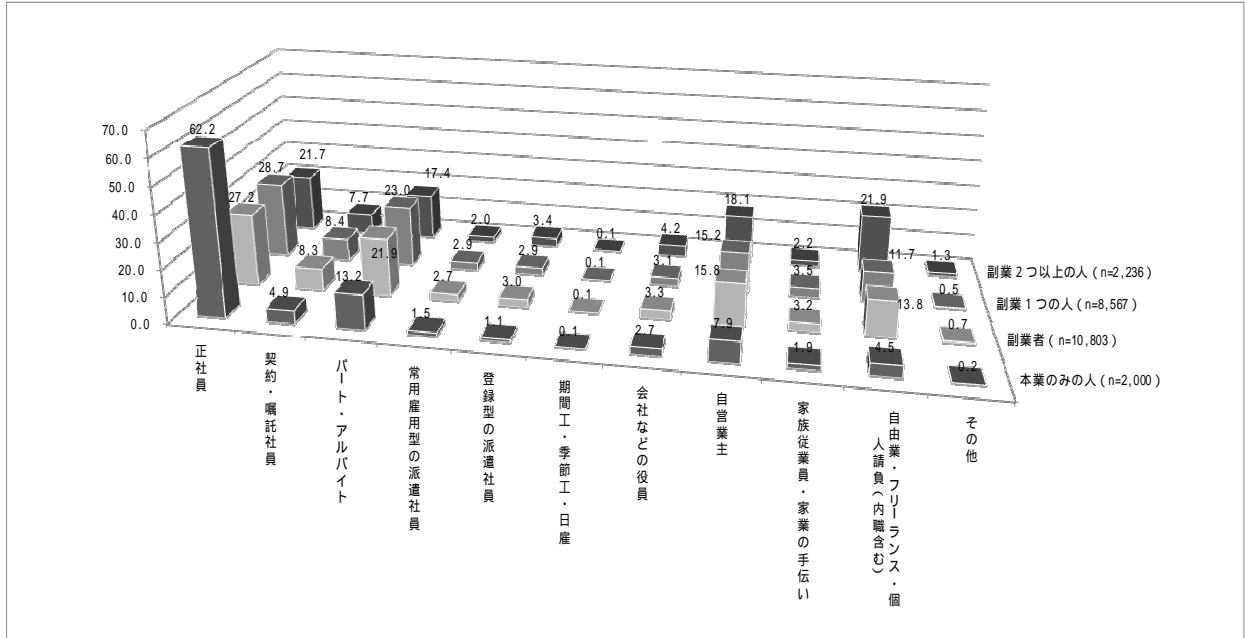
<sup>7</sup> 回答者には、自分が主たる仕事だと考えている仕事を本業として答えてもらった。

<sup>8</sup> ここでは、就業形態の中で「契約・嘱託社員」、「パート・アルバイト」、「常用雇用型の派遣社員」、「登録型の派遣社員」、「期間工・季節工・日雇」を非正社員に分類した。この非正社員と「正社員」を合わせて雇用者と呼ぶことにする。

<sup>9</sup> 非雇用者は「会社などの役員」、「自営業主」、「家族従業員・家業の手伝い」、「自由業・フリーランス・個人請負」および「その他」。

の方が7.0ポイント低くなっている（図表2-2-9）。

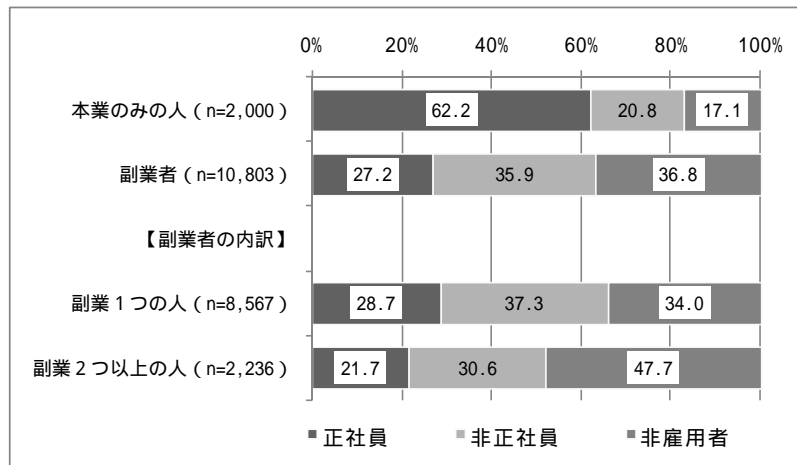
図表2-2-7：副業者の本業の就業形態（単位：%）



図表2-2-8：副業者の本業の就業形態（単位：%）

	正社員	契約・嘱託社員	パート・アルバイト	常用雇用の派遣社員	登録型の派遣社員	期間工・季節工・日雇	会社などの役員	自営業主	家族従業員・家業の手伝い	自由業・フリーランス等	その他
本業のみの人 (n=2,000)	62.2	4.9	13.2	1.5	1.1	0.1	2.7	7.9	1.9	4.5	0.2
副業者 (n=10,803)	27.2	8.3	21.9	2.7	3.0	0.1	3.3	15.8	3.2	13.8	0.7
副業1つの人 (n=8,567)	28.7	8.4	23.0	2.9	2.9	0.1	3.1	15.2	3.5	11.7	0.5
副業2つ以上の人 (n=2,236)	21.7	7.7	17.4	2.0	3.4	0.1	4.2	18.1	2.2	21.9	1.3

図表2-2-9：本業の就業形態（3区分）



(2) 本業の業種

副業者の本業の業種<sup>10</sup>をみると、「その他のサービス業」が22.0%でもっとも多く、次いで「卸売・小売業」(13.2%)、「教育・学習支援業」(11.2%)、「医療・保健衛生・福祉」(9.0%)、「製造業」(8.4%)などの順となっている。本業のみの人と比べると、副業者の方が「製造業」で9.6ポイント、「情報・通信業」で4.4ポイント低くなっており、一方、「医療・保健衛生・福祉」で2.8ポイント、「教育・学習支援業」で5.8ポイント、「その他のサービス業」で4.9ポイント高くなっている。副業者の内訳でみると、「卸売・小売業」では副業1つの人の方が5.1ポイント高く、「医療・保健衛生・福祉」、「教育・学習支援業」、「その他のサービス業」では副業2つ以上の人の方が割合が高い(図表2-2-10)。

図表2-2-10：本業の業種(単位：%)

	農林漁業・鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報・通信業	運輸業	卸売・小売業	金融・保険業	不動産業	飲食店・宿泊業	医療・保健衛生・福祉	教育・学習支援業	複合サービス事業	その他のサービス業	その他
本業のみの人(n=2,000)	0.7	8.5	18.0	1.6	10.6	3.4	12.7	3.2	2.2	3.1	6.2	5.4	1.6	17.1	6.0
副業者(n=10,803)	1.2	5.5	8.4	1.1	6.2	2.5	13.2	3.2	2.7	5.1	9.0	11.2	1.8	22.0	6.8
副業1つの人(n=8,567)	1.3	5.8	9.0	1.1	6.5	2.7	14.2	3.1	2.8	5.4	8.6	9.8	1.9	21.1	6.6
副業2つ以上の人(n=2,236)	0.9	4.4	5.9	1.1	5.1	1.8	9.1	3.6	2.5	3.8	10.3	16.8	1.4	25.6	7.6

(3) 本業の仕事内容

副業者の本業の仕事内容をみると、「専門・技術的職業」が33.0%でもっとも割合が高く、次いで「事務的職業」(21.7%)、「販売的職業」及び「サービスの職業」(それぞれ11.5%)、「管理的職業」(9.7%)などの順となっている。本業のみの人と比べると、副業者の方が「専門・技術的職業」で3.5ポイント、「販売的職業」で2.4ポイント、「サービスの職業」で5.7ポイント割合が高い一方、「管理的職業」では4.1ポイント、「事務的職業」では10.5ポイント低くなっている。副業者の内訳でみると、副業2つ以上の人では「専門・管理的職業」が44.6%と4割以上を占めており、副業1つの方の同割合を14.6ポイント上回っている。一方、「事務的職業」や「販売的職業」、「サービスの職業」などでは副業1つの人の方が割合が高くなっている(図表2-2-11)。

図表2-2-11：本業の仕事内容(単位：%)

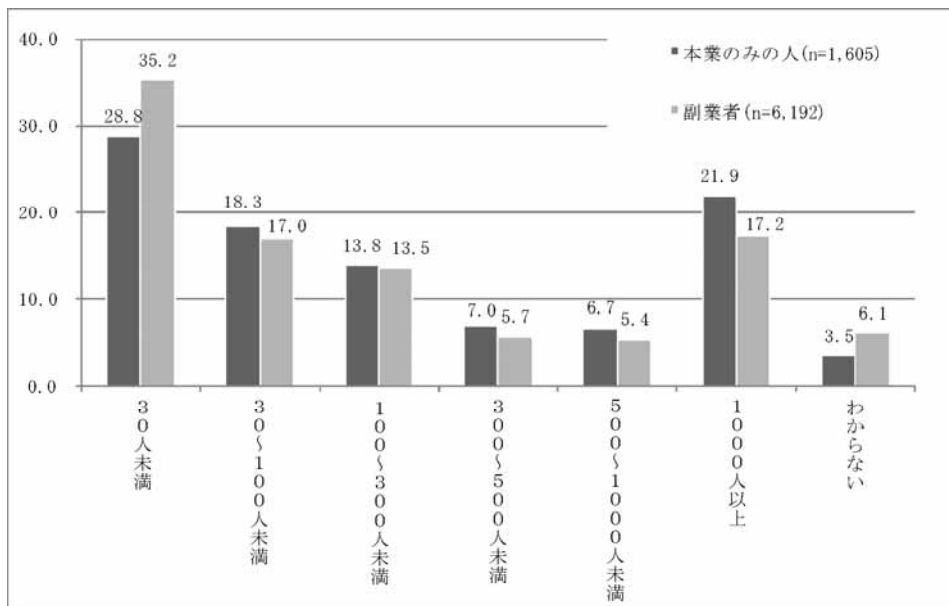
	専門・技術的職業	管理的職業	事務的職業	販売的職業	労務生産職に工程関わ	運輸・通信	保安的職業	農・林・漁業に関わる職業	サービスの職業	その他
本業のみの人(n=2,000)	29.5	13.8	32.2	9.1	5.2	1.4	0.4	0.4	5.8	2.4
副業者(n=10,803)	33.0	9.7	21.7	11.5	4.6	1.9	0.2	0.9	11.5	5.1
副業1つの人(n=8,567)	30.0	9.3	23.5	12.3	4.8	1.9	0.2	1.0	12.1	4.8
副業2つ以上の人(n=2,236)	44.6	11.3	14.5	8.5	3.6	1.6	0.3	0.7	9.2	5.9

<sup>10</sup> 本業の就業形態が派遣社員の回答者には派遣先の会社の業種で、請負会社の社員の回答者には請負先の業種で答えてもらった。

(4) 本業の勤務先の従業員規模

本業の就業形態が「正社員」、「契約・嘱託社員」及び「パート・アルバイト」の副業者に対して本業の勤務先の従業員規模<sup>11</sup>を尋ねたところ、「30人未満」が35.2%でもっとも割合が高く、次いで「1000人以上」(17.2%)、「30～100人未満」(17.0%)、「100～300人未満」(13.5%)などの順であった。本業のみの人と比べると、とくに300人以上の各区分では本業のみの人の方が高くなっている。「30人未満」では副業者が35.2%と本業のみの人を6.4ポイント上回っており、「1000人以上」では本業のみの方が副業者を4.7ポイント上回っている(図表2-2-12)。

図表 2-2-12：本業の勤務先の従業員規模 (単位：%)

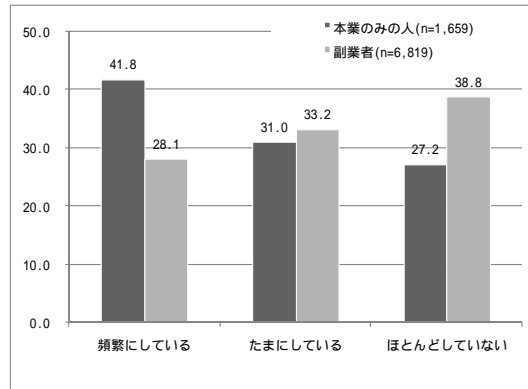


(5) 本業での残業の状況

本業の就業形態が雇用者である副業者に対し、本業での残業の頻度を尋ねたところ、「ほとんどしていない」が38.8%でもっとも割合が高く、「たまにしている」が33.2%、「頻繁にしている」が28.1%であった。本業のみの人と比べると、「頻繁にしている」の割合は副業者の方が13.7ポイント低く、「ほとんどしていない」の割合は副業者の方が11.6ポイント高い(図表2-2-13)。

<sup>11</sup> 従業員規模には、正社員だけでなく、パート・アルバイト、契約・嘱託社員等の非正社員も含む。勤務先の事業所だけでなく、本社・支社なども含めた会社全体。

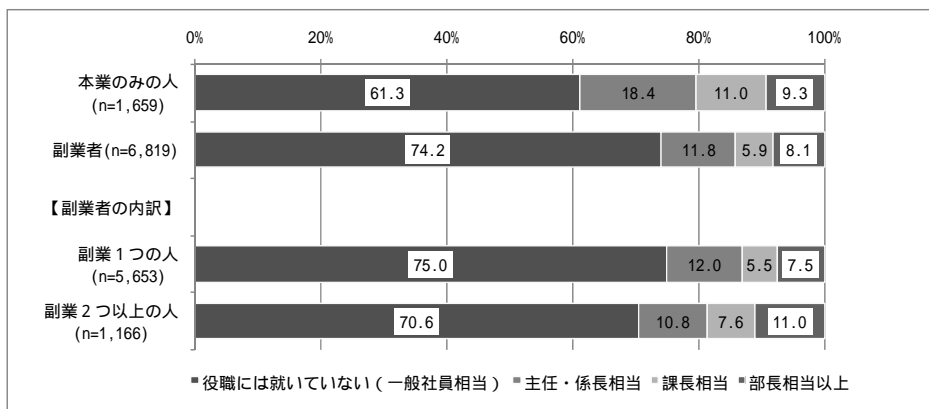
図表 2-2-13：本業での残業の状況（単位：％）



（ 6 ）本業での役職

本業の就業形態が雇用者である副業者に対し、本業の仕事上、何らかの役職に就いているかを尋ねたところ、「役職には就いていない（一般社員相当）」が 74.2％と圧倒的に多く、「主任・係長相当」が 11.8％、「課長相当」が 5.9％、「部長相当以上」が 8.1％であった。本業のみの人と比べると、副業者の方が「役職には就いていない（一般社員相当）」の割合が 10 ポイント以上高い（図表 2-2-14）。

図表 2-2-14：本業での役職



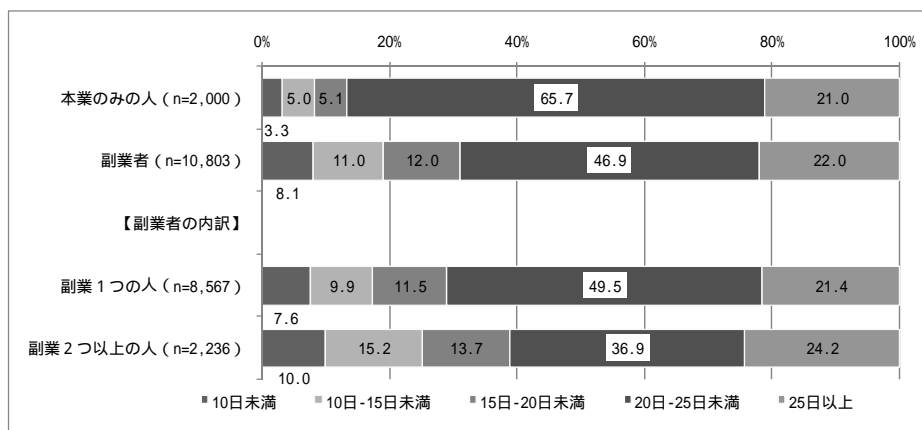
（ 7 ）本業での 1 ヶ月あたりの実労働日数

本業の仕事で 1 ヶ月あたりどのくらいの日数を実際に働いたかについて、直近の月の実績で答えてもらったところ、副業 1 つの人の平均日数は 19.6 日で、副業 2 つ以上の方は 18.8 日（本業のみの方は 21.2 日）であった。

実労働日数別に割合をみると、「20～25 日未満」が 46.9％でもっとも割合が高く、次いで「25 日以上」（22.0％）、「15～20 日未満」（12.0％）、「10～15 日未満」（11.0％）、「10 日未満」（8.1％）の順となっている。本業のみの人と比べると、「25 日以上」の割合はそれほど変わらないが、「20～25 日未満」の割合は本業のみの人より 18.8 ポイント低く、20 日未満までの各区分（「10 日未満」、「10～15 日未満」および

「15～20日未満」)は副業者の方が高くなっている。副業者の内訳でみると、副業2つ以上の人の「20～25日未満」の割合は36.9%で、副業1つの人の同割合を12.6ポイント下回っている(図表2-2-15)。

図表 2-2-15：直近の月での本業の実労働日数



本業の実労働日数を本業の就業形態別にみると、副業者でも、正社員では20日以上が全体の8割以上を占める。本業のみの人と比べると、いずれの就業形態も20日未満の各割合は副業者の方が高い。正社員どうしで比べると、「20～25日未満」については、本業のみの人(78.1%)が副業者(68.8%)を10ポイント近く上回っている(図表2-2-16)。

図表 2-2-16：直近の月での本業の実労働日数(本業の就業形態別 単位：%)

		10日未満	10～15日未満	15～20日未満	20～25日未満	25日以上
本業のみの人	全体 (n=2,000)	3.3	5.0	5.1	65.7	21.0
	正社員 (n=1,244)	1.2	0.4	1.8	78.1	18.5
	非正社員 (n=415)	8.7	15.7	16.1	53.5	6.0
	非雇用者 (n=341)	4.1	8.8	3.8	34.9	48.4
副業者	全体 (n=10,803)	8.1	11.0	12.0	46.9	22.0
	正社員 (n=2,941)	1.7	1.7	4.4	68.8	23.5
	非正社員 (n=3,883)	12.1	17.3	17.0	46.2	7.5
	非雇用者 (n=3,979)	9.0	11.9	12.8	31.3	35.0

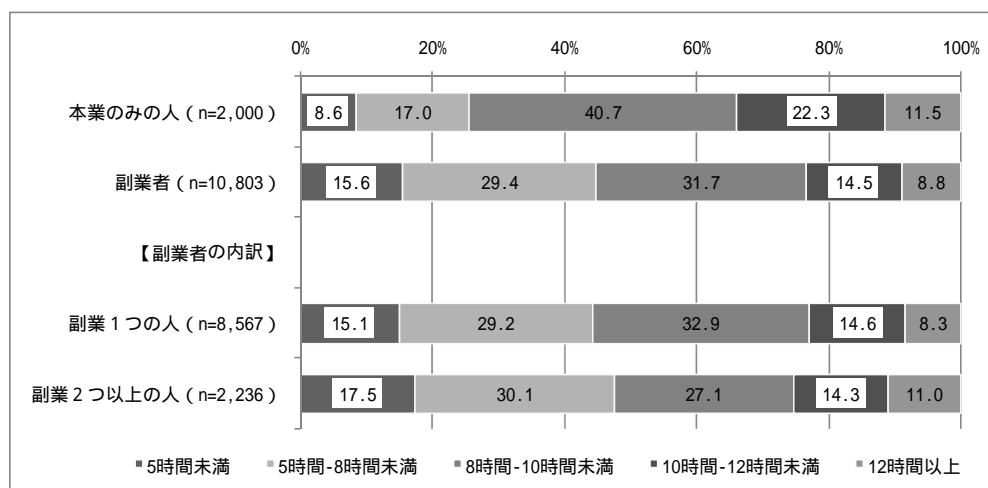
#### (8) 本業での1日あたりの実労働時間

本業の仕事で1日あたりどのくらいの時間を実際に働いたかについて、直近の週の実績で答えてもらったところ、平均時間は、副業1つの人も副業2つ以上の人も共に7.6時間であった(本業のみの方は8.5時間)。

労働時間別に割合をみると、「8～10時間未満」が31.7%でもっとも多く、「5～8時間未満」(29.4%)が僅差で続き、「5時間未満」15.6%、「10～12時間未満」14.5%の順

となっている。本業のみの人と比べると、「5 時間未満」、「5～8 時間未満」は副業者の方が割合が高いが、「8～10 時間」、「10～12 時間」、「12 時間以上」では本業のみの人の方が高くなっている（図表 2-2-17）。

図表 2-2-17：直近の週での本業の 1 日あたり実労働時間



本業の 1 日あたり実労働時間を本業の就業形態別にみていくと、正社員では、「5～8 時間未満」の割合は副業者の方が高いが、「8～10 時間未満」、「10～12 時間未満」、「12 時間以上」では本業のみの人の方が割合が高い。非正社員では、「8～10 時間未満」で 4.3 ポイント、副業者の方が割合が高くなっている。非雇用者では、「5 時間未満」、「5～8 時間未満」の割合は副業者の方が高いが、「8～10 時間未満」、「10～12 時間未満」、「12 時間以上」では本業のみの人の方が割合が高い（図表 2-2-18）。

図表 2-2-18：直近の週での本業の 1 日あたり実労働時間（本業の就業形態別 単位：％）

		5時間未満	5～8時間未満	8～10時間未満	10～12時間未満	12時間以上
本業のみの人	全体 (n=2,000)	8.6	17.0	40.7	22.3	11.5
	正社員 (n=1,244)	3.2	6.8	48.3	28.5	13.3
	非正社員 (n=415)	21.0	43.6	25.8	7.2	2.4
	非雇用者 (n=341)	13.2	21.7	31.1	18.2	15.8
副業者	全体 (n=10,803)	15.6	29.4	31.7	14.5	8.8
	正社員 (n=2,941)	3.0	11.9	46.9	25.5	12.7
	非正社員 (n=3,883)	20.1	40.3	30.1	6.1	3.5
	非雇用者 (n=3,979)	20.5	31.6	22.0	14.7	11.2

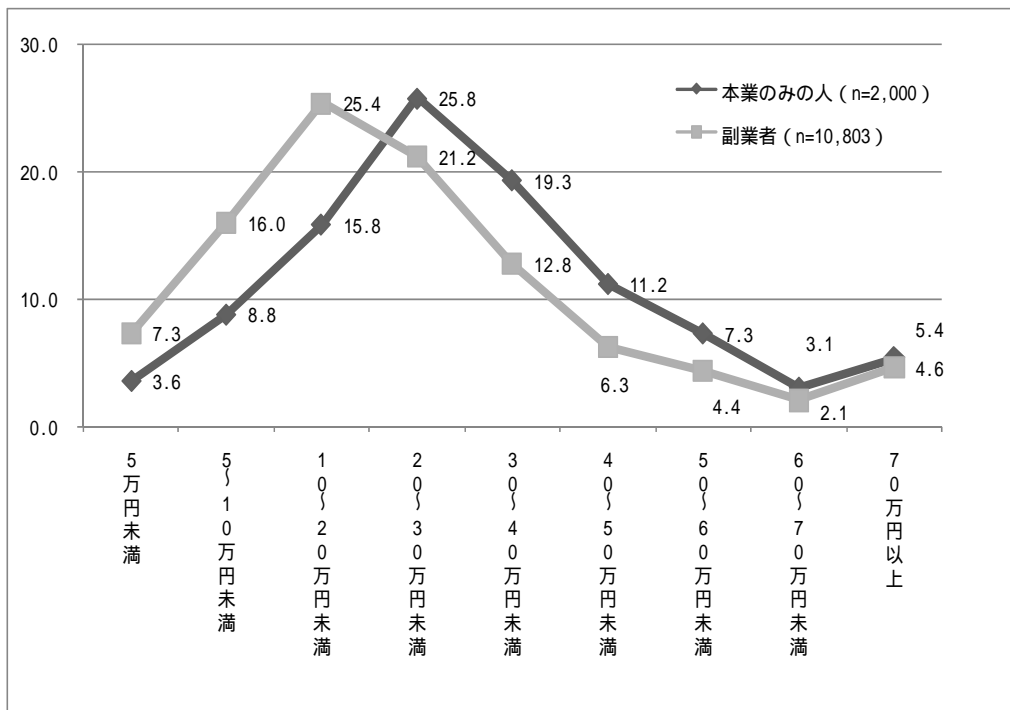
(9) 本業での月収

本業の仕事での月収<sup>12</sup>について、直近の月の実績で尋ねたところ、副業 1 つの人の平均月収は 23 万 8,916 円<sup>13</sup>で、副業 2 つ以上の方は 27 万 8,234 円（本業のみの方は 31 万 1,033 円）であった。

月収の分布を就業者全体でみると、副業者では「10～20 万円未満」が 25.4%でもっとも割合が高く、次いで「20～30 万円未満」（21.2%）、「5～10 万円未満」（16.0%）、「30～40 万円未満」（12.8%）などの順となっている。一方、本業のみの方は「20～30 万円未満」（25.8%）の割合がもっとも高く、本業のみの方と比べると副業の方が総じて低い額に分布している（図表 2-2-19）。

本業での月収を本業の就業形態別にみていくと、副業の方が総じて低い額に分布している傾向は非雇用者に顕著に認められる。即ち、非雇用者では、「5～10 万円未満」、「10～20 万円未満」ともに副業の方が割合が高くなっている。一方、正社員では本業のみの方、副業者いずれも「20～30 万円未満」の割合が最も高く、非正社員では本業のみの方は「5～10 万円未満」の割合（34.5%）が最も高いのに対し、副業者は「10～20 万円未満」の割合（32.1%）が最も高くなっている（図表 2-2-20。なお、副業者について、その内訳をみたものが図表 2-2-21）。

図表 2-2-19：直近の月の本業での月収（単位：%）



<sup>12</sup> 税金・社会保険料などを差し引かれる前の額（額面）で、残業代を含む。ボーナス・退職金は含まない。

<sup>13</sup> 小数点以下切り捨て。



図表 2-2-20：直近の月の本業での月収（本業の就業形態別 単位：％）

		5万円未満	5～10万円未満	10～20万円未満	20～30万円未満	30～40万円未満	40～50万円未満	50～60万円未満	60～70万円未満	70万円以上	平均値
本業のみの人	全体 (n=2,000)	3.6	8.8	15.8	25.8	19.3	11.2	7.3	3.1	5.4	311,033
	正社員 (n=1,244)	0.0	0.1	12.1	29.5	25.8	14.5	9.2	3.5	5.4	357,652
	非正社員 (n=415)	12.0	34.5	28.9	19.0	3.6	1.0	0.7	0.2	0.0	134,766
	非雇用者 (n=341)	6.5	9.1	13.5	20.2	14.4	11.7	8.2	4.7	11.7	355,480
副業者	全体 (n=10,803)	7.3	16.0	25.4	21.2	12.8	6.3	4.4	2.1	4.6	247,054
	正社員 (n=2,941)	0.1	0.3	17.7	30.4	23.2	12.0	7.6	3.2	5.5	338,590
	非正社員 (n=3,883)	12.6	30.2	32.1	17.3	4.8	1.3	0.9	0.3	0.6	142,156
	非雇用者 (n=3,979)	7.5	13.7	24.6	18.2	12.8	7.0	5.3	3.0	7.9	281,763

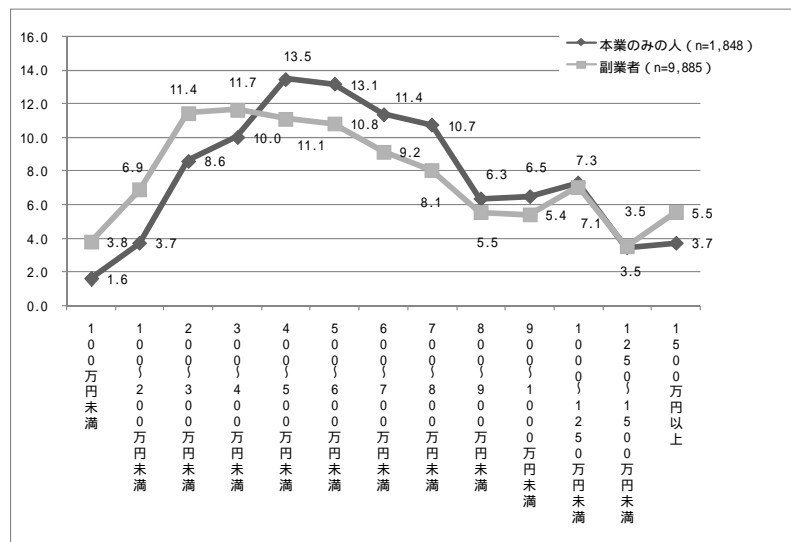
図表 2-2-21：副業者の副業の数別にみた、直近の月の本業での月収（本業の就業形態別 単位：％）

		5万円未満	5～10万円未満	10～20万円未満	20～30万円未満	30～40万円未満	40～50万円未満	50～60万円未満	60～70万円未満	70万円以上	平均値
副業1つの人	副業1つの人計 (n=8567)	7.2	16.2	25.5	22.0	13.1	6.3	4.1	1.8	3.9	238,916
	正社員 (n=2,456)	0.1	0.0	18.7	32.0	23.2	11.9	6.9	2.6	4.5	325,833
	非正社員 (n=3,199)	12.3	30.7	31.7	17.6	5.0	1.3	0.9	0.2	0.4	140,684
	非雇用者 (n=2,912)	7.6	13.8	24.3	18.4	13.4	7.2	5.4	2.7	7.2	273,523
副業2つ以上の人	副業2つ以上の人計 (n=2236)	7.9	15.2	25.3	17.9	11.7	6.0	5.2	3.3	7.5	278,234
	正社員 (n=485)	0.2	1.4	13.0	21.9	23.1	12.2	11.3	6.4	10.5	403,195
	非正社員 (n=684)	14.2	27.9	33.6	15.9	3.9	1.3	1.0	0.6	1.5	149,040
	非雇用者 (n=1,067)	7.4	13.3	25.5	17.4	11.4	6.3	5.1	3.7	9.9	304,253

(10) 世帯収入

副業者の世帯収入（ただし、副業による収入を除いた額）をみると、ピークは「300～400万円未満」（11.7％）にあり、次いで「200～300万円未満」（11.4％）、「400～500万円未満」（11.1％）などの順となっている。本業のみの人と比べると、本業のみを人のピークは「400～500万円未満」（13.5％）にあり、副業者の方が総じて低い額の層に分布している（図表 2-2-22）。

図表 2-2-22：副業者の世帯収入（単位：％）



注) 「わからない」の回答を除いて再集計

### 第3節 副業の動機

#### 1. 副業している理由

副業者に対し、副業をしている理由を尋ねたところ（複数回答）、「収入を増やしたいから」が52.7%でもっとも割合が高く、次いで「自分が活躍できる場を広げたいから」（26.8%）、「1つの仕事だけでは生活自体が営めないから」（26.5%）、「様々な分野の人とつながりができるから」（21.2%）、「時間のゆとりがあるから」（20.4%）などの順であった。もっともあてはまる理由（単一回答）での回答結果では、「収入を増やしたいから」が31.1%でもっとも多く、「1つの仕事だけでは生活自体が営めないから」（15.1%）がこれに次いでいる（図表2-3-1）。

副業している理由を副業者の内訳でみると（複数回答）、副業2つ以上の人では「自分が活躍できる場を広げたいから」が40.3%、「様々な分野の人とつながりができるから」が32.5%にのぼり、「本業の仕事の性格上、別の仕事をもつことが自然だから」も18.6%と2割近くに及んでいる（図表2-3-2）。

図表2-3-3により、副業している理由（複数回答）と様々な項目とのクロス集計結果をみていくと、男女別では、「1つの仕事だけでは生活自体が営めないから」や「現在の仕事で培った能力を活用するため」でやや男性の方が割合が高くなっており、「時間のゆとりがあるから」で女性の割合がやや高くなっている。

年代別では、年齢が低くなるほど「収入を増やしたいから」の割合が高まる傾向があり、年齢が高くなるほど「現在の仕事で培った能力を活用するため」や「本業の仕事の性格上、別の仕事をもつことが自然だから」の割合が高まる。

最終学歴別では、学歴が低くなるほど「1つの仕事だけでは生活自体が営めないから」、「収入を増やしたいから」、「ローンなど借金や負債を抱えているため」の割合が高まり、学歴が高くなるほど「自分が活躍できる場を広げたいから」、「様々な分野の人とつながりができるから」、「現在の仕事で培った能力を活用するため」、「本業の仕事の性格上、別の仕事をもつことが自然だから」の割合が高くなる傾向が見られた。

本業の就業形態別（3区分）にみると、いずれの就業形態も「収入を増やしたいから」の割合がもっとも高かったが、次いで割合が高かった理由では、「正社員」及び「非雇用者」が「自分が活躍できる場を広げたいから」で、「非正社員」が「1つの仕事だけでは生活自体が営めないから」と、異なる回答結果となっている。なお、「非雇用者」では「自分が活躍できる場を広げたいから」と「1つの仕事だけでは生活自体が営めないから」がほぼ同じ割合となっている。

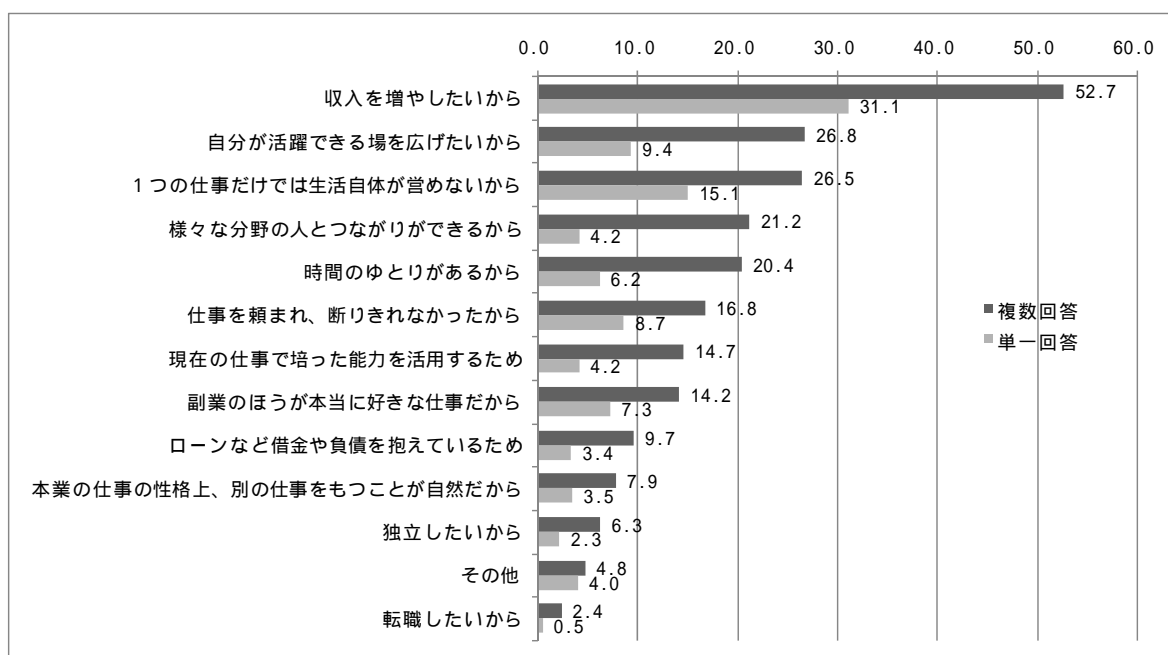
本業の仕事内容別にみると、「専門・技術的職業」、「管理的職業」では「収入を増やしたいから」のほかに、「自分が活躍できる場を広げたいから」、「様々な分野の人とつながりができるから」といった理由の回答割合が高い。

本業の役職別にみると、役職が下がるほど「収入を増やしたいから」の割合が高まり、役職が高くなるほど「自分が活躍できる場を広げたいから」、「様々な分野の人とつながりができるから」、「現在の仕事で培った能力を活用するため」などの割合が高まる傾向が見られた。

本業の月収別にみると、月収が高まるほど「自分が活躍できる場を広げたいから」、「様々な分野の人とつながりができるから」、「現在の仕事で培った能力を活用するため」の割合がおおむね高まる。

世帯年収別にみると、年収が低くなるほど「収入を増やしたいから」の割合が高まる傾向にあり、「1つの仕事だけでは生活自体が営めないから」の割合でも、ほぼ年収に反比例する傾向となっている。一方、年収が高くなるほど「自分が活躍できる場を広げたいから」、「様々な分野の人とつながりができるから」、「現在の仕事で培った能力を活用するため」の割合がおおむね高まる傾向が見てとれる。

図表 2-3-1：副業している理由（副業者 n=10,803 単位：％）

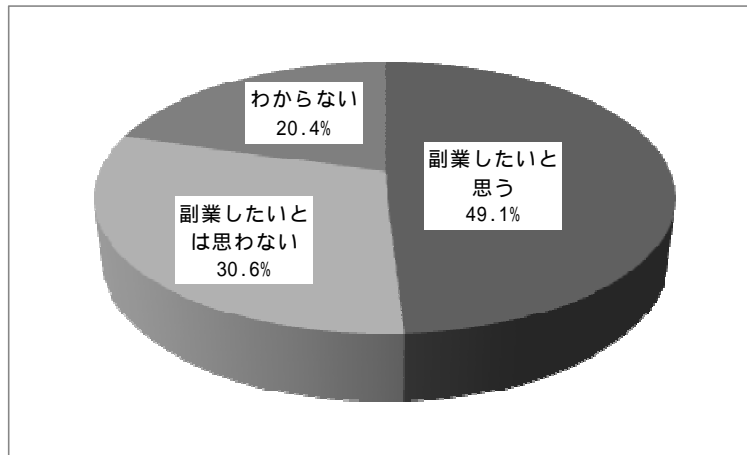


図表 2-3-2：副業している理由（副業者 複数回答 単位：％）

	1つの仕事だけでは生活	収入を増やしたいから	ローンなど借金や負債を抱えているため	転職したいから	独立したいから	自分が活躍できる場を広げたいから	様々な分野の人とつながりができるから	現在の仕事で培った能力を活用するため	時間のゆとりがあるから	副業のほうに本当に好きな仕事だから	本業の仕事の性格上、だから	仕事を頼まれ、断りきれ	その他
副業者 (n=10,803)	26.5	52.7	9.7	2.4	6.3	26.8	21.2	14.7	20.4	14.2	7.9	16.8	4.8
副業1つの人 (n=8,567)	24.2	52.1	9.2	2.4	6.3	23.3	18.3	11.7	20.1	14.2	5.1	15.5	5.1
副業2つ以上の人 (n=2,236)	35.7	55.3	11.4	2.5	6.4	40.3	32.5	26.1	21.7	14.2	18.6	21.5	3.6



図表 2-3-4：今後、副業したいと思うか（本業のみの人 n=2,000 単位：％）



図表 2-3-5：今後、副業したいと思うか（本業のみの人 単位：％）

		と副 思業 うし たい	いと副 は業 思し わた ない	わ か ら な い
全体		49.1	30.6	20.4
性別	男性 (n=1143)	47.1	32.9	20.0
	女性 (n=857)	51.8	27.4	20.8
年代	10および20代 (n=267)	55.8	26.6	17.6
	30代 (n=868)	51.3	27.5	21.2
	40代 (n=636)	48.4	31.3	20.3
	50代 (n=201)	37.8	42.3	19.9
	60代 (n=28)	14.3	60.7	25.0
最終学歴	中学・高等学校 (n=565)	50.3	29.9	19.8
	専修・各種学校 (n=282)	56.0	25.2	18.8
	短期大学・高专 (n=221)	50.2	25.3	24.4
	四年制大学 (n=810)	46.3	33.3	20.4
	大学院 (n=122)	44.3	36.9	18.9
本業の就業形態	正社員 (n=1244)	49.0	31.6	19.5
	非正社員 (n=415)	50.4	28.4	21.2
	非雇用者 (n=341)	48.1	29.3	22.6

### 3. 今後、副業を希望する理由

本業のみの人で「副業したいと思う」と答えた人に対し、その理由を尋ねると（複数回答）、8割以上の方が「収入を増やしたいから」（87.7％）をあげ、次いで「自分が活躍できる場を広げたいから」（24.2％）、「ローンなど借金や負債を抱えているため」（19.2％）、「1つの仕事だけでは生活自体が営めないから」（18.9％）、「様々な分野の人とつながりができるから」（17.1％）などの順となっている（図表 2-3-6）。

図表 2-3-7 により、今後、副業したい理由と様々な項目とのクロス集計をみていくと、男女別では、「ローンなど借金や負債を抱えているため」や「様々な分野の人とつながりができるから」、「現在の仕事で培った能力を活用するため」などで男性の方がやや割合が高くなっており、「時間のゆとりがあるから」などでは女性の方がやや割合が高くなっている。

年代別にみると、「1つの仕事だけでは生活自体が営めないから」と「ローンなど借金や

負債を抱えているため」などでは年代が高くなるほど割合が高まる傾向がみられたが、「収入を増やしたいから」では「10代および20代」でもっとも割合が高かった。

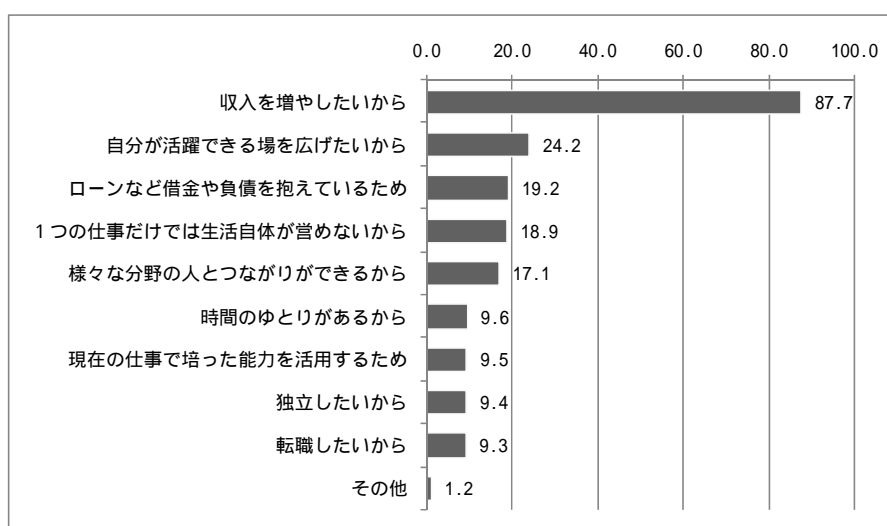
最終学歴別にみると、おおむね学歴が高くなるほど「自分が活躍できる場を広げたいから」、「現在の仕事で培った能力を活用するため」の割合が高まっている。「中学・高等学校」では他の学歴に比べて「1つの仕事だけでは生活自体が営めないから」、「ローンなど借金や負債を抱えているため」の割合が高まっている。

本業の就業形態別（3区分）にみると、正社員では「収入を増やしたいから」、「ローンなど借金や負債を抱えているため」、「転職したいから」などの割合が非正社員よりやや高くなっている。非正社員は他の就業形態に比べて「現在の仕事で培った能力を活用するため」をあげる割合が少ない。非雇用者は「1つの仕事だけでは生活自体が営めないから」、「自分が活躍できる場を広げたいから」、「様々な分野の人とつながりができるから」、「時間のゆとりがあるから」の割合が他の就業形態に比べて高くなっている。

本業の月収別にみると、月収が高まるほど、おおむね「自分が活躍できる場を広げたいから」、「様々な分野の人とつながりができるから」、「現在の仕事で培った能力を活用するため」の割合が高まる。

本業の役職別にみると、高い役職ほど「自分が活躍できる場を広げたいから」、「様々な分野の人とつながりができるから」、「現在の仕事で培った能力を活用するため」などの割合が高くなっているのが目立つ。

図表 2-3-6：今後、副業したいと思う理由（本業のみの人 複数回答 n=982 単位：％）



図表 2-3-7：今後、副業したいと思う理由（本業のみの人 複数回答 単位：％）

		か生活の仕 から活自 体の仕事 が旨め けでない では	ら収入を 増やした い	口「ン 値を 抱え てい る借 金や 負	転職 した い か ら	独立 した い か ら	を自 分 が た 活 躍 か ら る 場	な様 が り な が 分 野 の 人 と つ	能力を 活 用 す る た め に 培 つ た	か時 間 の ゆ と り が あ る	そ の 他
全体		18.9	87.7	19.2	9.3	9.4	24.2	17.1	9.5	9.6	1.2
性別	男性 (n=538)	19.5	87.4	21.6	8.7	10.0	23.0	18.6	10.8	6.1	0.7
	女性 (n=444)	18.2	88.1	16.4	9.9	8.6	25.7	15.3	7.9	13.7	1.8
年代	10および20代 (n=149)	12.8	89.9	16.8	14.8	8.1	20.8	10.1	5.4	10.7	1.3
	30代 (n=445)	18.4	88.3	19.3	10.1	10.1	25.4	18.2	9.2	9.0	1.6
	40代 (n=308)	21.8	88.6	19.8	6.8	9.7	22.1	15.3	11.0	8.8	1.0
	50代・60代 (n=80)	22.5	76.3	21.3	3.8	6.3	32.5	31.3	12.5	13.8	0.0
最終学歴	中学・高等学校 (n=284)	21.5	87.3	25.0	10.6	8.5	21.5	14.1	6.3	8.8	1.4
	専修・各種学校 (n=158)	19.6	88.6	18.4	10.8	11.4	23.4	20.9	7.6	10.1	1.3
	短期大学・高専 (n=111)	21.6	90.1	17.1	9.9	6.3	21.6	10.8	9.0	10.8	1.8
	四年制大学 (n=375)	15.7	86.9	15.7	7.7	9.9	25.3	19.2	11.7	9.9	0.8
	大学院 (n=54)	20.4	87.0	20.4	7.4	11.1	38.9	20.4	16.7	7.4	1.9
本業の就業形態	正社員 (n=609)	16.1	89.8	20.9	10.8	10.7	23.2	16.4	10.5	6.7	1.1
	非正社員 (n=209)	21.1	87.1	19.1	10.0	9.1	25.4	16.3	5.7	13.9	1.4
	非雇用者 (n=164)	26.8	80.5	13.4	2.4	4.9	26.8	20.7	10.4	14.6	1.2
本業の月収	10万円未満 (n=122)	18.9	85.2	17.2	4.1	1.6	25.4	16.4	5.7	18.9	1.6
	10万円-20万円未満 (n=180)	26.7	89.4	16.7	12.8	10.0	18.9	11.1	6.7	12.2	1.7
	20万円-30万円未満 (n=282)	22.0	87.2	21.3	12.4	10.6	22.3	18.1	8.2	7.1	0.4
	30万円-40万円未満 (n=186)	15.6	88.7	19.4	12.4	10.8	26.9	16.1	10.8	4.8	1.1
	40万円-50万円未満 (n=102)	12.7	91.2	19.6	2.9	10.8	30.4	23.5	12.7	8.8	2.9
	50万円以上 (n=110)	10.0	83.6	20.0	1.8	10.0	26.4	20.9	16.4	10.0	0.9
本業の役職	部長相当以上 (n=69)	11.6	89.9	23.2	4.3	7.2	24.6	26.1	14.5	4.3	0.0
	課長相当 (n=85)	16.5	89.4	17.6	7.1	10.6	25.9	16.5	16.5	2.4	0.0
	主任・係長相当 (n=150)	14.0	87.3	20.7	10.0	11.3	22.0	17.3	9.3	7.3	2.7
	役職には就いていない(一般社員相当) (n=514)	19.3	89.5	20.4	12.3	10.3	23.7	14.8	7.4	10.5	1.2

## 第4節 副業の実態

### 1. 副業における就労内容

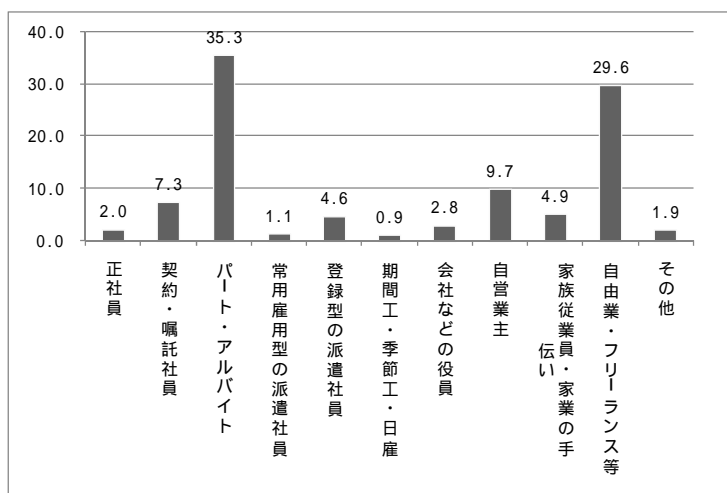
#### (1) 副業での就業形態

どういった就業形態で副業しているかについて、【副業1つの人の副業（以下「副業」という）の回答結果】と【副業2つ以上の人の副業のうち、最も収入の多い副業（以下「副業A」という）の回答結果】の合計でその結果をみると（以下「副業」と「副業A」の合計による回答結果を「主たる副業」での回答結果という）、「パート・アルバイト」が35.3%でもっとも割合が高く、次いで「自由業・フリーランス等」（29.6%）、「自営業主」（9.7%）、「契約・嘱託社員」（7.3%）などの順であった。「正社員」は2.0%にとどまっている（図表2-4-1）。

副業での就業形態を、副業1つの人の副業（「副業」）副業2つ以上の人の副業のうち、最も収入の多い副業（「副業A」）副業2つ以上の人の副業のうち、2番目に収入の多い副業（以下「副業B」という）それぞれについてみていくと、「副業」では「パート・アルバイト」が36.5%でもっとも多くなっている。一方、「副業A」および「副業B」では「自由業・フリーランス等」がもっとも多くなっている（それぞれ32.4%、37.6%）（図表2-4-2）。

主たる副業の就業形態を本業の就業形態別にみると、本業が正社員では「パート・アルバイト」が 33.0%で、「自由業・フリーランス等」も 30.7%とほぼ 3 割となっている。本業がパート・アルバイトでは副業も同じ「パート・アルバイト」の人が 61.0%と 6 割を占めている。本業が自由業・フリーランス等では副業も「自由業・フリーランス等」の人が 56.6%と半数を超えている（図表 2-4-3）。

図表 2-4-1：主たる副業の就業形態（n=10,803 単位：％）



図表 2-4-2：副業の就業形態（副業別 単位：％）

		正社員	契約・嘱託社員	パート・アルバイト	常用雇用型の派遣社員	登録型の派遣社員	期間工・季節工・日雇	会社などの役員	自営業主	家族従業員・家業の手伝い	自由業・フリーランス等	その他
副業 1 つの人	副業 (n=8,567)	1.8	6.8	36.5	1.1	4.3	0.9	2.5	10.0	5.7	28.8	1.7
副業 2 つ以上の人	副業 A (n=2,236)	2.7	8.9	30.7	1.2	5.9	0.9	4.2	8.7	1.7	32.4	2.6
	副業 B (n=2,236)	1.3	7.4	28.1	0.8	5.7	0.9	3.7	8.7	2.6	37.6	3.3

図表 2-4-3：主たる副業の就業形態（本業の就業形態別 単位：％）

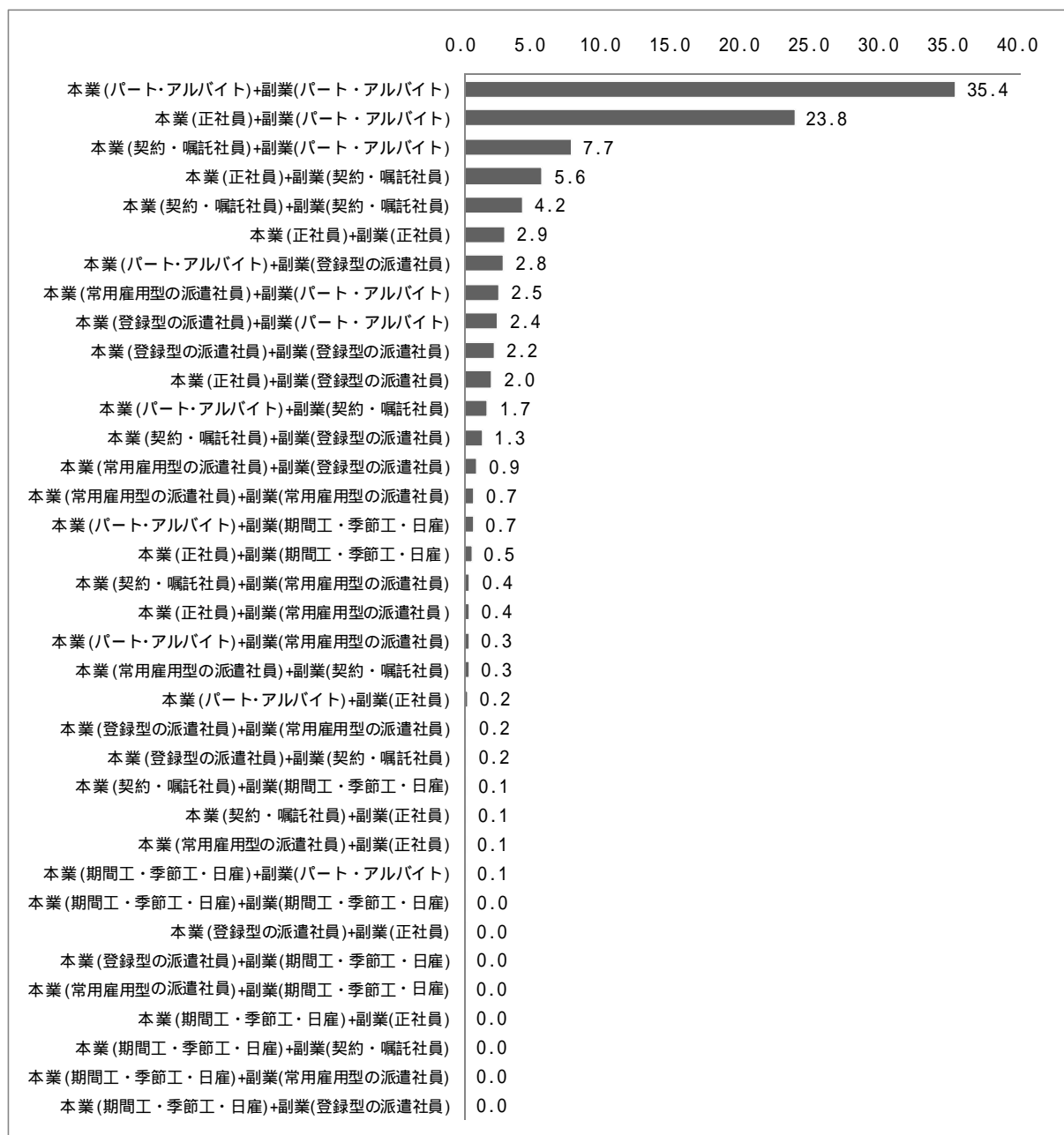
		主たる副業の就業形態											
		正社員	契約・嘱託社員	パート・アルバイト	常用雇用型の派遣社員	登録型の派遣社員	期間工・季節工・日雇	会社などの役員	自営業主	家族従業員・家業の手伝い	自由業・フリーランス等	その他	
全体 (n)		10,803	2.0	7.3	35.3	1.1	4.6	0.9	2.8	9.7	4.9	29.6	1.9
本業の就業形態	正社員	2,941	4.0	7.8	33.0	0.5	2.8	0.7	3.0	10.6	4.9	30.7	1.9
	契約・嘱託社員	894	0.6	19.1	35.0	1.9	5.9	0.7	1.0	6.0	3.0	25.8	0.9
	パート・アルバイト	2,362	0.4	2.9	61.0	0.6	4.9	1.1	0.3	2.2	5.7	19.2	1.5
	常用雇用型の派遣社員	295	1.0	4.7	34.9	9.8	12.5	0.0	0.0	5.4	5.4	25.4	0.7
	登録型の派遣社員	321	0.3	2.2	30.8	2.5	27.7	0.3	0.3	5.0	6.2	23.4	1.2
	期間工・季節工・日雇	11	0.0	0.0	27.3	0.0	0.0	18.2	0.0	18.2	9.1	27.3	0.0
	会社などの役員	360	4.2	7.2	7.5	1.1	1.7	0.6	33.1	16.4	2.2	22.5	3.6
	自営業主	1,706	2.4	9.2	24.3	0.8	2.2	1.1	3.4	27.2	3.5	24.4	1.6
	家族従業員・家業の手伝い	346	0.6	4.9	35.0	0.6	4.0	1.4	1.4	8.1	13.9	27.2	2.9
	自由業・フリーランス等	1,493	1.3	5.8	20.6	1.2	4.0	0.7	1.1	3.1	4.2	56.6	1.3
	その他	74	1.4	9.5	17.6	1.4	2.7	0.0	2.7	2.7	2.7	23.0	36.5

注）本業と副業で同じ就業形態の箇所に網掛け



次に、本業も主たる副業も雇用者である副業者の就業形態の組み合わせについてみると、「本業（パート・アルバイト）+副業（パート・アルバイト）」（35.4%）が最も多く、次に多いのが「本業（正社員）+副業（パート・アルバイト）」（23.8%）となっており、この両方で約 6 割を占めている。以下「本業（契約・嘱託社員）+副業（パート・アルバイト）」（7.7%）、「本業（正社員）+副業（契約・嘱託社員）」（5.6%）などの順となっている（図表 2-4-4）。

図表 2-4-4：雇用者のみの本業と主たる副業の就業形態の組み合わせ（n=4,077 単位：%）



図表 2-4-5 により、主たる副業の就業形態と様々な項目とのクロス集計をみていくと、男女別では、男性は「パート・アルバイト」が 29.4%でもっとも多く、次いで「自由業・フリーランス等」(27.8%)、「自営業主」(16.0%)などの順となっている。これに対し、女性は「パート・アルバイト」(40.2%)が4割を占めている。

年代別にみると、年代が若いほど「パート・アルバイト」の割合が高まる。

最終学歴別にみると、おおむね学歴が高くなるほど「正社員」や「契約・嘱託社員」、「自由業・フリーランス等」の割合が高まる一方で、「パート・アルバイト」「期間工・季節工・日雇」は学歴が低くなるほど、その割合が高くなっている。

本業の就業形態別(3区分)にみると、本業が非正社員の人では副業でも半数以上が「非正社員」(67.5%)となっており、本業が非雇用者の人では副業でも半数以上が「非雇用者」(63.6%)となっている。

本業の月収別にみると、本業の月収が低いほど「パート・アルバイト」の割合が高くなる。

図表 2-4-5：主たる副業の就業形態(単位：%)

		全体(n)	正社員	契約・嘱託社員	パート・アルバイト	通常雇用型派遣社員	登録型の派遣社員	期間工・季節工・日雇	会社などの役員	自営業主	家族従業員・業の手伝い	自由業・フリーランス等	その他
全体		10,803	2.0	7.3	35.3	1.1	4.6	0.9	2.8	9.7	4.9	29.6	1.9
性別	男性	4,929	3.2	8.9	29.4	0.9	2.6	1.1	5.0	16.0	3.4	27.8	1.8
	女性	5,874	1.0	5.9	40.2	1.4	6.3	0.7	1.0	4.5	6.0	31.1	1.9
年代	10および20代	1,806	1.7	4.5	55.5	0.8	6.5	0.9	0.4	3.8	4.7	20.4	0.8
	30代	4,134	1.7	6.2	35.1	1.5	5.2	0.9	1.7	8.2	5.2	33.0	1.3
	40代	3,545	2.5	8.8	28.7	1.1	4.0	0.8	4.1	11.6	4.7	31.4	2.3
	50代・60代	155	2.0	10.5	25.9	0.6	1.8	0.8	6.2	17.8	4.3	26.3	3.9
最終学歴	中学・高等学校	3,247	1.6	5.1	41.6	1.2	4.9	1.1	1.8	10.2	5.2	25.7	1.4
	専修・各種学校	1,571	1.4	5.4	38.2	1.2	4.3	1.0	1.7	9.8	5.2	29.9	1.8
	短期大学・高専	1,378	1.0	6.7	36.6	1.5	6.1	0.8	2.0	7.1	6.5	30.0	1.6
	四年制大学	3,882	2.7	8.3	29.6	0.9	4.5	0.7	4.3	11.1	4.4	31.8	1.9
	大学院	725	3.3	16.6	28.7	1.0	1.5	0.4	3.6	5.2	2.1	33.2	4.4
本業の就業形態	正社員	2,941	4.0	7.8	33.0	0.5	2.8	0.7	3.0	10.6	4.9	30.7	1.9
	非正社員	3,883	0.5	6.7	50.5	1.8	7.6	0.9	0.4	3.6	5.1	21.6	1.3
	非雇用者	3,979	2.0	7.4	22.2	1.0	3.0	0.9	5.1	15.1	4.5	36.5	2.4
本業の月収	5万円未満	792	0.6	4.7	48.4	1.0	6.7	1.4	0.5	2.4	6.8	25.4	2.1
	5万円-10万円未満	1,725	0.2	5.7	45.9	1.4	7.0	1.0	0.5	3.6	6.0	26.4	2.3
	10万円-20万円未満	2,746	1.5	8.4	41.6	1.2	5.2	0.8	0.8	7.0	5.0	27.2	1.3
	20万円-30万円未満	2,287	2.0	5.9	35.1	1.4	4.9	1.1	2.0	9.9	4.6	31.5	1.7
	30万円-40万円未満	1,379	3.5	7.7	25.0	0.9	3.0	0.4	4.0	14.8	4.2	35.1	1.5
	40万円-50万円未満	678	3.1	9.1	24.2	0.7	1.9	0.6	4.3	16.8	4.1	32.7	2.4
	50万円-60万円未満	471	2.8	10.6	14.9	0.0	1.7	0.2	8.5	22.1	3.8	34.0	1.5
	60万円-70万円未満	225	3.1	10.7	15.6	0.4	0.4	0.0	12.9	16.0	3.6	32.9	4.4
	70万円以上	500	6.4	8.6	15.8	1.2	0.8	1.4	14.6	19.0	2.2	26.0	4.0

## (2) 副業の業種

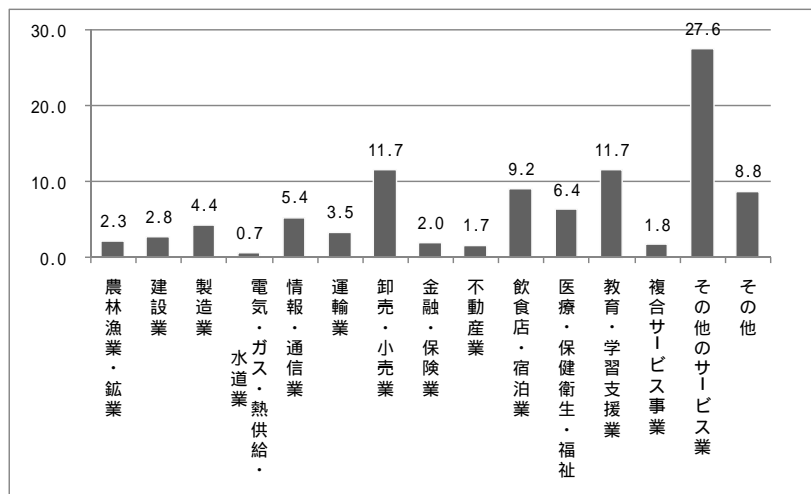
主たる副業の業種をみていくと、「その他のサービス業」が 27.6%でもっとも多く、次いで「卸売・小売業」および「教育・学習支援業」(それぞれ 11.7%)、「飲食店・宿泊業」(9.2%)などの順となっている(図表 2-4-6)。

副業の業種を副業それぞれについてみていくと、副業 1 つの人の副業では「その他のサービス業」(26.7%)に次いで、「卸売・小売業」(12.5%)、「教育・学習支援業」(10.7%)、「飲食店・宿泊業」(9.8%)の順で多くなっている。副業 2 つ以上の人の副

業 A では、「その他のサービス業」(31.2%)、「教育・学習支援業」(15.3%)に次いで、「医療・保健衛生・福祉」(9.2%)が多くなっている。副業 B でも「医療・保健衛生・福祉」(9.4%)は9%台に及んでいる(図表 2-4-7)。

主たる副業の業種を本業の業種別にみると、「製造業」、「電気・ガス・熱供給・水道業」、「金融・保険業」、「不動産業」以外の業種では、副業の業種が本業の業種と一致している割合が2割以上となっている(図表 2-4-8)。

図表 2-4-6：主たる副業の業種 (n=10,803 単位：%)



図表 2-4-7：副業の業種 (副業別 単位：%)

	農林漁業・鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報・通信業	運輸業	卸売・小売業	金融・保険業	不動産業	飲食店・宿泊業	医療・保健衛生・福祉	教育・学習支援業	複合サービス事業	その他のサービス業	その他
副業1つの人	2.6	2.9	4.5	0.8	5.3	3.8	12.5	2.0	1.7	9.8	5.7	10.7	1.8	26.7	9.2
副業2つ以上の人															
副業A (n=2,236)	0.9	2.5	3.9	0.6	5.8	2.2	8.4	2.1	1.9	7.0	9.2	15.3	1.9	31.2	7.3
副業B (n=2,236)	1.3	2.4	2.3	0.5	4.9	1.9	8.7	1.8	1.8	5.5	9.4	15.0	1.2	33.4	9.8

図表 2-4-8：主たる副業の業種 (本業の業種別 n=10,803 単位：%)

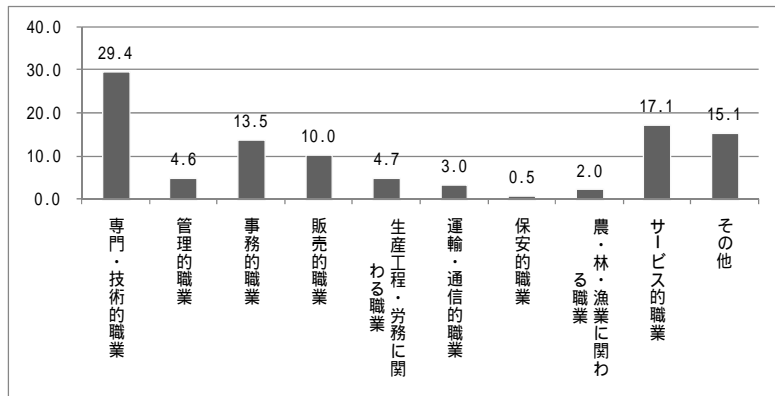
本業の業種	全体 (n)	主たる副業の業種														
		農林漁業・鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報・通信業	運輸業	卸売・小売業	金融・保険業	不動産業	飲食店・宿泊業	医療・保健衛生・福祉	教育・学習支援業	複合サービス事業	その他のサービス業	その他
全体	10,803	2.3	2.8	4.4	0.7	5.4	3.5	11.7	2.0	1.7	9.2	6.4	11.7	1.8	27.6	8.8
農林漁業・鉱業	134	20.1	4.5	9.0	0.0	4.5	4.5	12.7	1.5	1.5	6.0	1.5	6.0	2.2	17.2	9.0
建設業	592	4.6	20.1	4.1	0.8	4.9	3.5	12.5	2.2	3.5	11.0	2.5	5.7	0.7	14.7	9.1
製造業	904	4.1	1.8	14.8	1.1	4.0	4.5	12.2	2.0	1.7	11.3	2.2	5.9	1.5	24.8	8.2
電気・ガス・熱供給・水道業	119	5.9	2.5	0.8	10.9	9.2	4.2	11.8	2.5	2.5	6.7	3.4	8.4	0.8	17.6	12.6
情報・通信業	670	1.6	2.1	2.7	1.2	30.4	2.7	9.6	2.2	1.6	9.0	1.3	7.6	1.0	21.3	5.5
運輸業	274	2.2	2.6	5.8	0.7	6.6	23.4	12.0	2.2	0.4	9.9	1.1	2.6	3.3	18.6	8.8
卸売・小売業	1,422	2.5	2.4	5.0	0.4	3.9	5.4	26.7	2.5	2.3	11.5	2.3	5.5	1.7	19.3	8.7
金融・保険業	349	0.9	3.4	2.6	1.4	4.3	3.2	15.8	8.6	4.0	12.3	2.9	8.9	1.7	24.4	5.7
不動産業	294	1.0	4.1	3.1	0.7	4.4	3.7	11.2	5.8	6.5	12.2	4.4	9.9	0.7	24.1	8.2
飲食店・宿泊業	552	2.7	1.3	3.6	0.9	3.1	5.1	9.8	1.4	1.4	27.4	3.3	8.9	2.4	19.2	9.6
医療・保健衛生・福祉	967	1.6	1.0	2.8	0.5	2.4	1.2	7.1	1.4	0.6	6.2	43.1	9.8	1.6	13.9	6.7
教育・学習支援業	1,212	1.2	1.2	2.6	0.0	4.0	0.9	7.5	0.7	1.4	5.3	5.9	43.0	1.6	18.1	6.6
複合サービス事業	194	4.6	1.5	3.6	1.0	4.6	3.1	9.8	0.5	0.5	6.2	3.6	7.7	22.7	21.6	8.8
その他のサービス業	2,382	1.3	1.5	2.7	0.5	3.0	2.1	7.4	1.6	1.3	5.4	2.1	8.4	1.0	56.4	5.2
その他	738	0.7	1.5	3.8	0.5	3.7	2.0	9.5	0.9	0.8	8.8	3.3	10.6	1.4	21.4	31.2

注) 本業と副業で同じ業種の箇所に網掛け

(3) 副業の仕事内容

主たる副業の仕事内容をみていくと、「専門・技術的職業」が 29.4%でもっとも割合が高く、次いで「サービスの職業」(17.1%)、「その他」(15.1%)、「事務的職業」(13.5%)、「販売的職業」(10.0%)などの順となっている(図表 2-4-9)。

図表 2-4-9：主たる副業の仕事内容 (n=10,803 単位：%)



副業の仕事内容を副業それぞれについてみると、副業 1 つの人の副業では「専門・技術的職業」(26.3%)に次いで、「サービスの職業」(17.6%)、「その他」(15.9%)などの順となっている。副業 2 つ以上の人では、「専門・技術的職業」が副業 A で 41.3%、副業 B で 39.7%に及んでいる(図表 2-4-10)。

図表 2-4-10：副業の仕事内容(副業別 単位：%)

		専門・ 業・ 技術的 職	管理 的 職 業	事務 的 職 業	販 売 的 職 業	生 産 工 程 ・ 労 務 に 関 わ る 職 業	運 輸 ・ 通 信 的 職 業	保 安 的 職 業	農 ・ 林 ・ 漁 業 に 関 わ る 職 業	サ ー ビ ス 的 職 業	そ の 他
副業 1 つの人	副業(n=8,567)	26.3	4.3	14.3	10.5	5.1	3.2	0.4	2.3	17.6	15.9
副業 2 つ以上の人	副業 A (n=2,236)	41.3	5.8	10.5	8.2	3.4	2.5	0.6	0.7	15.0	12.0
	副業 B (n=2,236)	39.7	5.4	10.6	7.4	3.0	2.1	0.4	1.2	14.1	16.3

図表 2-4-11 により、主たる副業の仕事内容と様々な項目とのクロス集計をみていくと、最終学歴別では、おおむね学歴が高くなるほど「専門・技術的職業」の割合が高まっており、「大学院」では「専門・技術的職業」が 69.9%とほぼ 7 割に達している。一方、学歴が低くなるほど「販売的職業」や「サービスの職業」などの割合が高まる傾向にある。

本業の仕事内容別にみると、本業が「専門・技術的職業」の人では、59.8%と 6 割近くが主たる副業でも「専門・技術的職業」となっている。本業が「管理的職業」の人では、副業が「専門・技術的職業」もしくは「管理的職業」の人が全体の 50%以上を占める。これを副業者全体に占める割合でみると、本業も主たる副業も「専門・技術的職業」という組み

合わせが 19.7%と最も多く、次いで、本業も主たる副業も「事務的職業」という組み合わせが 6.2%となっている。

本業の月収別にみると、本業の月収が高いほど「専門・技術的職業」、「管理的職業」の割合が高くなっており、月収が低いほど「事務的職業」や「サービスの職業」の割合がおおむね高まる傾向にある。

図表 2-4-11：主たる副業の仕事内容 (n=10,803 単位：%)

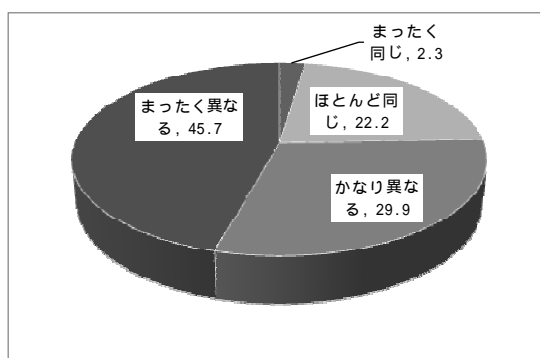
		全体 (n)	専門・技術的職業	管理的職業	事務的職業	販売的職業	生産工程・労働に関わる職業	運輸・通信的職業	保安的職業	農・林・漁業に関わる職業	サービスの職業	その他
全体		10,803	29.4	4.6	13.5	10.0	4.7	3.0	0.5	2.0	17.1	15.1
最終学歴	中学・高等学校	3,247	16.2	3.5	13.8	12.7	7.4	4.7	0.7	2.3	22.5	16.3
	専修・各種学校	1,571	28.6	2.4	11.6	11.7	5.3	3.3	0.3	1.7	20.2	14.9
	短期大学・高専	1,378	23.1	3.3	20.0	9.5	4.2	2.0	0.5	1.8	17.9	17.7
	四年制大学	3,882	35.4	7.1	13.1	8.8	3.3	2.3	0.4	2.1	13.2	14.3
	大学院	725	69.9	4.1	6.6	2.2	0.4	0.8	0.3	1.0	5.4	9.2
本業の仕事内容	専門・技術的職業	3,565	59.8	2.2	8.7	5.7	2.5	1.3	0.3	1.9	8.7	8.9
	管理的職業	1,046	25.3	29.6	8.6	7.9	2.9	3.4	0.6	2.1	7.1	12.4
	事務的職業	2,341	13.9	1.6	28.8	9.8	3.4	1.7	0.1	1.0	21.9	17.9
	販売的職業	1,244	13.3	2.5	10.5	27.2	7.0	4.7	1.1	2.1	16.0	15.6
	生産工程・労働に関わる職業	494	8.5	2.2	8.5	12.3	21.1	5.5	1.4	5.7	21.5	13.4
	運輸・通信的職業	200	9.0	1.5	7.5	12.5	10.0	27.0	0.0	3.0	11.0	18.5
	保安的職業	24	25.0	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	4.2	0.0	20.8	16.7
	農・林・漁業に関わる職業	99	13.1	3.0	11.1	9.1	13.1	4.0	2.0	21.2	9.1	14.1
	サービスの職業	1,244	10.2	1.5	11.0	7.6	5.2	4.1	0.5	1.4	43.4	15.0
	その他	546	15.2	0.9	9.2	7.1	3.7	2.2	0.5	0.5	12.6	48.0
	本業の月収	5万円未満	792	18.8	0.4	20.1	10.2	5.9	2.1	0.1	1.1	20.1
5万円-10万円未満		1,725	22.9	0.7	20.1	9.2	5.6	2.3	0.3	1.0	19.8	18.1
10万円-20万円未満		2,746	24.9	1.6	15.1	10.1	5.0	3.7	0.5	1.1	21.9	16.0
20万円-30万円未満		2,287	29.0	3.7	12.4	10.2	4.2	3.5	0.7	2.5	19.6	14.1
30万円-40万円未満		1,379	36.0	6.7	9.3	11.2	5.6	3.9	0.7	3.7	10.9	12.0
40万円-50万円未満		678	38.3	8.3	7.5	11.4	4.3	2.7	0.3	4.0	9.9	13.4
50万円-60万円未満		471	41.6	12.5	7.9	12.1	2.8	1.5	0.2	1.1	8.7	11.7
60万円-70万円未満		225	43.6	17.3	7.6	8.0	2.2	1.8	0.0	1.8	6.2	11.6
70万円以上		500	47.0	21.8	4.6	5.4	2.2	1.4	0.6	2.2	4.6	10.2

注) 本業と副業で同じ仕事内容の箇所に網掛け

#### (4) 副業の仕事内容の本業との比較

副業の仕事内容が、本業の仕事内容と同じか、異なるかを聞いた。主たる副業で結果をみると、「まったく同じ」が 2.3%、「ほとんど同じ」が 22.2%、「かなり異なる」が 29.9%、「まったく異なる」が 45.7%で、「異なる」(「かなり異なる」と「まったく異なる」の合計)との回答が全体の 4分の3を占めた(図表 2-4-12)。

図表 2-4-12：主たる副業の仕事内容と本業との比較 (n=10,803 単位：%)



副業それぞれについてみると、副業 1 つの人の副業より、副業 2 つ以上の人の副業（A および B）の方が、本業と「同じ」（「まったく同じ」と「ほとんど同じ」の合計）とする割合が高い（図表 2-4-13）。

図表 2-4-13：副業の仕事内容の本業との比較（副業別 単位：％）

		まったく同じ	ほとんど同じ	かなり異なる	まったく異なる	【同じ】計	【異なる】計
副業 1 つの人	副業(n=8,567)	2.0	19.9	29.4	48.7	21.9	78.1
副業 2 つ以上の人	副業 A (n=2,236)	3.3	30.9	31.7	34.1	34.2	65.8
	副業 B (n=2,236)	4.2	26.2	30.3	39.3	30.4	69.6

図表 2-4-14 により、いくつかの項目とのクロス集計をみていくと、本業の業種別では、「医療・保健衛生・福祉」、「教育・学習支援業」で「同じ」とする割合が 30%以上となっている。

本業の仕事内容別にみると、「同じ」とする割合は本業が「専門・技術的職業」とする人でもっとも高く（36.2%）、次いで、「管理的職業」（27.5%）、「運輸・通信的職業」（26.0%）の順で高くなっている。

本業の役職別にみると、役職が高いほど「同じ」割合が高くなっている。

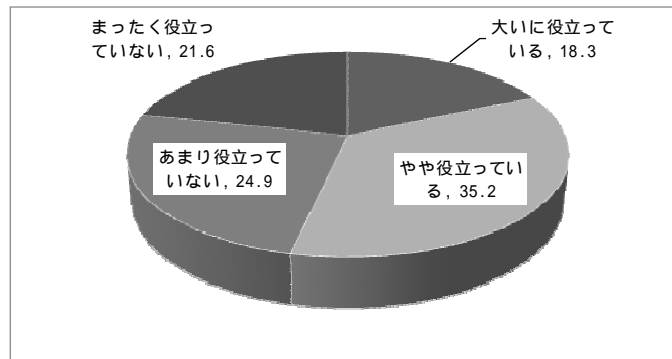
図表 2-4-14：主たる副業の仕事内容の本業との比較（単位：％）

		全体(n)	まったく同じ	ほとんど同じ	かなり異なる	まったく異なる	【同じ】計	【異なる】計	
全体		10,803	2.3	22.2	29.9	45.7	24.5	75.6	
本業の業種	農林漁業・鉱業	134	3.7	12.7	29.1	54.5	16.4	83.6	
	建設業	592	1.5	23.3	21.8	53.4	24.8	75.2	
	製造業	904	1.4	13.5	28.2	56.9	14.9	85.1	
	電気・ガス・熱供給・水道業	119	0.8	13.4	25.2	60.5	14.3	85.7	
	情報・通信業	670	3.4	22.8	29.4	44.3	26.3	73.7	
	運輸業	274	2.2	20.1	21.2	56.6	22.3	77.7	
	卸売・小売業	1,422	1.2	16.2	32.0	50.6	17.4	82.6	
	金融・保険業	349	1.4	9.7	33.5	55.3	11.2	88.8	
	不動産業	294	2.0	15.0	29.3	53.7	17.0	83.0	
	飲食店・宿泊業	552	1.4	21.4	33.3	43.8	22.8	77.2	
	医療・保健衛生・福祉	967	5.3	27.0	28.2	39.5	32.3	67.7	
	教育・学習支援業	1,212	3.2	32.0	32.3	32.4	35.2	64.8	
	複合サービス事業	194	1.0	11.9	32.0	55.2	12.9	87.1	
	その他のサービス業	2,382	2.2	27.3	31.8	38.7	29.5	70.5	
	その他	738	1.1	19.5	25.9	53.5	20.6	79.4	
本業の仕事内容	専門・技術的職業	3,565	3.8	32.5	29.9	33.9	36.2	63.8	
	管理的職業	1,046	2.2	25.3	29.2	43.3	27.5	72.5	
	事務的職業	2,341	1.0	12.8	29.1	57.1	13.8	86.2	
	販売的職業	1,244	1.3	16.6	33.0	49.0	17.9	82.1	
	生産工程・労務に関わる職業	494	1.0	11.1	26.5	61.3	12.1	87.9	
	運輸・通信的職業	200	2.0	24.0	21.5	52.5	26.0	74.0	
	保安的職業	24	0.0	4.2	25.0	70.8	4.2	95.8	
	農・林・漁業に関わる職業	99	1.0	12.1	31.3	55.6	13.1	86.9	
	サービスの職業	1,244	2.3	19.0	32.8	46.0	21.2	78.8	
	その他	546	1.8	20.7	26.4	51.1	22.5	77.5	
	本業の役職	部長相当以上	552	4.2	31.2	28.8	35.9	35.3	64.7
		課長相当	401	4.2	28.9	28.9	37.9	33.2	66.8
主任・係長相当		805	2.2	22.7	27.5	47.6	25.0	75.0	
役職には就いていない(一般社員相当)		5,061	2.3	18.2	28.9	50.6	20.5	79.5	

(5) 副業の本業への役立ち度

副業が本業にどの程度役立っているかについて尋ねた。その結果を主たる副業でみていくと、「大いに役立っている」が 18.3%、「やや役立っている」が 35.2%、「あまり役立っていない」が 24.9%、「まったく役立っていない」が 21.6%で、「役立っている」（「大いに役立っている」と「やや役立っている」の合計）が半数をやや上回った（図表 2-4-15）。

図表 2-4-15：主たる副業の本業への役立ち度合い（n=10,803 単位：％）



副業それぞれについてみていくと、副業 1 つの人の副業では、「役立っている」と「役立っていない」の割合がほぼ半々となっている。副業 2 つ以上の人の副業 A では「役立っている」が 64.8%と 6 割以上に達し、副業 B でも 59.7%と「役立っている」の割合の方が高くなっている（図表 2-4-16）。

図表 2-4-16：副業の本業への役立ち度合い（副業別 単位：％）

		大いに役立っている	やや役立っている	あまり役立っていない	まったく役立っていない	【役立っている】計	【役立っていない】計
副業 1 つの人	副業 (n=8,567)	16.0	34.5	26.4	23.1	50.5	49.5
副業 2 つ以上の人	副業 A (n=2,236)	27.2	37.6	19.5	15.7	64.8	35.2
	副業 B (n=2,236)	21.5	38.2	19.7	20.5	59.7	40.2

副業が本業にどの程度役立っているかについて、主たる副業の仕事内容別にみていくと、「役立っている」が「専門・技術的職業」では 71.0%、「管理的職業」では 67.5%に達している。一方、「保安的職業」、「生産工程・労務に関わる職業」、「農・林・漁業に関わる職業」、「運輸・通信的職業」では「役立っていない」が 60%以上に達している。

また本業の仕事内容との比較別にみると、副業の仕事内容が本業に近いほど、本業に「役立っている」とする割合も高まる（図表 2-4-17）。

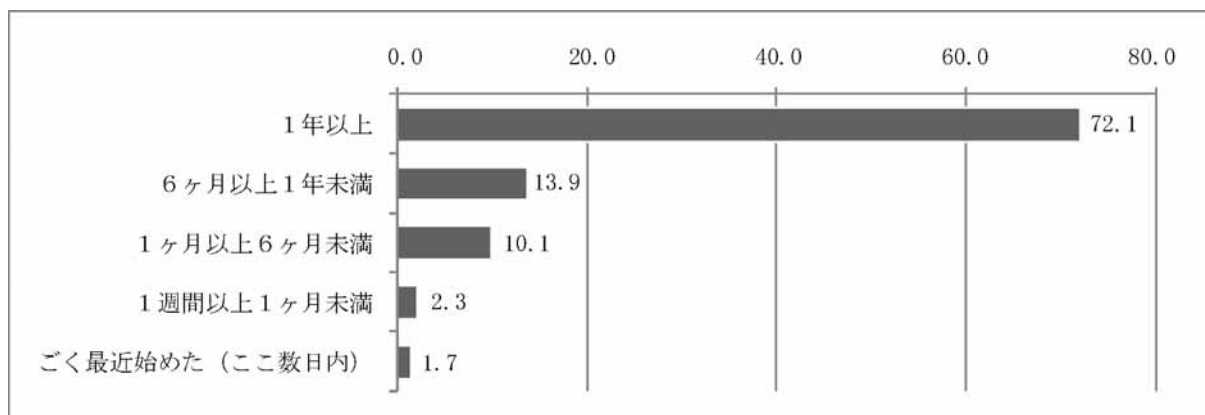
図表 2-4-17：主たる副業の本業への役立ち度合い (n=10,803 単位：%)

		全体 (n)	い大 るい に役 立っ て	るや や役 立っ てい	いあ なま いり 役立 っ て	てま いつ たく 役立 っ て	【役 立っ てい る】 計	【役 立っ てい な い】 計
全体		10,803	18.3	35.2	24.9	21.6	53.5	46.5
主たる副業 の仕事内容	専門・技術的職業	3,177	30.7	40.3	16.6	12.4	71.0	29.0
	管理的職業	499	28.3	39.3	21.4	11.0	67.5	32.5
	事務的職業	1,460	10.1	34.9	30.8	24.3	44.9	55.1
	販売的職業	1,085	12.7	38.5	29.3	19.4	51.2	48.8
	生産工程・労務に関わる職業	512	9.0	23.6	28.3	39.1	32.6	67.4
	運輸・通信的職業	328	7.3	28.4	32.3	32.0	35.7	64.3
	保安的職業	51	7.8	11.8	39.2	41.2	19.6	80.4
	農・林・漁業に関わる職業	214	8.9	23.8	31.3	36.0	32.7	67.3
	サービスの職業	1,847	12.9	36.2	27.7	23.2	49.2	50.8
	その他	1,630	14.8	28.0	27.2	29.9	42.8	57.2
本業と主たる 副業の仕事 内容の差 異	まったく同じ	245	58.0	30.2	6.9	4.9	88.2	11.8
	ほとんど同じ	2,394	38.0	48.9	10.6	2.5	86.9	13.1
	かなり異なる	3,226	18.2	44.9	28.4	8.5	63.1	36.9
	まったく異なる	4,938	6.8	22.4	30.6	40.2	29.2	70.8

(6) 副業を始めてから現在までの期間

副業を始めてから現在までの期間について、主たる副業でみていくと、「1年以上」(72.1%)が7割以上でもっとも多く、次いで「6ヶ月以上1年未満」(13.9%)、「1ヶ月以上6ヶ月未満」(10.1%)などの順であった(図表2-4-18)。

図表 2-4-18：主たる副業を始めてから現在までの期間 (n=10,803 単位：%)





## 2. 副業における労働日数・時間

### (1) 副業の頻度

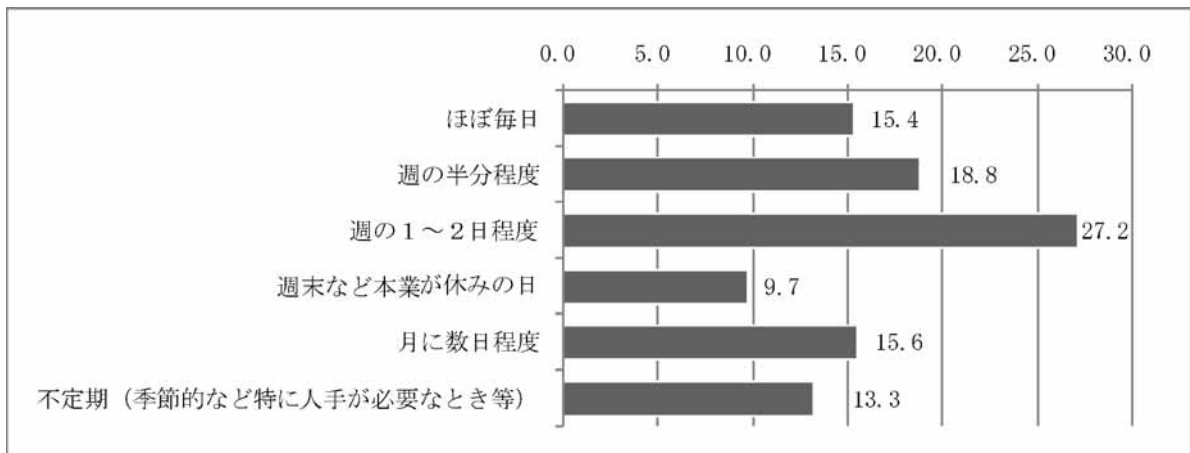
副業をどのくらいの頻度で行っているかについて、主たる副業でその結果をみると、「週に1~2日程度」が27.2%でもっとも割合が高く、次いで「週の半分程度」(18.8%)、「月に数日程度」(15.6%)、「ほぼ毎日」(15.4%)などの順であった(図表2-4-19)。

副業それぞれについてみると、副業1つの人の副業では「週に1~2日程度」が26.4%でもっとも多く、次いで「週の半分程度」の18.4%となっている。副業2つ以上の人では、副業Aは「週に1~2日程度」(30.3%)がもっとも割合が高くなっているが、副業Bは「不定期」(26.4%)がもっとも割合が高かった(図表2-4-20)。

主たる副業の頻度を本業の就業形態別にみていくと、「ほぼ毎日」の割合は、「会社などの役員」や「自営業主」で他の就業形態に比べて割合が高くなっている。「週末など本業が休みの日」では、「常用雇用の派遣社員」や「登録型の派遣社員」、「正社員」で他の就業形態に比べて割合が高かった。

また主たる副業の就業形態別にみると、「正社員」だと「ほぼ毎日」が34.7%と3割を超えており、「契約・嘱託社員」、「パート・アルバイト」では「週に1~2日程度」が3割を超える割合となっている(図表2-4-21)。

図表2-4-19：主たる副業の頻度 (n=10,803 単位：%)



図表2-4-20：副業の頻度 (副業別 単位：%)

		ほぼ毎日	週の半分程度	週の1~2日程度	週末など本業が休みの日	月に数日程度	不定期
副業1つの人	副業(n=8,567)	15.6	18.4	26.4	10.2	15.8	13.5
副業2つ以上の人	副業A (n=2,236)	14.4	20.5	30.3	7.8	14.7	12.3
	副業B (n=2,236)	8.4	8.0	25.6	7.6	24.0	26.4

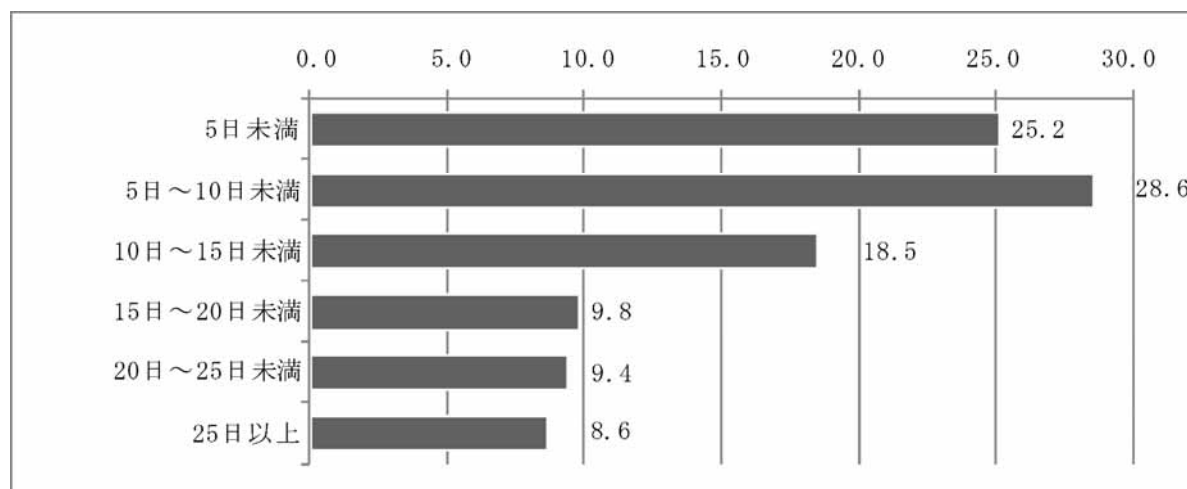
図表 2-4-21：主たる副業の頻度（単位：％）

		全体 (n)	ほぼ毎日	週の半分程度	程度の1〜2日	が週末など日本業	月に数日程度	不定期
全体		10,803	15.4	18.8	27.2	9.7	15.6	13.3
本業の就業形態	正社員	2,941	12.8	16.5	27.5	15.6	15.3	12.3
	契約・嘱託社員	894	11.7	18.7	31.0	13.0	13.1	12.5
	パート・アルバイト	2,362	12.2	17.8	32.9	8.0	15.7	13.3
	常用雇用の派遣社員	295	8.5	15.6	24.7	20.0	20.0	11.2
	登録型の派遣社員	321	8.4	12.5	25.5	18.4	16.5	18.7
	期間工・季節工・日雇	11	9.1	9.1	27.3	9.1	9.1	36.4
	会社などの役員	360	24.2	14.4	23.3	5.6	21.4	11.1
	自営業主	1,706	25.6	22.9	21.3	4.0	14.1	12.0
	家族従業員・家業の手伝い	346	19.7	24.3	22.3	3.5	16.5	13.9
	自由業・フリーランス等	1,493	16.1	22.6	23.6	4.2	16.8	16.7
その他	74	10.8	13.5	48.6	5.4	12.2	9.5	
主たる副業の就業形態	正社員	216	34.7	23.1	21.8	4.6	9.7	6.0
	契約・嘱託社員	785	12.9	20.3	33.4	7.8	17.6	8.2
	パート・アルバイト	3,812	13.2	23.6	34.1	10.2	11.3	7.6
	常用雇用の派遣社員	122	18.9	20.5	23.8	13.9	13.9	9.0
	登録型の派遣社員	496	4.0	10.5	21.6	20.0	22.8	21.2
	期間工・季節工・日雇	94	7.4	7.4	13.8	11.7	24.5	35.1
	会社などの役員	306	22.5	11.8	25.5	6.5	23.2	10.5
	自営業主	1,052	25.9	19.0	20.9	7.6	13.9	12.7
	家族従業員・家業の手伝い	524	16.8	11.6	15.3	14.9	17.9	23.5
	自由業・フリーランス等	3,194	15.2	16.6	22.9	8.6	18.2	18.4
その他	202	7.4	7.4	33.7	6.4	24.8	20.3	

(2) 副業での1ヶ月あたりの実労働日数

1ヶ月あたり何日副業しているかについて<sup>14</sup>、主たる副業でその結果をみていくと、「5～10日未満」が28.6%でもっとも多く、次いで「5日未満」(25.2%)、「10～15日未満」(18.5%)、「15～20日未満」(9.8%)などの順であった(図表2-4-22)。

図表 2-4-22：1ヶ月あたりの副業日数（主たる副業 n=10,803 単位：％）



<sup>14</sup> 直近の月の実績で回答してもらった。1日に1時間でも働けば1日と換算してもらった。

副業それぞれについてみると、副業 1 つの人の副業と、副業 2 つ以上の人の副業 A では「5～10 日未満」の割合がもっとも高かったが、副業 2 つ以上の人の副業 B では「5 日未満」の割合がもっとも高く、49.9%とほぼ半数となっている（図表 2-4-23）。

図表 2-4-23：1 ヶ月あたりの副業をする日数（副業別 単位：％）

		5日未満	5～10日 未満	10～15 日未満	15～20 日未満	20～25 日未満	25日以上	平均日数(日)
副業 1 つの人	副業(n=8,567)	25.7	28.4	18.1	9.5	9.4	8.8	10.5
副業 2 つ以上の人	副業 A (n=2,236)	22.9	29.2	19.8	10.9	9.4	7.9	10.7
	副業 B (n=2,236)	49.9	25.7	11.5	4.6	3.4	5.0	7.0

主たる副業の 1 ヶ月あたりの実労働日数を本業の就業形態別にみると、「正社員」や「契約・嘱託社員」、「パート・アルバイト」では、「10 日未満」（「5 日未満」+「5～10 日未満」）の割合がそれぞれ 6 割程度を占めている。一方、「会社などの役員」「自営業主」でも 10 日未満の割合が高いことには変わりはないが、「10 日未満」の他に「20～25 日未満」「25 日以上」の割合も高い。

また主たる副業の就業形態別にみると、「正社員」だと「20～25 日未満」（25.0%）の割合がもっとも高く、「パート・アルバイト」、「自由業・フリーランス等」では「5～10 日未満」（それぞれ 29.7%、29.2%）の割合がもっとも高い。「自営業主」では「25 日以上」の割合も他の就業形態に比べて高くなっている（図表 2-4-24）。

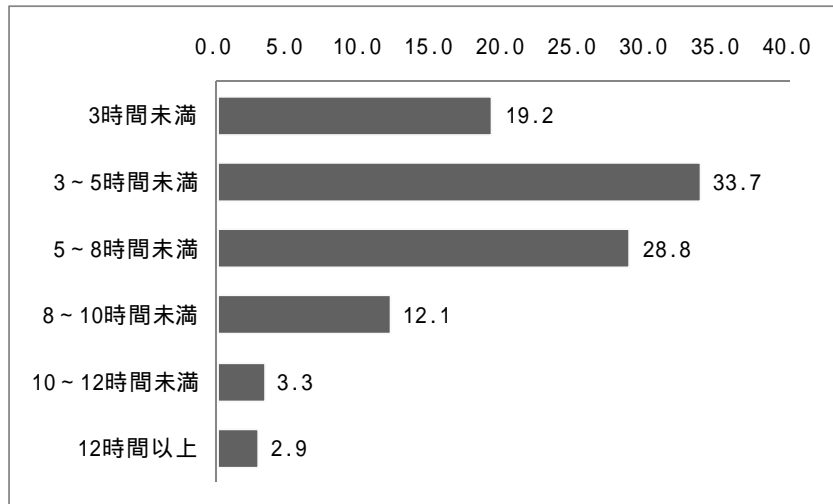
図表 2-4-24：1 ヶ月あたりの副業をする日数（主たる副業 単位：％）

		5 日 未 満	5 ～ 10 日 未 満	10 ～ 15 日 未 満	15 ～ 20 日 未 満	20 ～ 25 日 未 満	25 日 以 上	平均日数(日)
全体 (n)		10,803	25.2	28.6	18.5	9.8	9.4	8.6
本業の就業形態	正社員	2,941	29.0	30.1	17.6	8.5	7.2	7.5
	契約・嘱託社員	894	25.6	31.8	19.6	8.9	7.7	6.4
	パート・アルバイト	2,362	27.9	30.8	17.1	8.9	8.5	6.8
	常用雇用の派遣社員	295	33.2	31.9	16.9	7.5	6.1	4.4
	登録型の派遣社員	321	35.5	32.1	15.3	8.4	4.4	4.4
	期間工・季節工・日雇	11	36.4	18.2	18.2	9.1	0.0	18.2
	会社などの役員	360	23.1	24.4	19.7	8.1	11.9	12.8
	自営業主	1,706	15.9	23.9	18.5	12.9	14.1	14.7
	家族従業員・家業の手伝い	346	17.3	24.3	20.5	11.6	13.9	12.4
	自由業・フリーランス等	1,493	21.2	25.9	22.2	11.3	10.9	8.5
その他	74	39.2	28.4	10.8	9.5	9.5	2.7	
主たる副業の就業形態	正社員	216	13.4	20.4	15.7	9.7	25.0	15.7
	契約・嘱託社員	785	28.9	27.8	19.5	8.2	10.1	5.6
	パート・アルバイト	3,812	22.5	29.7	19.8	11.6	10.5	5.9
	常用雇用の派遣社員	122	26.2	23.8	18.0	11.5	18.9	1.6
	登録型の派遣社員	496	40.7	33.7	13.5	6.0	4.2	1.8
	期間工・季節工・日雇	94	41.5	29.8	11.7	6.4	5.3	5.3
	会社などの役員	306	27.5	24.5	19.0	6.9	8.8	13.4
	自営業主	1,052	19.1	25.1	17.6	10.9	10.1	17.2
	家族従業員・家業の手伝い	524	30.0	26.3	15.1	8.8	7.6	12.2
	自由業・フリーランス等	3,194	25.1	29.2	18.9	9.0	7.8	10.0
その他	202	42.6	27.2	14.4	5.4	5.0	5.4	

(3) 副業での1日あたりの実労働時間

副業で1日あたりどのくらいの時間を実際に働いているかについて<sup>15</sup>、主たる副業でその結果をみていくと、「3～5時間未満」が33.7%でもっとも多く、次いで「5～8時間未満」(28.8%)、「3時間未満」(19.2%)などの順であった(図表2-4-25)。

図表 2-4-25 : 1日あたりの副業をする時間数(主たる副業 n=10,803 単位: %)



副業それぞれについてみると、副業2つ以上の人の副業Bでは、「5～8時間未満」の割合が他に比べてやや低く、「3時間未満」の割合がやや高くなっている(図表2-4-26)。

図表 2-4-26 : 1日あたりの副業をする時間数(副業別 単位: %)

		3時間未満	3～5時間未満	5～8時間未満	8～10時間未満	10～12時間未満	12時間以上	平均時間(時間)
副業1つの人	副業(n=8,567)	20.0	34.5	27.9	11.8	3.2	2.5	4.8
副業2つ以上の人	副業A (n=2,236)	16.1	30.7	32.2	12.9	3.8	4.4	5.3
	副業B (n=2,236)	28.0	32.1	22.3	10.4	3.2	4.0	4.6

副業での実労働時間を主たる副業の就業形態別にみていくと、どの就業形態も「3～5時間未満」と「5～8時間未満」の割合が高くなっているが、「会社などの役員」、「自営業主」、「自由業・フリーランス等」では「3時間未満」の割合の高さも目立っている(図表2-4-27)。

<sup>15</sup> 直近の週の実績で回答してもらった。残業時間も含めて回答してもらった。

図表 2-4-27：1日あたりの副業をする時間数（主たる副業 単位：％）

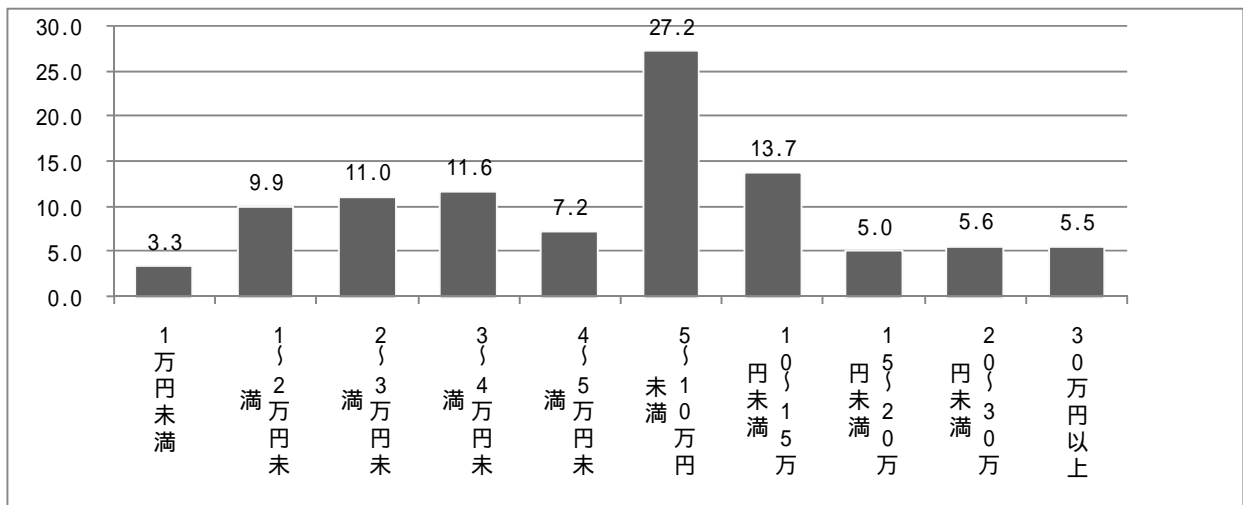
		全体 (n)	3時間未満	3}5時間未満	5}8時間未満	8}10時間未満	10}12時間	12時間以上
全体		10,803	19.2	33.7	28.8	12.1	3.3	2.9
主たる副業の就業形態	正社員	216	19.4	28.2	25.5	18.5	4.6	3.7
	契約・嘱託社員	785	16.3	33.0	28.4	15.4	3.4	3.4
	パート・アルバイト	3,812	12.3	34.2	35.0	13.6	2.5	2.4
	常用雇用型の派遣社員	122	8.2	12.3	42.6	29.5	2.5	4.9
	登録型の派遣社員	496	7.7	18.1	34.9	32.9	3.6	2.8
	期間工・季節工・日雇	94	7.4	17.0	23.4	30.9	11.7	9.6
	会社などの役員	306	27.8	36.6	24.2	5.6	3.3	2.6
	自営業主	1,052	24.3	35.0	24.8	8.7	4.2	2.9
	家族従業員・家業の手伝い	524	27.9	31.7	27.9	8.0	2.5	2.1
	自由業・フリーランス等	3,194	25.9	37.1	23.0	7.1	3.8	3.2
その他	202	33.7	32.2	19.8	9.4	2.0	3.0	
主たる副業の勤務日数/月	5日未満	2,717	21.6	27.9	27.9	15.4	3.8	3.4
	5日-10日未満	3,085	17.9	30.6	29.9	14.7	4.1	2.9
	10日-15日未満	1,996	16.6	39.0	29.5	9.1	3.1	2.8
	15日-20日未満	1,057	16.0	42.1	31.3	7.3	1.4	1.9
	20日-25日未満	1,014	17.0	38.6	30.4	10.1	2.4	1.7
	25日以上	934	28.4	34.9	22.2	7.7	3.0	3.9

### 3. 副業での収入の状況

#### (1) 副業における収入

1ヶ月あたりの、副業で得ている収入について<sup>16</sup>、主たる副業でその結果をみていくと、「5万円～10万円未満」が27.2%でもっとも多く、次いで「10万円～15万円未満」（13.7%）、以下「3万円～4万円未満」（11.6%）、「2万円～3万円未満」（11.0%）、「1万円～2万円未満」（9.9%）などの順となっている（図表 2-4-28）。

図表 2-4-28：1ヶ月あたりの副業での収入（主たる副業 n=10,803 単位：％）



<sup>16</sup> 直近の月の実績で回答してもらった。税金・社会保険料などを差し引かれる前の額、かつ残業代は含むがボーナス・退職金は含めない額で回答してもらった。

副業それぞれについてみると、副業 2 つ以上の人の副業 A では、「5 万円～10 万円未満」（27.5%）のほかに「10 万円～15 万円未満」（16.2%）、「20 万円以上」（19.2%）の割合も他に比べて高くなっており、副業 B では低額の区分の各割合が高くなっている（図表 2-4-29）

図表 2-4-29：1 ヶ月あたりの副業での収入（副業別 n=10,803 単位：%）

		1万円未 満	1～2万 円未 満	2～3万 円未 満	3～4万 円未 満	4～5万 円未 満	5～10万 円未 満	10～15 万円未 満	15～20 万円未 満	20万円 以上	平均月収 （円、1円未 満切り捨て）
副業 1 つの人	副業 (n=8,567)	4.1	11.2	12.1	12.0	7.2	27.2	13.0	4.3	9.0	77,232
副業 2 つ以上の人	副業 A (n=2,236)	0.4	5.0	7.1	9.8	7.1	27.5	16.2	7.6	19.2	127,228
	副業 B (n=2,236)	7.2	17.6	16.2	13.0	6.0	21.7	9.1	2.5	6.7	59,610

図表 2-4-30 により、主たる副業での収入と様々な項目とのクロス集計をみていくと、男女別では、5 万円未満の各割合で女性の方が高い結果となっている。

年代別にみると、年代が低くなるほど低額の区分（「1 万円未満」～「3～4 万円未満」）の割合が高くなる傾向がある。

最終学歴別では、学歴が低いほど低額の区分（「1 万円未満」～「3～4 万円未満」）の割合が高くなっており、「四年制大学」と「大学院」では「10～15 万円未満」、「15～20 万円未満」、「20 万円以上」の割合が他の学歴よりも高い結果となっている。

主たる副業の就業形態別にみると、「正社員」では「20 万円以上」が 41.2%と 4 割以上となっており、「会社などの役員」も「20 万円以上」が 45.4%と多くなっている。「パート・アルバイト」では「5～10 万円未満」（32.7%）がもっとも多く、「2～3 万円未満」（11.4%）、「3～4 万円未満」（13.5%）、「4～5 万円未満」（10.5%）といった区分がそれぞれ 10%台となっている。「期間工・季節工・日雇」、「家族従業員・家業の手伝い」、「自由業・フリーランス等」では、「1～2 万円未満」と「2～3 万円未満」の割合が他の就業形態に比べて高くなっている。

主たる副業の業種別にみると、「不動産業」以外の業種では「5～10 万円未満」がもっとも高い割合となっている。「不動産業」は「20 万円以上」が 29.8%でもっとも割合が高い。「農林漁業・鉱業」や「教育・学習支援業」などで「1～2 万円未満」や「2～3 万円未満」など低額の区分で割合が高くなっている。

主たる副業の仕事内容別にみると、「専門・技術的職業」では「5～10 万円未満」（26.2%）のほかに、「10～15 万円未満」（14.8%）、「20 万円以上」（15.5%）の割合も高い。「管理的職業」では「20 万円以上」が 44.1%と全体の 4 割以上を占めている。一方、「事務的職業」、「販売的職業」、「生産工程・労務に関わる職業」、「農・林・漁業に関わる職業」、「サービスの職業」では、「1～2 万円未満」や「2～3 万円未満」など低額の区分で割合が高くなっている。

副業の仕事内容の本業との差異別では、仕事内容が異なるほど「1～2万円未満」や「2～3万円未満」の割合が高まる傾向がみられ、仕事内容が同じほど「20万円以上」の割合が高まる。

副業している理由（もっとも当てはまるもの）別にみると、「自分が活躍できる場をを広げたいから」、「様々な分野の人とつながりができるから」、「現在の仕事で培った能力を活用するため」といった非経済的な理由で副業している人で、「20万円以上」の割合が高くなっている。

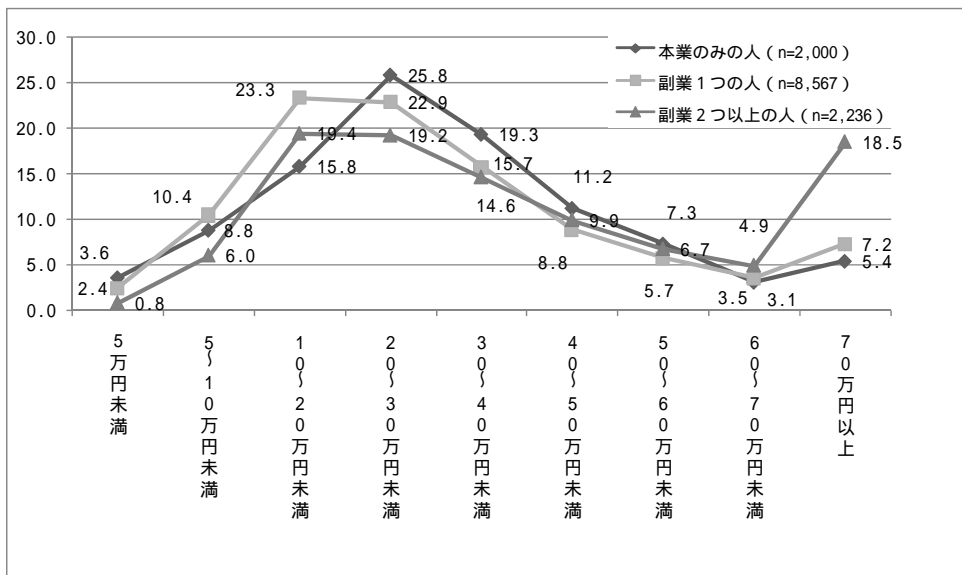
図表 2-4-30：1ヶ月あたりの主たる副業での収入（単位：%）

		全体 (n)	1万円未満	1万円～2万円未満	2万円～3万円未満	3万円～4万円未満	4万円～5万円未満	5万円～10万円未満	10万円～15万円未満	15万円～20万円未満	20万円以上
全体		10,803	3.3	9.9	11.0	11.6	7.2	27.2	13.7	5.0	11.1
性別	男性	4,929	1.3	5.8	8.0	8.5	5.9	27.1	17.8	7.2	18.4
	女性	5,874	5.0	13.3	13.6	14.1	8.3	27.4	10.2	3.1	5.0
年代	10および20代	1,806	4.1	11.6	15.0	14.5	9.4	25.5	10.4	3.4	6.1
	30代	4,134	3.7	10.2	11.0	12.0	7.1	27.6	13.7	4.9	9.8
	40代	3,545	3.1	9.8	9.9	10.5	6.3	27.6	14.1	5.2	13.6
	50代	1,163	1.6	7.1	8.7	9.1	7.1	27.4	16.8	7.2	14.9
	60代	155	0.6	5.8	9.7	8.4	5.2	27.7	18.1	5.8	18.7
最終学歴	中学・高等学校	3,247	3.7	10.9	12.7	12.4	7.5	28.1	12.2	4.3	8.3
	専修・各種学校	1,571	3.1	10.3	11.5	12.0	7.1	26.4	14.6	4.2	10.7
	短期大学・高専	1,378	4.9	13.8	11.8	14.2	8.6	27.9	10.4	2.9	5.4
	四年制大学	3,882	2.9	8.3	9.6	10.4	6.5	26.7	15.6	6.2	13.9
	大学院	725	1.7	5.8	9.1	7.7	6.8	26.9	14.5	7.0	20.6
世帯上の地位	世帯主	5,502	1.6	6.7	8.5	9.4	5.9	27.8	16.8	6.9	16.4
	世帯主の配偶者	2,731	6.1	15.6	14.1	14.4	8.1	25.5	9.3	2.6	4.4
	世帯主の子	2,323	4.0	10.8	13.3	13.0	8.9	28.5	11.6	3.5	6.5
	その他	247	5.7	10.5	11.7	15.4	8.9	23.1	11.3	3.6	9.7
主たる副業の就業形態	正社員	216	0.5	0.5	4.6	3.2	2.3	18.1	17.6	12.0	41.2
	契約・嘱託社員	785	2.0	5.7	9.3	8.4	6.5	27.8	15.8	9.9	14.5
	パート・アルバイト	3,812	2.6	9.7	11.4	13.5	10.5	32.7	12.0	3.5	4.1
	常雇用型の派遣社員	122	2.5	3.3	9.0	8.2	8.2	23.8	23.8	7.4	13.9
	登録型の派遣社員	496	3.8	11.1	16.7	13.7	10.9	25.6	8.7	4.2	5.2
	期間工・季節工・日雇	94	9.6	16.0	10.6	9.6	8.5	18.1	11.7	3.2	12.8
	会社などの役員	306	0.3	1.6	3.9	4.2	1.6	16.0	20.3	6.5	45.4
	自営業主	1,052	1.2	5.0	6.8	9.0	2.9	25.3	19.8	6.7	23.3
	家族従業員・家業の手伝い	524	6.1	15.3	11.6	13.5	5.9	27.7	13.5	2.3	4.0
	自由業・フリーランス等	3,194	4.8	12.8	12.5	11.7	5.0	23.7	13.1	5.1	11.4
	その他	202	6.4	16.3	12.9	9.9	9.9	24.8	7.9	3.0	8.9
主たる副業の業種	農林漁業・鉱業	246	3.3	11.8	13.0	15.9	2.4	25.6	15.9	1.6	10.6
	建設業	304	1.0	5.3	8.6	10.5	4.9	27.6	16.8	8.2	17.1
	製造業	473	2.5	9.7	11.0	9.9	6.3	26.6	16.5	5.7	11.6
	電気・ガス・熱供給・水道業	79	2.5	8.9	8.9	15.2	5.1	27.8	12.7	5.1	13.9
	情報・通信業	584	5.0	10.6	8.2	9.6	4.5	22.9	16.1	6.0	17.1
	運輸業	375	1.9	5.3	6.4	7.5	10.1	37.1	18.1	6.7	6.9
	卸売・小売業	1,260	3.3	7.9	10.6	11.8	8.0	29.8	13.6	4.4	10.5
	金融・保険業	217	0.9	6.5	7.8	12.9	4.1	25.3	18.4	6.9	17.1
	不動産業	188	2.1	9.6	7.4	5.9	4.8	20.2	14.4	5.9	29.8
	飲食店・宿泊業	992	1.7	8.0	10.0	14.1	11.2	32.0	13.7	3.2	6.1
	医療・保健衛生・福祉	696	2.0	9.6	10.8	11.4	7.0	23.7	13.8	6.8	14.9
	教育・学習支援業	1,259	4.7	14.1	13.8	13.1	9.1	26.1	9.2	4.5	5.5
	複合サービス業	196	3.6	6.6	10.7	12.8	7.1	30.6	14.8	6.6	7.1
	その他のサービス業	2,982	3.4	9.5	11.3	10.7	5.9	26.8	14.4	5.4	12.6
	その他	952	5.7	14.3	14.0	12.3	7.6	24.7	10.0	3.0	8.5
主たる副業の仕事内容	専門・技術的職業	3,177	2.4	8.3	9.5	10.5	6.1	26.2	14.8	6.7	15.5
	管理的職業	499	0.6	2.0	2.6	5.6	1.4	15.8	22.0	5.8	44.1
	事務的職業	1,460	4.3	11.5	11.6	10.9	7.7	31.2	13.4	4.3	5.2
	販売的職業	1,085	2.9	9.2	11.5	12.6	7.6	30.0	12.6	4.4	9.1
	生産工程・労務に関わる職業	512	2.7	10.7	10.9	12.3	9.0	27.5	15.8	5.1	5.9
	運輸・通信的職業	328	4.6	4.6	4.9	9.1	8.8	33.8	18.6	8.2	7.3
	保安的職業	51	2.0	9.8	9.8	2.0	3.9	41.2	11.8	5.9	13.7
	農・林・漁業に関わる職業	214	3.3	12.6	15.0	15.0	2.3	27.6	13.6	1.9	8.9
	サービスの職業	1,847	2.8	10.2	13.3	14.3	10.0	30.0	10.9	3.6	4.8
	その他	1,630	6.0	14.4	14.2	12.3	6.9	22.2	11.6	3.7	8.7
本業と主たる副業の仕事内容	まったく同じ	245	2.4	7.3	7.8	9.8	4.9	22.0	18.8	8.6	18.4
	ほとんど同じ	2,394	2.2	6.9	9.2	9.7	7.3	26.6	15.9	6.3	15.9
	かなり異なる	3,226	3.0	8.5	12.3	11.3	6.9	27.8	13.9	5.0	11.3
	まったく異なる	4,938	4.1	12.3	11.3	12.7	7.4	27.4	12.3	4.2	8.3
副業理由・最も当てはまる	1つの仕事だけでは生活自体が営めないから	1,629	1.2	5.7	7.9	10.3	8.5	35.6	16.6	6.6	7.6
	収入を増やしたいから	3,364	3.6	9.5	11.5	12.8	8.5	28.0	13.1	4.0	9.0
	ローンなど借金や負債を抱えているため	371	1.3	5.7	9.2	12.9	8.1	35.6	14.0	5.1	8.1
	転職したいから	56	5.4	10.7	14.3	12.5	8.9	30.4	7.1	7.1	3.6
	独立したいから	244	2.0	9.0	7.4	11.1	2.0	26.6	20.5	6.6	14.8
	自分が活躍できる場を広げたいから	1,015	3.4	10.3	10.3	10.4	4.3	25.8	14.7	5.3	15.3
	様々な分野の人とつながりができるから	454	2.6	13.0	12.6	10.4	7.3	21.6	12.3	4.4	15.9
	現在の仕事で培った能力を活用するため	452	1.8	8.0	10.0	10.0	3.5	22.1	15.0	7.5	22.1
	時間のゆとりがあるから	672	5.8	13.2	13.7	11.2	7.9	23.8	12.1	4.9	7.4
	副業のほうが本当に好きな仕事だから	791	3.9	11.6	11.9	12.3	8.0	24.8	11.0	4.6	12.0
	本業の仕事の性格上、別の仕事をもつことが自然だから（大学教員、研究者など）	379	1.6	5.5	6.6	7.7	6.3	26.9	15.3	7.7	22.4
	仕事を頼まれ、断りきれなかったから	939	5.2	14.2	15.1	12.9	6.1	20.9	12.8	3.9	8.9
	その他	437	6.2	16.5	12.8	11.0	4.6	21.1	9.8	3.9	14.2

(2) 本業の月収と副業の月収の総計

本業の月収と副業の月収の総計（以下「月収総計」という）をみると、副業 1 つの人、副業 2 つ以上<sup>17</sup>の人も共に「10～20 万円未満」の割合がもっとも高くなっている（それぞれ 23.3%、19.4%）。副業 1 つの人と副業 2 つ以上の人を比べると、「5 万円未満」から「30～40 万円未満」まではいずれの区分も、副業 2 つ以上の人の方が割合が低く、「40～50 万円未満」以降になると副業 2 つ以上の人の方が割合が高くなる。副業者それぞれの月収総計を本業のみの方の本業月収と比べると、「20～30 万円未満」、「30～40 万円未満」、「40～50 万円未満」では本業のみの方の方が割合が高くなっている（図表 2-4-31）。

図表 2-4-31：本業月収と副業月収の総計（単位：％）



月収総計について、副業 1 つの人から本業の就業形態別にみていくと、「正社員」、「契約・嘱託社員」、「常用雇用型の派遣社員」、「登録型の派遣社員」などでは「20～30 万円未満」がもっとも高い割合となっており、「パート・アルバイト」、「家族従業員・家業の手伝い」、「自由業・フリーランス等」では「10～20 万円未満」がもっとも高い割合となっている。

また、副業している理由（もっとも当てはまるもの）別にみると、「時間のゆとりがあるから」などでは「5 万円未満」や「5～10 万円未満」の低い額の区分で割合が高くなっており、「1 つの仕事だけでは生活自体が営めないから」や「ローンなど借金や負債を抱えているため」などは 10～40 万円未満で割合が高くなっている。「独立したいから」、「現在の仕事で培った能力を活用するため」、「本業の仕事の性格上、別の仕事をもつことが自然

<sup>17</sup> 副業 2 つ以上の人については、本業月収と副業 A の月収、副業 B の月収の合計である。



だから」では、高い額の区分でも割合が高くなっている（図表 2-4-32）。

次に、副業 2 つ以上の人々の月収総計について、本業の就業形態別にみていくと、「正社員」では副業 1 つの人とは異なり「70 万円以上」が 29.5% ともっとも高い割合となっている。「パート・アルバイト」では「10～20 万円未満」が 45.2% ともっとも割合が高く、「会社などの役員」は「70 万円以上」が 61.1% と 6 割以上を占めている。

副業している理由（もっとも当てはまるもの）別では、「1 つの仕事だけでは生活自体が営めないから」、「収入を増やしたいから」、「ローンなど借金や負債を抱えているため」などは、10～40 万円未満で割合が高く、「自分が活躍できる場を広げたいから」、「様々な分野の人とつながりのできるから」、「現在の仕事で培った能力を活用するため」、「本業の仕事の性格上、別の仕事をもつことが自然だから」ではいずれも「70 万円以上」の割合がもっとも高くなっている（図表 2-4-33。なお、副業 1 つの人と副業 2 つ以上の人を合わせた副業者全体についてみたものが図表 2-4-34）。

図表 2-4-32：本業月収と副業月収の総計（副業 1 つの人 単位：％）

		全体 (n)	5 万円 未満	5 万 円 未 満 1 0 万	1 万 円 未 満 2 0	2 万 円 未 満 3 0	3 万 円 未 満 4 0	4 万 円 未 満 5 0	5 万 円 未 満 6 0	6 万 円 未 満 7 0	7 0 万 円 以 上	平均値 (単位 = 千円)	中央値 (単位 = 千円)
全体		8,567	2.4	10.4	23.3	22.9	15.7	8.8	5.7	3.5	7.2	316.1	250.0
本業の就業 形態	正社員	2,456	0.0	0.1	8.9	26.2	24.7	16.0	9.6	5.0	9.4	412.1	350.0
	契約・嘱託社員	721	1.2	5.3	27.3	33.1	17.2	6.9	3.6	2.2	3.1	279.4	240.0
	パート・アルバイト	1,973	5.7	28.7	44.1	14.4	4.5	1.2	0.5	0.3	0.5	147.2	120.0
	常用雇用型の派遣社員	251	0.0	3.6	19.9	50.6	18.7	4.0	2.0	1.2	0.0	258.1	250.0
	登録型の派遣社員	246	4.5	11.8	24.0	37.8	14.2	6.5	0.4	0.4	0.4	218.6	215.0
	期間工・季節工・日雇	8	12.5	12.5	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	166.3	135.0
	会社などの役員	265	0.0	1.9	4.2	12.1	14.0	10.9	12.8	11.7	32.5	617.9	544.0
	自営業主	1,302	0.8	3.2	14.4	20.8	17.8	12.1	9.8	6.1	15.0	440.4	350.0
	家族従業員・家業の手伝い	297	2.0	18.2	36.0	22.9	11.4	3.7	2.0	1.3	2.4	213.0	170.0
	自由業・フリーランス等	1,003	5.2	13.9	27.7	20.2	13.5	6.6	3.9	3.3	5.8	268.5	210.0
その他	45	4.4	17.8	33.3	8.9	4.4	0.0	13.3	4.4	13.3	328.8	180.0	
副業理由・ 最もあては まるもの	1 つの仕事だけでは生活自体が営めないから	1,225	1.0	8.0	32.9	31.3	15.0	5.8	2.7	1.5	1.8	246.7	215.0
	収入を増やしたいから	2,758	3.1	11.0	23.0	23.7	16.8	8.6	5.4	3.2	5.3	295.9	250.0
	ローンなど借金や負債を抱えている	291	0.3	5.5	21.3	27.5	23.0	10.0	6.5	3.1	2.7	305.2	270.0
	転職したいから	44	4.5	6.8	22.7	27.3	15.9	9.1	6.8	4.5	2.3	294.5	253.0
	独立したいから	209	0.5	2.4	12.4	24.9	17.2	18.7	9.1	3.3	11.5	407.8	355.0
	自分が活躍できる場を広げたいから	739	2.3	10.0	21.1	17.1	16.2	10.8	6.9	5.0	10.6	352.0	290.0
	様々な分野の人とつながりのできる	348	2.9	9.8	22.7	21.8	12.4	5.7	6.6	3.7	14.4	365.8	260.5
	現在の仕事で培った能力を活用する	319	0.6	6.9	11.6	20.1	16.9	11.3	8.5	5.6	18.5	460.0	350.0
	時間のゆとりがあるから	580	5.5	18.1	24.8	19.3	11.2	8.3	5.2	1.9	5.7	269.6	200.0
	副業のほうが本当に好きな仕事だから	671	1.6	8.0	24.1	23.2	16.1	8.6	7.3	3.3	7.6	324.0	253.0
	本業の仕事の性格上、別の仕事をもつことが自然だから	206	1.5	6.3	12.6	14.1	14.1	9.7	11.7	10.2	19.9	487.0	425.0
	仕事を頼まれ、断りきれなかったから	799	2.9	13.4	24.9	19.4	12.4	8.5	5.8	4.6	8.1	322.1	232.0
その他	378	1.3	15.9	15.9	17.7	18.3	11.6	5.3	4.2	9.8	365.0	291.0	

図表 2-4-33：本業月収と副業月収の総計（副業2つの以上の人 単位：％）

		全体 (n)	5万円未満	5万円未満10万円	10万円未満20万円	20万円未満30万円	30万円未満40万円	40万円未満50万円	50万円未満60万円	60万円未満70万円	70万円以上	平均値 (単位=千円)	中央値 (単位=千円)
全体		2,236	0.8	6.0	19.4	19.2	14.6	9.9	6.7	4.9	18.5	465.1	326.0
本業の就業形態	正社員	485	0.0	0.2	3.9	12.8	19.6	14.8	12.2	7.0	29.5	612.9	489.0
	契約・嘱託社員	173	0.0	2.3	20.2	31.8	19.1	9.8	2.3	4.0	10.4	368.5	283.0
	パート・アルバイト	389	2.8	18.3	45.2	19.3	7.2	3.3	0.8	1.0	2.1	196.6	154.0
	常用雇用の派遣社員	44	0.0	4.5	9.1	45.5	25.0	6.8	9.1	0.0	0.0	296.3	268.5
	登録型の派遣社員	75	2.7	9.3	25.3	30.7	16.0	4.0	4.0	1.3	6.7	325.1	240.0
	期間工・季節工・日雇	3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	451.7	540.0
	会社などの役員	95	0.0	0.0	3.2	7.4	4.2	7.4	7.4	9.5	61.1	1,067.5	840.0
	自営業主	404	0.0	2.2	12.9	15.1	16.1	10.4	7.9	6.9	28.5	596.4	431.0
	家族従業員・家業の手伝い	49	2.0	2.0	22.4	34.7	16.3	8.2	6.1	4.1	4.1	312.6	236.0
	自由業・フリーランス等	490	0.8	7.6	22.2	21.2	12.7	11.6	6.3	4.7	12.9	398.1	285.0
その他	29	0.0	6.9	17.2	17.2	31.0	10.3	3.4	6.9	6.9	376.2	320.0	
副業理由・最もあてはまるもの	1つの仕事だけでは生活自体が営めないから	404	0.7	4.7	29.2	27.5	16.3	8.7	4.2	2.5	6.2	322.9	240.0
	収入を増やしたいから	606	1.2	9.4	19.5	20.3	14.4	9.6	6.6	3.5	15.7	409.4	292.5
	ローンなど借金や負債を抱えている	80	0.0	2.5	17.5	20.0	26.3	10.0	6.3	5.0	12.5	411.1	335.0
	転職したいから	12	0.0	8.3	25.0	16.7	25.0	8.3	0.0	0.0	16.7	339.1	281.5
	独立したいから	35	0.0	2.9	2.9	20.0	20.0	17.1	14.3	8.6	14.3	517.1	440.0
	自分が活躍できる場を広げたいから	276	0.4	5.8	17.4	18.5	14.1	9.1	5.8	4.0	25.0	534.5	357.5
	様々な分野の人とつながりができる	106	1.9	6.6	18.9	11.3	11.3	7.5	6.6	8.5	27.4	593.0	400.0
	現在の仕事で培った能力を活用する	133	0.8	4.5	8.3	8.3	15.0	15.8	9.8	9.0	28.6	622.8	462.0
	時間のゆとりがあるから	92	0.0	12.0	23.9	15.2	12.0	8.7	5.4	5.4	17.4	415.9	294.0
	副業のほうが本当に好きな仕事だから	120	0.0	3.3	19.2	22.5	15.8	10.0	3.3	10.0	15.8	439.5	320.5
	本業の仕事の性格上、別の仕事をもつことが自然だから	173	0.0	0.0	12.7	14.5	10.4	11.0	14.5	6.9	30.1	622.5	507.0
	仕事を頼まれ、断りきれなかったから	140	2.1	4.3	15.0	15.7	12.9	11.4	6.4	7.1	25.0	587.1	392.5
その他	59	1.7	6.8	20.3	15.3	10.2	6.8	5.1	1.7	32.2	546.6	335.0	

図表 2-4-34：本業月収と副業月収の総計（副業者 単位：％）

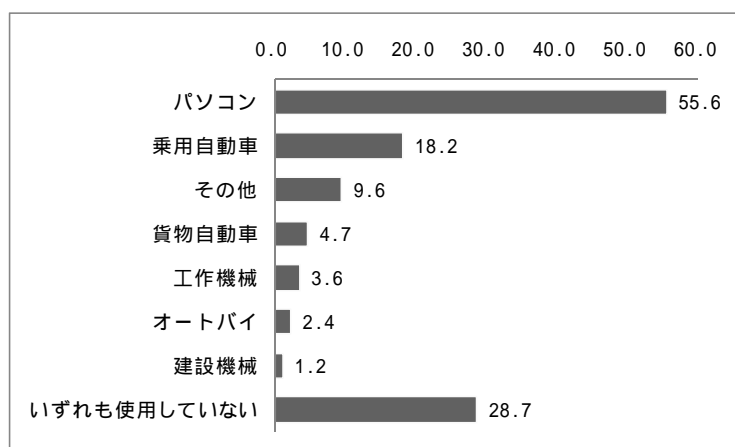
		全体 (n)	5万円未満	5万円未満10万円	10万円未満20万円	20万円未満30万円	30万円未満40万円	40万円未満50万円	50万円未満60万円	60万円未満70万円	70万円以上	平均値 (単位=千円)	中央値 (単位=千円)
全体		10,803	2.1	9.5	22.5	22.2	15.5	9.0	5.9	3.8	9.5	347.0	260.0
本業の就業形態	正社員	2,941	0.0	0.1	8.1	24.0	23.9	15.8	10.1	5.4	12.7	445.2	367.0
	契約・嘱託社員	894	1.0	4.7	26.0	32.9	17.6	7.5	3.4	2.6	4.5	296.6	250.0
	パート・アルバイト	2,362	5.2	27.0	44.3	15.2	5.0	1.6	0.6	0.4	0.7	155.3	125.0
	常用雇用の派遣社員	295	0.0	3.7	18.3	49.8	19.7	4.4	3.1	1.0	0.0	263.8	255.0
	登録型の派遣社員	321	4.0	11.2	24.3	36.1	14.6	5.9	1.2	0.6	1.9	243.4	220.0
	期間工・季節工・日雇	11	9.1	9.1	36.4	9.1	18.2	0.0	18.2	0.0	0.0	244.2	190.0
	会社などの役員	360	0.0	1.4	3.9	10.8	11.4	10.0	11.4	11.1	40.0	736.5	600.0
	自営業主	1,706	0.6	3.0	14.1	19.5	17.4	11.7	9.4	6.3	18.2	477.4	355.5
	家族従業員・家業の手伝い	346	2.0	15.9	34.1	24.6	12.1	4.3	2.6	1.7	2.6	227.1	187.5
	自由業・フリーランス等	1,493	3.8	11.8	25.9	20.6	13.2	8.2	4.7	3.8	8.1	311.1	230.0
その他	74	2.7	13.5	27.0	12.2	14.9	4.1	9.5	5.4	10.8	347.4	238.0	
副業理由・最もあてはまるもの	1つの仕事だけでは生活自体が営めないから	1,629	0.9	7.2	32.0	30.4	15.3	6.5	3.1	1.7	2.9	265.6	220.0
	収入を増やしたいから	3,364	2.7	10.7	22.4	23.1	16.3	8.8	5.6	3.2	7.1	316.4	253.0
	ローンなど借金や負債を抱えているため	371	0.3	4.9	20.5	25.9	23.7	10.0	6.5	3.5	4.9	328.0	290.0
	転職したいから	56	3.6	7.1	23.2	25.0	17.9	8.9	5.4	3.6	5.4	296.2	258.0
	独立したいから	244	0.4	2.5	11.1	24.2	17.6	18.4	9.8	4.1	11.9	423.5	367.5
	自分が活躍できる場を広げたいから	1,015	1.8	8.9	20.1	17.4	15.7	10.3	6.6	4.7	14.5	401.6	301.0
	様々な分野の人とつながりができるから	454	2.6	9.0	21.8	19.4	12.1	6.2	6.6	4.8	17.4	418.9	282.0
	現在の仕事で培った能力を活用するため	452	0.7	6.2	10.6	16.6	16.4	12.6	8.8	6.6	21.5	507.9	390.5
	時間のゆとりがあるから	672	4.8	17.3	24.7	18.8	11.3	8.3	5.2	2.4	7.3	289.6	209.0
	副業のほうが本当に好きな仕事だから	791	1.4	7.3	23.4	23.1	16.1	8.8	6.7	4.3	8.8	341.5	265.0
	本業の仕事の性格上、別の仕事をもつことが自然だから	379	0.8	3.4	12.7	14.2	12.4	10.3	12.9	8.7	24.5	548.8	460.0
	仕事を頼まれ、断りきれなかったから	939	2.8	12.0	23.4	18.8	12.5	8.9	5.9	5.0	10.6	361.6	250.0
その他	437	1.4	14.6	16.5	17.4	17.2	11.0	5.3	3.9	12.8	389.5	300.0	

## 第5節 副業で使用する機器と出勤形態

### 1. 副業で使用する主な機器

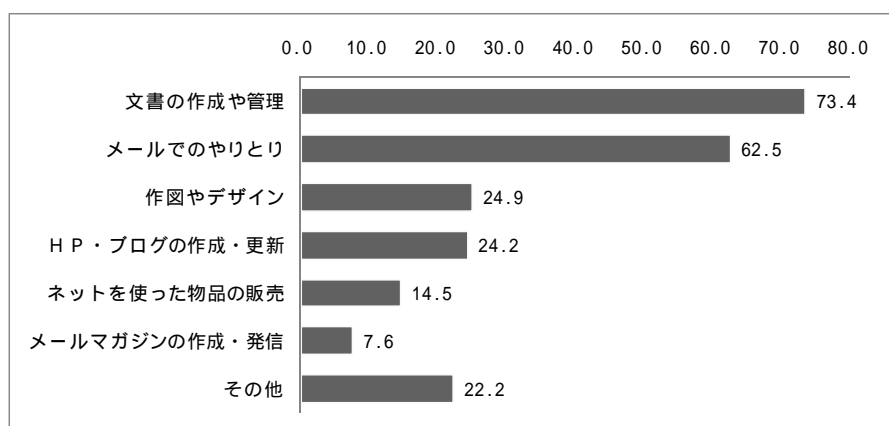
主たる副業で使用する主な機器・設備の種類をみると（複数回答）、「パソコン」は55.6%と半数以上の人があげ、「乗用自動車」が18.2%などとなっている。「いずれも使用していない」という人は28.7%となっている（図表2-5-1）。

図表2-5-1：主たる副業で使用する主な機器・設備（複数回答 n=10,803 単位：%）



「パソコン」を使用していると答えた人に対し、その使い方を尋ねると（複数回答）、「文書の作成や管理」が73.4%でもっとも多く、次いで「メールでのやりとり」（62.5%）、「作図やデザイン」（24.9%）、「HP・ブログの作成・更新」（24.2%）などの順であった（図表2-5-2）。

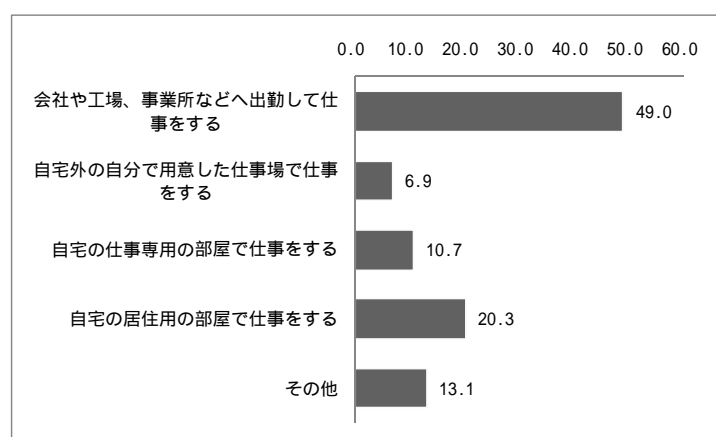
図表2-5-2：主たる副業でのパソコンの使い方（複数回答 n=6,006 単位：%）



## 2. 副業での出勤形態

主たる副業での出勤形態をみると、「会社や工場、事業所などへ出勤して仕事をする」が49.0%でもっとも多く、次いで「自宅の居住用の部屋で仕事をする」(20.3%)、「自宅の仕事専用の部屋で仕事をする」(10.7%)、「自宅外の自分で用意した仕事場で仕事をする」(6.9%)の順となっている。自宅で副業をしている人は3割(31.0%)という結果となっている(図表2-5-3)。

図表 2-5-3：主たる副業での出勤形態 (n=10,803 単位：%)



主たる副業の就業形態別にみると、「正社員」でも自宅で副業している人が2割以上に及んでいる。「パート・アルバイト」は「会社や工場、事業所などへ出勤して仕事をする」が80.0%となっている。「自営業主」、「自由業・フリーランス等」は5割以上が自宅を副業場所としており、「自由業・フリーランス等」は42.2%と4割以上の方が「自宅の居住用の部屋で仕事をする」と回答している(図表2-5-4)。

図表 2-5-4：主たる副業での出勤形態 (主たる副業の就業形態別 単位：%)

		全体 (n)	会社や工場、事業所などへ出勤して仕事をする	自宅外の自分で用意した仕事場で仕事をする	自宅の仕事専用の部屋で仕事をする	自宅の居住用の部屋で仕事をする	その他
全体		10,803	49.0	6.9	10.7	20.3	13.1
主たる副業の就業形態	正社員	216	50.5	13.4	13.9	13.9	8.3
	契約・嘱託社員	785	66.9	5.9	4.1	9.6	13.6
	パート・アルバイト	3,812	80.0	3.5	2.2	4.1	10.1
	常用雇用の派遣社員	122	82.0	4.9	3.3	4.1	5.7
	登録型の派遣社員	496	82.5	2.8	1.6	2.4	10.7
	期間工・季節工・日雇	94	77.7	4.3	1.1	7.4	9.6
	会社などの役員	306	42.5	13.7	16.0	14.1	13.7
	自営業主	1,052	12.1	18.2	25.6	30.7	13.5
	家族従業員・家業の手伝い	524	24.2	10.9	18.5	29.4	17.0
	自由業・フリーランス等	3,194	17.5	6.5	18.1	42.2	15.7
その他	202	43.1	5.9	4.5	17.3	29.2	

## 第6節 本業の勤め先での副業の禁止・通知の状況

### 1. 本業勤め先での兼業禁止の状況

本業の就業形態が雇用者の人に対し、本業の勤め先で副業が禁止されているかを尋ねたところ、副業者の12.1%は「禁止されている」と回答し、65.2%が「禁止されていない」、22.8%が「わからない」と答えた。なお、本業のみの人にも同じことを尋ねており、本業のみの人では「禁止されている」が43.1%、「禁止されていない」が32.4%、「わからない」が24.5%となっている。本業のみを人の正社員だけでみると、「禁止されている」は53.2%となっている<sup>18</sup>（図表2-6-1）。

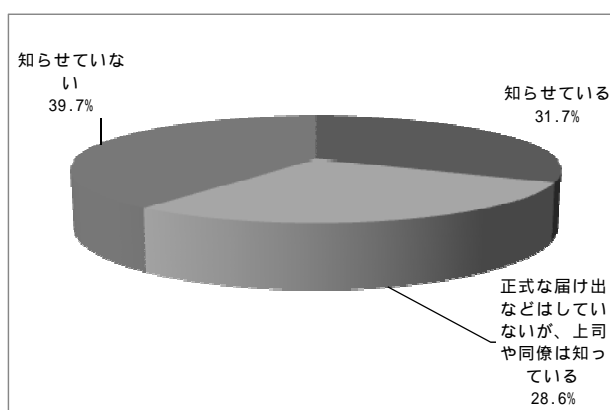
図表2-6-1：本業の勤め先で副業が禁止されているか（本業が雇用者 単位：％）

	禁止されている	禁止されていない	わからない
本業のみの人（n=1,659）	43.1	32.4	24.5
正社員（n=1,244）	53.2	23.9	22.9
副業者（n=6,819）	12.1	65.2	22.8

### 2. 副業していることの本業勤め先への通知

副業していることを本業の勤め先に知らせているかどうかについてみると、「知らせている」が31.7%で、「正式な届け出などはしていないが、上司や同僚は知っている」が28.6%、「知らせていない」が39.7%となっている（図表2-6-2）。

図表2-6-2：副業していることの本業勤め先への通知（本業が雇用者 n=6,819）



<sup>18</sup> 副業者の「禁止されている」との回答割合が12.1%にとどまった理由として、勤め先で副業が禁止されていないから副業をしているという人が回答者に多く含まれていることが考えられる。なお、JILPTが2004年に実施した「従業員の副業と就業規則に関する実態調査」（30人以上の民間企業が対象）では、正社員の副業を「禁止している」企業は50.4%となっていた。

本業の勤め先への状況について、本業の就業形態と副業禁止の状況の二重クロスでみていくと、「正社員」で「禁止されている」とした人は、68.3%が「知らせていない」としている。また、「禁止されていない」人でも 48.9%とほぼ半数が「知らせている」と回答した。「パート・アルバイト」では、「禁止されていない」人でも 43.1%が「知らせている」と回答した（図表 2-6-3）。

図表 2-6-3：副業していることの本業勤め先への通知（本業が雇用者 クロス集計表 単位：％）

			知らせている	やし正 同て式 僚いな はな届 知いけ つが出 てい上 どの司 は	知らせていない
			全体 (n)		
全体			6,819	31.7	39.7
本業の就業形態	正社員	全体	2,938	30.5	44.3
		禁止されている	659	11.2	68.3
		禁止されていない	1,545	48.9	22.7
		わからない	734	9.0	68.1
	契約・嘱託社員	全体	893	29.6	38.4
		禁止されている	71	8.5	66.2
		禁止されていない	638	37.9	29.3
		わからない	184	8.7	59.2
	パート・アルバイト	全体	2,361	36.9	31.7
		禁止されている	65	15.4	60.0
		禁止されていない	1,836	43.1	25.3
		わからない	460	15.0	53.0
	常用雇用型の派遣社員	全体	295	15.6	50.5
		禁止されている	18	16.7	66.7
		禁止されていない	185	20.0	40.0
		わからない	92	6.5	68.5
	登録型の派遣社員	全体	321	24.6	50.8
		禁止されている	9	11.1	66.7
		禁止されていない	231	29.9	42.9
		わからない	81	11.1	71.6
	期間工・季節工・日雇	全体	11	45.5	18.2
		禁止されている	0	0.0	0.0
		禁止されていない	10	50.0	20.0
		わからない	1	0.0	0.0

## 第7節 本業の就業形態と副業の就業形態の組み合わせ別の結果概要

### 1. 本業の就業形態と副業の就業形態の組み合わせ

#### (1) 主たる副業での組み合わせ

本業の就業形態と主たる副業の就業形態の組み合わせについてみていくと、本業が「正社員」の人では、副業は「パート・アルバイト」が 33.0%でもっとも多く、同じ 3 割台で「自由業・フリーランス等」(30.7%)が続いている。本業が「パート・アルバイト」の人では、副業も同じ「パート・アルバイト」をしている人が 61.0%と 6 割を占めている。本業が「自由業・フリーランス等」の人も、副業が同じ「自由業・フリーランス等」という人の割合が高い(56.6%)(図表 2-7-1)。

図表 2-7-1：本業の就業形態別にみた主たる副業の就業形態(単位：%)

	全体 (n)	主たる副業の就業形態											
		正社員	契約・嘱託社員	パート・アルバイト	常用雇用の派遣社員	登録型の派遣社員	期間工・日雇・季節	会社などの役員	自営業主	家族従業員・家業の手伝い	フリーランス等	自由業・その他	
全体	10,803	2.0	7.3	35.3	1.1	4.6	0.9	2.8	9.7	4.9	29.6	1.9	
本業の就業形態	正社員	2,941	4.0	7.8	33.0	0.5	2.8	0.7	3.0	10.6	4.9	30.7	1.9
	契約・嘱託社員	894	0.6	19.1	35.0	1.9	5.9	0.7	1.0	6.0	3.0	25.8	0.9
	パート・アルバイト	2,362	0.4	2.9	61.0	0.6	4.9	1.1	0.3	2.2	5.7	19.2	1.5
	常用雇用の派遣社員	295	1.0	4.7	34.9	9.8	12.5	0.0	0.0	5.4	5.4	25.4	0.7
	登録型の派遣社員	321	0.3	2.2	30.8	2.5	27.7	0.3	0.3	5.0	6.2	23.4	1.2
	期間工・季節工・日雇	11	0.0	0.0	27.3	0.0	0.0	18.2	0.0	18.2	9.1	27.3	0.0
	会社などの役員	360	4.2	7.2	7.5	1.1	1.7	0.6	33.1	16.4	2.2	22.5	3.6
	自営業主	1,706	2.4	9.2	24.3	0.8	2.2	1.1	3.4	27.2	3.5	24.4	1.6
	家族従業員・家業の手伝い	346	0.6	4.9	35.0	0.6	4.0	1.4	1.4	8.1	13.9	27.2	2.9
	自由業・フリーランス等	1,493	1.3	5.8	20.6	1.2	4.0	0.7	1.1	3.1	4.2	56.6	1.3
その他	74	1.4	9.5	17.6	1.4	2.7	0.0	2.7	2.7	2.7	23.0	36.5	

注) 本業と副業で同じ就業形態の箇所に網掛け

本業の就業形態と主たる副業の就業形態の組み合わせタイプ別にそれぞれの割合をみると、P.7でも示したように、本業が雇用者である組み合わせは 63.1%、本業が非雇用者である組み合わせは 36.8%である。このうち雇用者を正社員、非正社員の別でみると、「本業・非正社員<sup>19</sup> + 副業・非正社員」が 24.3%でもっとも割合が高く、次いで「本業・非雇用者<sup>20</sup> + 副業・非雇用者」(23.4%)、「本業・正社員 + 副業・非雇用者」(13.9%)、「本業・非雇用者 + 副業・非正社員」(12.7%)などの順となっている。副業が正社員のタイプは、いずれも低い割合となっている(図表 2-7-2)。

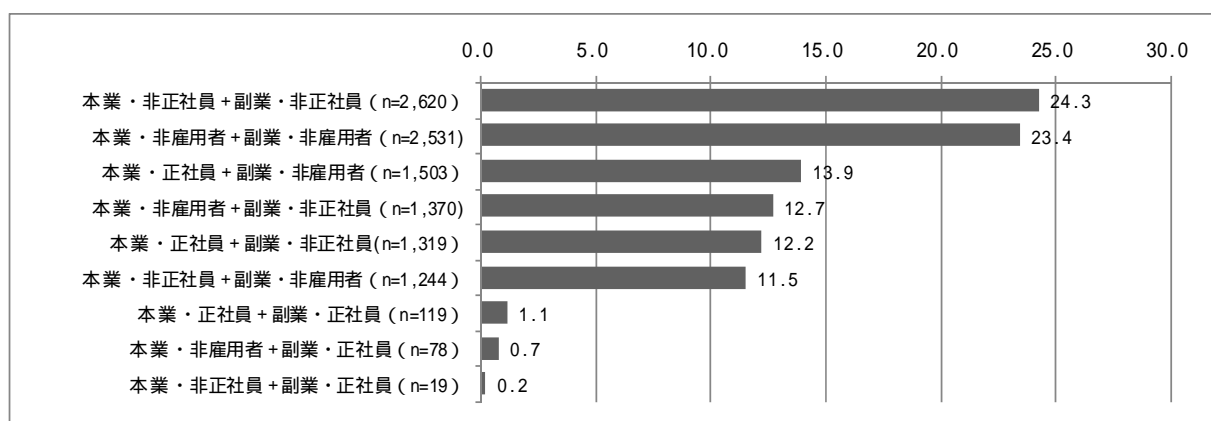
<sup>19</sup> 非正社員は「契約・嘱託社員」、「パート・アルバイト」、「常用雇用の派遣社員」、「登録型の派遣社員」および「期間工・季節工・日雇」をさす。

<sup>20</sup> 非雇用者は「会社などの役員」、「自営業主」、「家族従業員・家業の手伝い」、「自由業・フリーランス等」および「その他」をさす。

そこで、副業1つの人について就業形態の組み合わせタイプをみると、「本業・非正社員 + 副業・非正社員」が24.5%でもっとも割合が高く、次いで「本業・非雇用者 + 副業・非雇用者」（21.0%）、「本業・正社員 + 副業・非雇用者」（15.0%）、「本業・正社員 + 副業・非正社員」（12.7%）、「本業・正社員 + 副業・非雇用者」（12.7%）などの順となっている（図表2-7-3）。

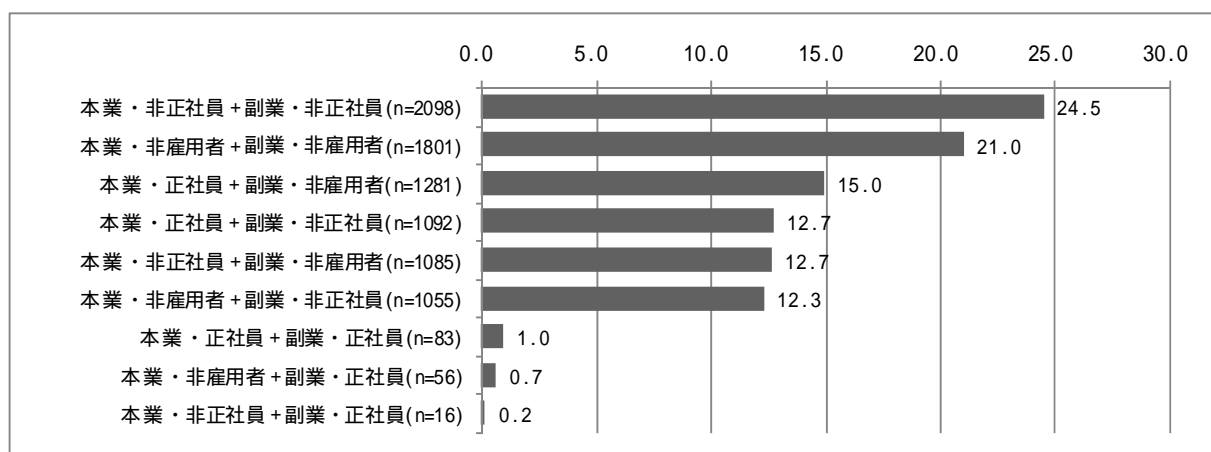
次に、副業2つ以上の人<sup>21</sup>について就業形態の組み合わせタイプをみると、「本業・非雇用者 + 副業A・非雇用者 + 副業B・非雇用者」が27.7%でもっとも割合が高く、次いで「本業・非正社員 + 副業A・非正社員 + 副業B・非正社員」（18.2%）、「本業・正社員 + 副業A・非雇用者 + 副業B・非雇用者」（8.1%）、「本業・非雇用者 + 副業A・非正社員 + 副業B・非正社員」（8.1%）などとなっている（図表2-7-4）。

図表2-7-2：本業と主たる副業の就業形態の組み合わせ別の割合（単位：%、副業者、n=10803）



注) ここでの ( ) 内の n 数は各組み合わせの実数を指す。

図表2-7-3：副業1つの人の本業と副業の就業形態の組み合わせ別の割合（単位：%、n=8567）

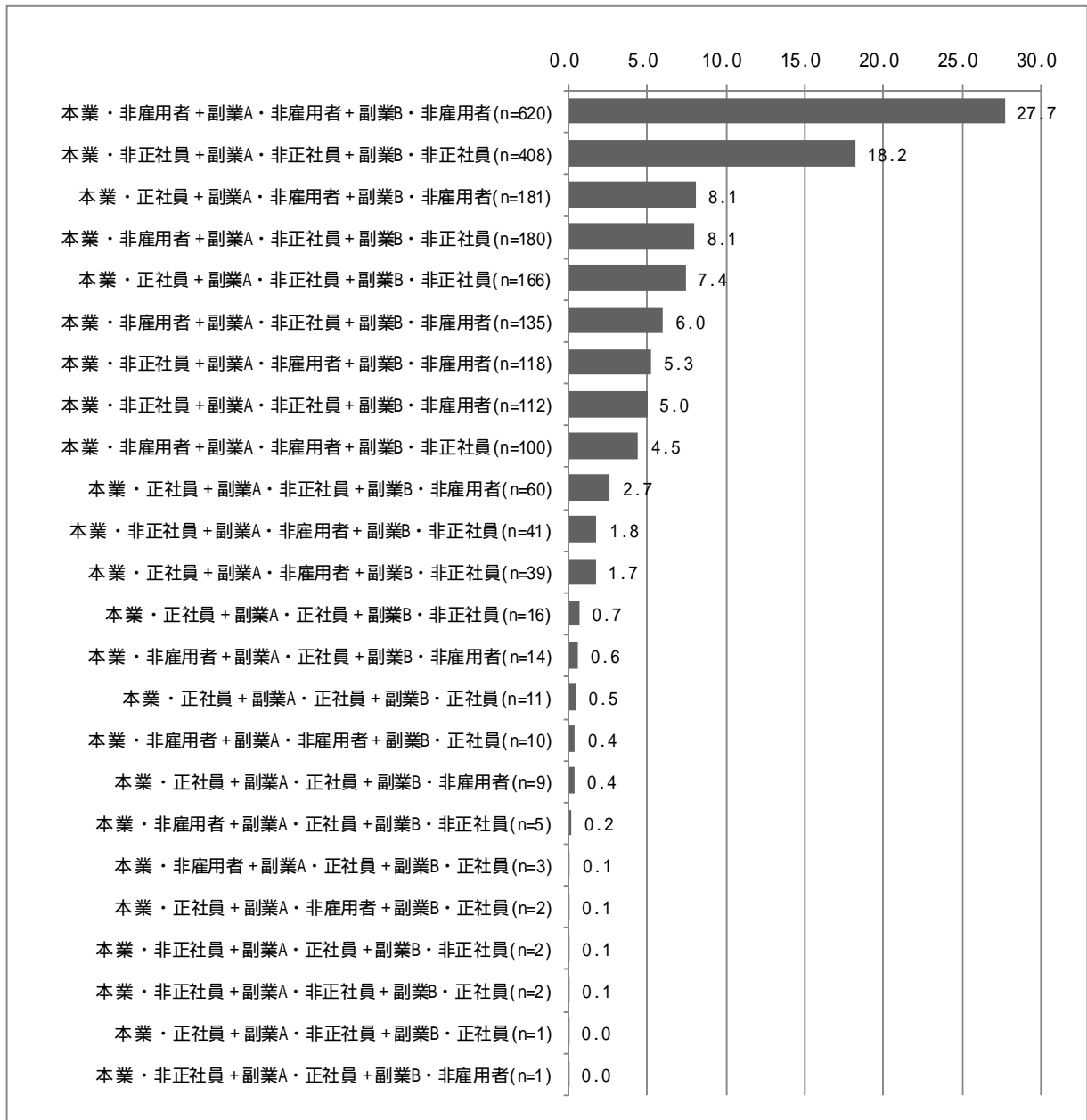


注) ここでの ( ) 内の n 数は各組み合わせの実数を指す。

<sup>21</sup> 副業2つ以上の人の場合、副業Aとは副業1つ目（最も収入の多い副業）の就業形態のこと、副業Bとは副業2つ目（2番目に収入の多い副業）の就業形態のこと。



図表 2-7-4：副業 2 つ以上の人の本業と副業の就業形態の組み合わせ別の割合（単位：％、n=2236）



注) ここでの ( ) 内の n 数は各組み合わせの実数を指す。

## (2) 副業 1 つの人・副業 2 つ以上の人それぞれにおける就業形態の組み合わせ

本業の就業形態と副業の就業形態の組み合わせについて、副業 1 つの人と副業 2 つ以上の人それぞれについて結果をみると、副業 1 つの人では「本業・パート・アルバイト + 副業・パート・アルバイト」(13.7%) がもっとも多く、以下「本業・正社員 + 副業・パート・アルバイト」(9.4%)、「本業・正社員 + 副業・自由業・フリーランス等」(8.7%)、「本業・自由業・フリーランス等 + 副業・自由業・フリーランス等」(6.2%) などと続く。仕事のかけもちは「パート・アルバイト」という就業形態がもっともやりやす

いことが窺える。一方、副業 2 つ以上の人をみると、本業も副業もすべて「自由業・フリーランス等」という人が 11.4%でもっとも多く、本業も副業もすべて「パート・アルバイト」という人が次いで多い(8.8%) (図表 2-7-5)。

なお、図表 2-7-3、図表 2-7-4 で示したように、本業も副業もすべて雇用者である人<sup>22</sup> (3,895 人)のうち、副業が 2 つ以上の人(606 人)の割合は 15.6%であり、この内訳として、図表 2-7-5 で示されるように本業も副業もすべて「パート・アルバイト」という人は 32.5% (197 人 / 606 人)、「本業・正社員 + 副業・パート・アルバイト + 副業・パート・アルバイト」という人は 18.3% (111 人 / 606 人)となっている。

図表 2-7-5 : 本業と副業の就業形態の組み合わせ

(副業 1 つの人・副業 2 つ以上の人、上位 10 位までを表示 単位 : %)

	(実数)	(割合)
<b>【副業 1 つ】</b>		
全体	8,567	100.0
パート・アルバイト/パート・アルバイト	1,174	13.7
正社員/パート・アルバイト	805	9.4
正社員/自由業・フリーランス等	745	8.7
自由業・フリーランス等/自由業・フリーランス等	530	6.2
パート・アルバイト/自由業・フリーランス等	402	4.7
自営業主/パート・アルバイト	340	4.0
自営業主/自営業主	337	3.9
自営業主/自由業・フリーランス等	313	3.7
正社員/自営業主	285	3.3
契約・嘱託社員/パート・アルバイト	263	3.1
その他	3,373	39.4
<b>【副業 2 つ以上】</b>		
全体	2,236	100.0
自由業・フリーランス等/自由業・フリーランス等/自由業・フリーランス等	255	11.4
パート・アルバイト/パート・アルバイト/パート・アルバイト	197	8.8
正社員/自由業・フリーランス等/自由業・フリーランス等	112	5.0
正社員/パート・アルバイト/パート・アルバイト	111	5.0
自営業主/自営業主/自営業主	80	3.6
自営業主/自由業・フリーランス等/自由業・フリーランス等	66	3.0
自由業・フリーランス等/パート・アルバイト/パート・アルバイト	39	1.7
自営業主/パート・アルバイト/パート・アルバイト	37	1.7
会社などの役員/会社などの役員/会社などの役員	35	1.6
パート・アルバイト/自由業・フリーランス等/自由業・フリーランス等	34	1.5
その他	1,270	56.8

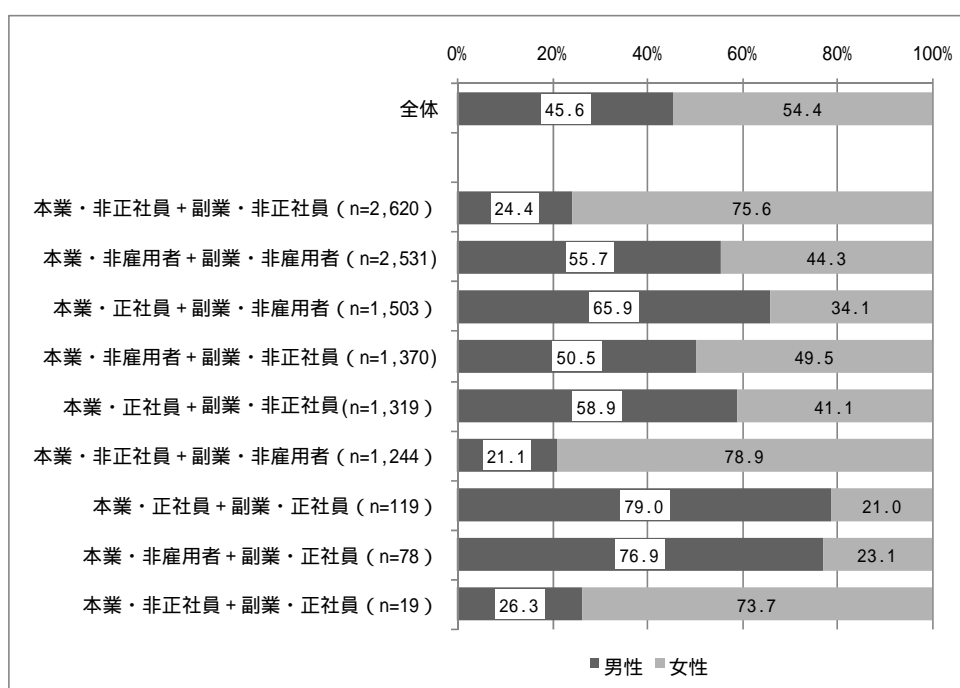
<sup>22</sup> 図表 2-7-3 で示したように、副業 1 つの人の場合、本業も副業もすべて雇用者である人は 3,289 人である (「本業・正社員+副業・正社員」(83 人)、「本業・正社員+副業・非正社員」(1,092 人)、「本業・非正社員+副業・正社員」(16 人)、「本業・非正社員+副業・非正社員」(2,098 人)の合計)。図表 2-7-4 で示したように、副業 2 つ以上の人の場合、本業も副業もすべて雇用者である人は 606 人である (「本業・正社員+副業 A・正社員+副業 B・正社員」(11 人)、「本業・正社員+副業 A・正社員+副業 B・非正社員」(16 人)、「本業・正社員+副業 A・非正社員+副業 B・正社員」(1 人)、「本業・正社員+副業 A・非正社員+副業 B・非正社員」(166 人)、「本業・非正社員+副業 A・正社員+副業 B・非正社員」(2 人)、「本業・非正社員+副業 A・非正社員+副業 B・正社員」(2 人)、「本業・非正社員+副業 A・非正社員+副業 B・非正社員」(408 人))。両者を合わせると、3,895 人となる。

## 2. 各タイプの属性

### (1) 性別

本業と主たる副業の就業形態の組み合わせタイプ別（以下「タイプ別」という）に男女の割合をみていくと、組み合わせとしてもっとも多かった「本業・非正社員＋副業・非正社員」では、女性が75.6%と7割以上を占めている。一方、2番目に多かった「本業・非雇用者＋副業・非雇用者」は男性が55.7%と半数以上で、3番目に多かった「本業・正社員＋副業・非雇用者」も男性が65.9%と多い（図表2-7-6）。

図表2-7-6：本業と主たる副業の就業形態の組み合わせ 性別（単位：％）

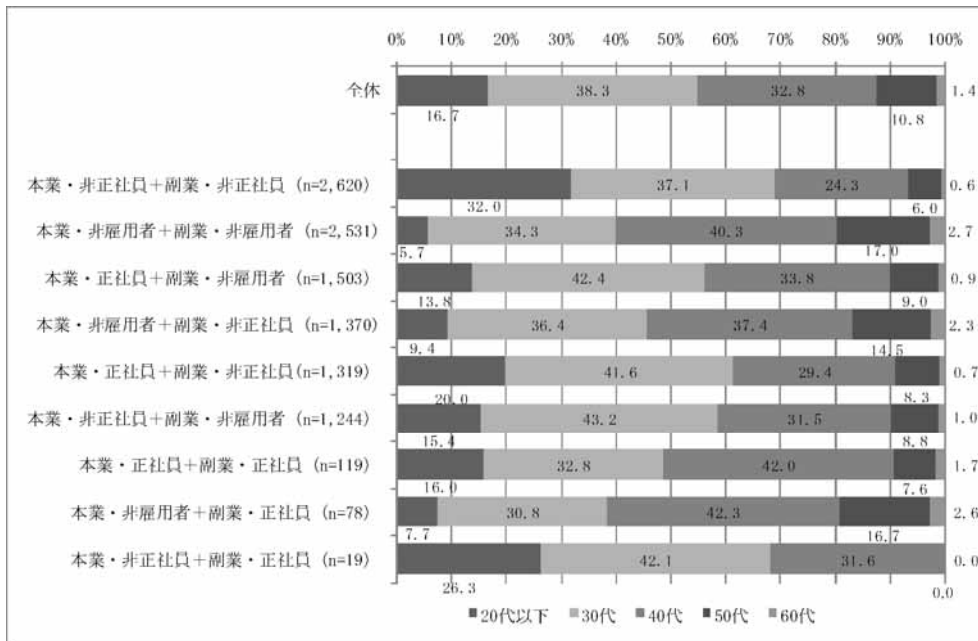


注) 図表2-7-2のとおり、割合の高い組み合わせ順に上から並べて結果を表示している。以降の図表も同様の順に並べている。

### (2) 年齢

各年代の割合をみていくと、「本業・非正社員＋副業・非正社員」では「20代以下」が32.0%、「30代」が37.1%と30代以下が全体のほぼ7割を占める。一方、本業が非雇用者のタイプは、具体的な就業形態が自営業主や会社役員などであるためか、「20代以下」の割合がとりわけ低く、40代以上の割合が5割以上となっている（図表2-7-7）。

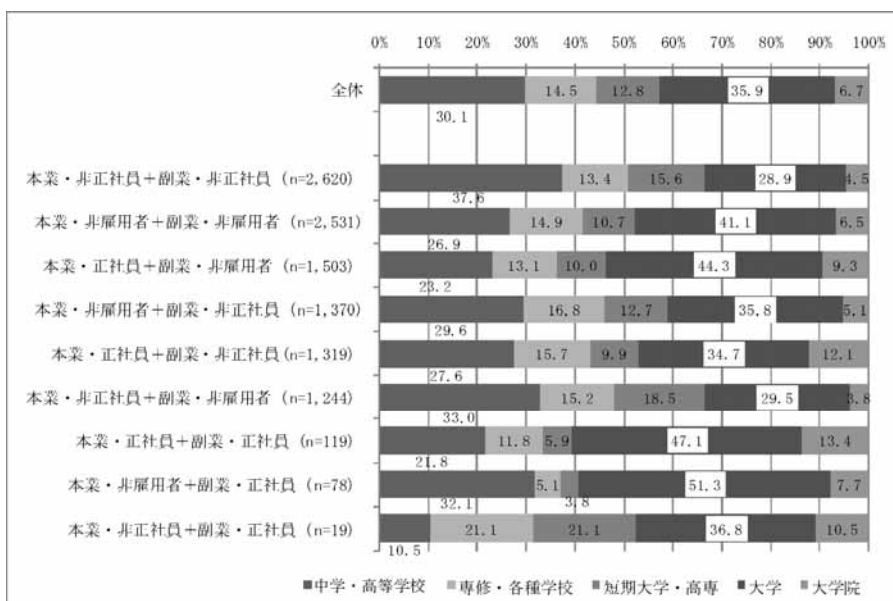
図表 2-7-7：本業と主たる副業の就業形態の組み合わせ 年代（単位：％）



### (3) 最終学歴

最終学歴をみると、「本業・非正社員 + 副業・非正社員」は「中学・高等学校」が37.6%を占め、すべてのタイプのなかで「中学・高等学校」の割合がもっとも高く、「四年制大学」と「大学院」をあわせた割合がもっとも低い。本業が正社員のタイプは比較的、大卒以上の比率が高いが、そのなかでもっとも「四年制大学」の割合が低いのは「本業・正社員 + 副業・非正社員」のタイプである（図表 2-7-8）。

図表 2-7-8：本業と主たる副業の就業形態の組み合わせ 最終学歴（単位：％）



(4) 結婚

結婚の状況をみると、「本業・非正社員＋副業・非正社員」のタイプの男性は約7割が「未婚」(69.0%)であり、「既婚(配偶者あり)」は25.5%にとどまる。「本業・非正社員＋副業・非雇用者」でも男性は半数以上が「未婚」となっている。一方、「本業・正社員＋副業・非雇用者」や「本業・正社員＋副業・非正社員」など、本業が正社員の男性では、いずれも「既婚(配偶者あり)」が6割以上であった(図表2-7-9)。

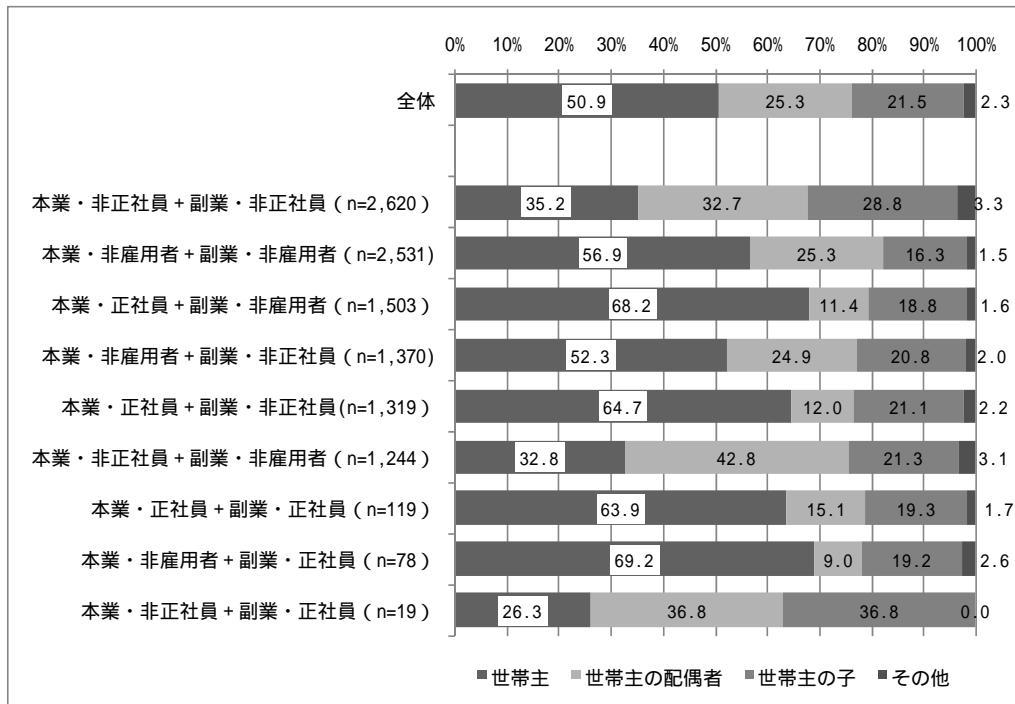
図表2-7-9：本業と主たる副業の就業形態の組み合わせ 既婚・未婚(単位：%)

		全体(n)	既婚	既死婚(離婚)	未婚
全体	男性	4,929	56.8	6.5	36.7
	女性	5,874	50.4	11.3	38.3
本業・非正社員＋副業・非正社員	男性	638	25.5	5.5	69.0
	女性	1,982	46.1	9.5	44.4
本業・非雇用者＋副業・非雇用者	男性	1,409	63.6	7.6	28.8
	女性	1,122	61.6	11.2	27.2
本業・正社員＋副業・非雇用者	男性	991	65.8	4.8	29.4
	女性	512	39.8	16.0	44.1
本業・非雇用者＋副業・非正社員	男性	692	58.5	7.7	33.8
	女性	678	54.6	10.2	35.3
本業・正社員＋副業・非正社員	男性	777	62.4	4.9	32.7
	女性	542	32.7	15.7	51.7
本業・正社員＋副業・正社員	男性	94	62.8	8.5	28.7
	女性	25	56.0	0.0	44.0
本業・非雇用者＋副業・正社員	男性	60	61.7	11.7	26.7
	女性	18	38.9	5.6	55.6
本業・非正社員＋副業・非雇用者	男性	263	38.4	9.1	52.5
	女性	981	58.8	11.2	30.0
本業・非正社員＋副業・正社員	男性	5	40.0	20.0	40.0
	女性	14	64.3	0.0	35.7

(5) 世帯上の地位

世帯上の地位をみていくと、「本業・非正社員＋副業・非正社員」では、「世帯主」の割合は35.2%にとどまり、6割以上が「世帯主の配偶者」もしくは「世帯主の子」という地位となっている。「本業・非正社員＋副業・非雇用者」では、「世帯主の配偶者」もしくは「世帯主の子」という割合が全体の7割近くにまで及んでいる(図表2-7-10)。

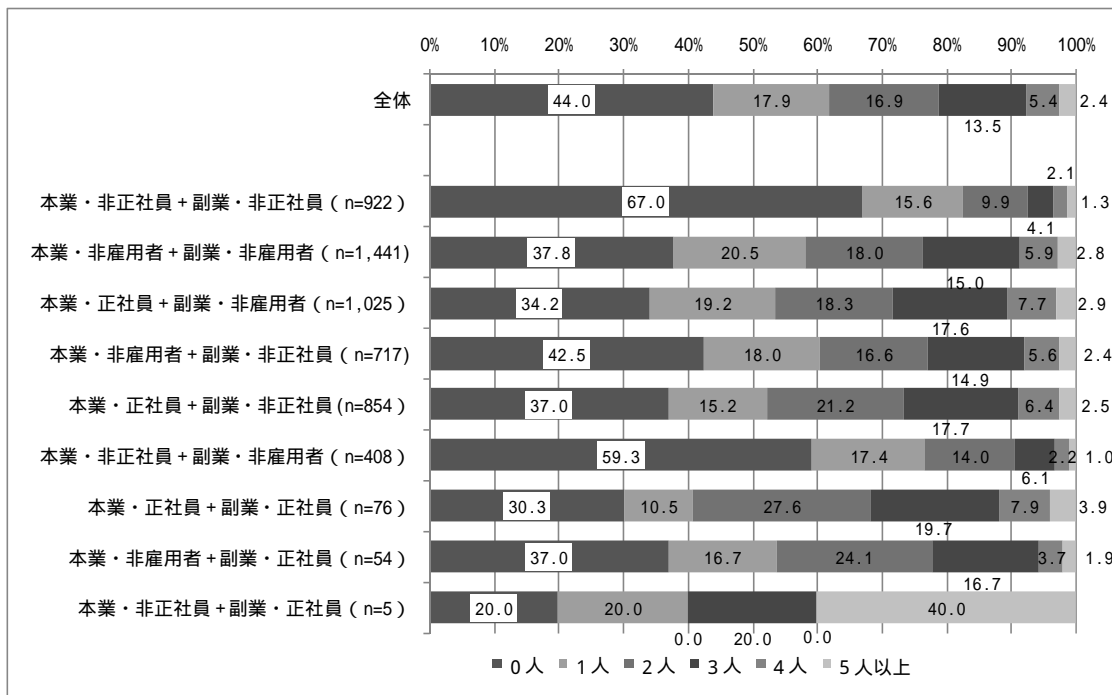
図表 2-7-10：本業と主たる副業の就業形態の組み合わせ 世帯上の地位（単位：％）



(6) 扶養人数

世帯主に扶養人数を尋ねた結果をみると、「本業・非正社員 + 副業・非正社員」では 67.0%が「0人」であり、このタイプの副業者は、その多くが扶養義務を負っていないが、本業が正社員である者でみると、概ね 6 割ないし 7 割近くの者が扶養義務を負っていることがわかる（図表 2-7-11）。

図表 2-7-11：本業と主たる副業の就業形態の組み合わせ 扶養人数（世帯主のみ 単位：％）



### 3. 本業・主たる副業の状況

#### (1) 業種

##### 本業

本業の業種をみると、「本業・非正社員＋副業・非正社員」の人は「その他のサービス業」が20.2%でもっとも多く、次いで「卸売・小売業」（15.1%）、「医療・保健衛生・福祉」（13.4%）、「製造業」（12.6%）などの順となっている。また、「本業・正社員＋副業・非正社員」の人は「教育・学習支援業」が16.6%でもっとも多く、次いで「その他のサービス業」（14.5%）、「卸売・小売業」（13.5%）、「医療・保健衛生・福祉」（11.2%）などの順となっている。一方、「本業・非雇用者＋副業・非雇用者」では、「医療・保健衛生・福祉」（17.7%）がもっとも多かった。（図表2-7-12）。

図表2-7-12：本業と主たる副業の就業形態の組み合わせ 本業の業種（単位：％）

	全体 (n)	本業業種														
		農林漁業・鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報・通信業	運輸業	卸売・小売業	金融・保険業	不動産業	飲食店・宿泊業	医療・保健衛生・福祉	教育・学習支援業	複合サービス事業	その他のサービス業	その他
全体	10,803	1.2	5.5	8.4	1.1	6.2	2.5	13.2	3.2	2.7	5.1	9.0	11.2	1.8	22.0	6.8
本業・非正社員＋副業・非正社員	2,620	1.7	7.6	12.6	0.8	7.6	1.7	15.1	4.2	5.9	2.5	13.4	6.7	0.0	20.2	0.0
本業・非雇用者＋副業・非雇用者	2,531	0.3	9.7	15.2	0.9	6.6	3.9	11.5	3.5	3.8	2.8	17.7	7.2	1.2	13.0	2.6
本業・正社員＋副業・非雇用者	1,503	0.5	8.8	17.0	2.0	9.1	2.3	10.8	4.5	3.9	1.8	8.8	6.6	1.5	18.8	3.6
本業・非雇用者＋副業・非正社員	1,370	0.0	0.0	5.3	5.3	31.6	0.0	5.3	0.0	0.0	10.5	5.3	15.8	0.0	10.5	10.5
本業・正社員＋副業・非正社員	1,319	0.7	2.3	6.7	1.1	6.1	3.5	13.5	3.5	1.0	9.4	11.2	16.6	2.7	14.5	7.2
本業・非正社員＋副業・非雇用者	1,244	0.6	3.2	8.4	1.1	7.7	2.7	16.0	4.3	1.2	6.5	9.9	12.0	3.0	16.7	6.7
本業・正社員＋副業・正社員	119	1.3	9.0	3.8	1.3	6.4	1.3	10.3	1.3	7.7	1.3	7.7	5.1	1.3	33.3	9.0
本業・非雇用者＋副業・正社員	78	2.9	5.4	3.9	0.5	3.9	1.8	15.3	2.2	2.6	4.1	4.0	9.7	1.3	30.9	11.4
本業・非正社員＋副業・正社員	19	2.1	5.6	3.7	0.9	4.6	1.4	12.6	2.1	3.8	3.9	4.1	11.3	1.1	34.2	8.4

##### 主たる副業

主たる副業の業種をみると、「本業・非正社員＋副業・非正社員」では本業の業種と同じく「その他のサービス業」（19.5%）がもっとも多く、次いで「飲食店・宿泊業」（16.1%）、「教育・学習支援業」（15.0%）、「卸売・小売業」（11.8%）などの順となっている。また、「本業・正社員＋副業・非正社員」では、「飲食店・宿泊業」が19.8%でもっとも多く、次いで「その他のサービス業」（17.1%）、「医療・保健衛生・福祉」（15.0%）などの順となっている。「本業・非雇用者＋副業・非雇用者」では「その他のサービス業」が38.9%と4割に近い割合となっており、「本業・正社員＋副業・非雇用者」も「その他のサービス業」が34.7%と30%台に達している。以上の結果から、「その他のサービス業」が複数就業の副業として組み合わせやすい業種であることが窺える（図表2-7-13）。

図表 2-7-13：本業と主たる副業の就業形態の組み合わせ 主たる副業の業種（単位：％）

	全体 (n)	主たる副業の業種														
		農林漁業・鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報・通信業	運輸業	卸売・小売業	金融・保険業	不動産業	飲食店・宿泊業	医療・福祉	教育・学習支援	複合サービス事業	その他のサービス業	その他
全体	10,803	2.3	2.8	4.4	0.7	5.4	3.5	11.7	2.0	1.7	9.2	6.4	11.7	1.8	27.6	8.8
本業・非正社員＋副業・非正社員	2,620	0.5	1.4	3.6	0.9	4.2	4.8	11.8	1.7	0.7	16.1	8.7	15.0	2.8	19.5	8.2
本業・非雇用者＋副業・非雇用者	2,531	2.5	3.1	3.6	0.7	5.4	1.2	12.9	2.1	2.4	3.2	3.1	10.0	1.2	38.9	9.8
本業・正社員＋副業・非雇用者	1,503	7.3	3.0	4.5	0.3	7.0	0.8	12.0	3.5	3.3	2.7	3.5	7.8	0.7	34.7	8.9
本業・非雇用者＋副業・非正社員	1,370	1.5	3.2	5.9	1.0	5.3	7.5	11.8	2.2	0.9	9.8	6.0	13.4	2.7	21.8	7.0
本業・正社員＋副業・非正社員	1,319	0.5	3.0	4.2	0.4	4.7	6.1	8.8	1.5	1.0	19.8	15.0	10.0	2.1	17.1	5.8
本業・非正社員＋副業・非雇用者	1,244	2.4	3.5	5.3	1.0	6.5	1.2	11.7	0.9	1.8	3.5	3.0	13.3	1.0	31.0	13.9
本業・正社員＋副業・正社員	119	1.7	5.9	7.6	1.7	6.7	3.4	10.9	3.4	5.0	6.7	12.6	4.2	1.7	26.9	1.7
本業・非雇用者＋副業・正社員	78	0.0	10.3	10.3	1.3	9.0	2.6	9.0	3.8	6.4	2.6	6.4	9.0	1.3	24.4	3.8
本業・非正社員＋副業・正社員	19	0.0	21.1	0.0	0.0	15.8	0.0	10.5	0.0	5.3	0.0	0.0	5.3	5.3	21.1	15.8

## (2) 仕事内容

### 本業

本業の仕事内容をみると、「本業・非正社員＋副業・非正社員」では「事務的職業」が30.8%でもっとも多く、次いで「専門・技術的職業」(23.5%)、「サービスの職業」(18.9%)、「販売的職業」(11.9%)などの順となっている。また、「本業・正社員＋副業・非正社員」では「専門・技術的職業」が33.4%でもっとも多く、これに次いで「事務的職業」(30.7%)となっている。「本業・非雇用者＋副業・非雇用者」は「専門・技術的職業」(41.3%)が4割を占めている(図表 2-7-14)。

図表 2-7-14：本業と主たる副業の就業形態の組み合わせ 本業の仕事内容（単位：％）

	全体 (n)	本業仕事内容									
		専門・技術的職業	管理的職業	事務的職業	販売的職業	生産工程・労務に関わる職業	運輸・通信的職業	保安的職業	農・林・漁業に関する職業	サービスの職業	その他
全体	10,803	33.0	9.7	21.7	11.5	4.6	1.9	0.2	0.9	11.5	5.1
本業・非正社員＋副業・非正社員	2,620	23.5	0.8	30.8	11.9	5.3	2.9	0.3	0.3	18.9	5.3
本業・非雇用者＋副業・非雇用者	2,531	41.3	16.0	8.3	11.2	2.8	1.1	0.1	1.6	10.2	7.4
本業・正社員＋副業・非雇用者	1,503	35.6	18.8	23.2	10.2	4.9	1.3	0.3	0.3	3.6	1.9
本業・非雇用者＋副業・非正社員	1,370	40.1	8.5	9.3	13.7	3.1	1.5	0.1	2.9	12.5	8.2
本業・正社員＋副業・非正社員	1,319	33.4	10.5	30.7	9.6	7.4	2.0	0.2	0.1	5.2	1.1
本業・非正社員＋副業・非雇用者	1,244	24.8	1.0	33.4	12.5	5.5	2.3	0.4	0.2	15.0	4.7
本業・正社員＋副業・正社員	119	28.6	37.8	16.0	11.8	1.7	0.8	0.0	0.0	2.5	0.8
本業・非雇用者＋副業・正社員	78	39.7	29.5	1.3	14.1	1.3	0.0	0.0	1.3	7.7	5.1
本業・非正社員＋副業・正社員	19	26.3	10.5	31.6	10.5	0.0	0.0	0.0	0.0	15.8	5.3

### 主たる副業

主たる副業の仕事内容をみると、「本業・非正社員＋副業・非正社員」では「サービスの職業」が28.5%でもっとも多く、次いで「専門・技術的職業」(18.5%)、「事務的職業」(18.2%)などの順となっている。また、「本業・正社員＋副業・非正社員」では「専門・技術的職業」が28.9%でもっとも多く、これに次いで「サービスの職業」(27.1%)となっている。一方、「本業・非雇用者＋副業・非雇用者」では「専門的・技術的職業」が38.4%と4割近い割合で、「管理的職業」も10.6%となっており、「サービスの職業」や



「事務的職業」の割合は他に比べて低い（図表 2-7-15）。

図表 2-7-15：本業と主たる副業の就業形態の組み合わせ 主たる副業の仕事内容（単位：％）

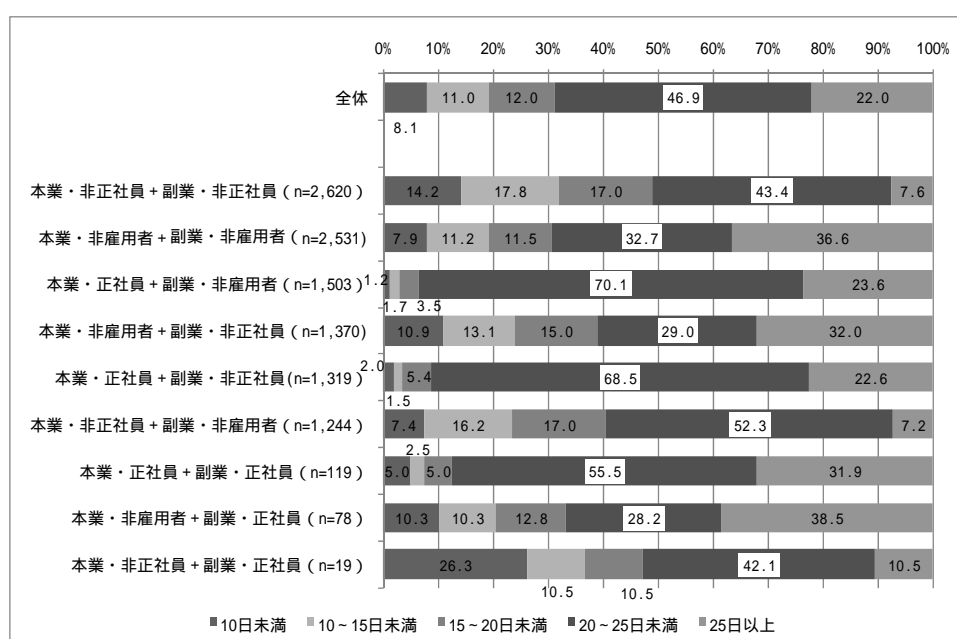
	全体 (n)	主たる副業の仕事内容									
		専門・技術的職業	管理的職業	事務的職業	販売的職業	生産工程・労務に関わる職業	運輸・通信的職業	保安的職業	農・林・漁業に関わる職業	サービスの職業	その他
全体	10,803	29.4	4.6	13.5	10.0	4.7	3.0	0.5	2.0	17.1	15.1
本業・非正社員+副業・非正社員	2,620	18.5	0.3	18.2	10.1	4.9	3.7	0.4	0.4	28.5	14.9
本業・非雇用者+副業・非雇用者	2,531	38.4	10.6	8.9	11.3	3.4	1.3	0.2	2.1	8.9	14.9
本業・正社員+副業・非雇用者	1,503	36.1	8.3	8.7	11.2	2.9	0.5	0.0	6.6	7.3	18.4
本業・非雇用者+副業・非正社員	1,370	24.2	1.2	16.7	8.9	7.6	7.3	1.4	1.2	18.6	12.8
本業・正社員+副業・非正社員	1,319	28.9	0.8	11.1	9.4	6.1	5.6	0.9	0.5	27.1	9.5
本業・非正社員+副業・非雇用者	1,244	32.7	1.7	16.9	7.7	4.8	1.2	0.1	2.2	10.9	21.8
本業・正社員+副業・正社員	119	26.1	29.4	12.6	9.2	3.4	1.7	1.7	0.8	7.6	7.6
本業・非雇用者+副業・正社員	78	25.6	16.7	24.4	14.1	5.1	1.3	1.3	0.0	6.4	5.1
本業・非正社員+副業・正社員	19	26.3	15.8	31.6	0.0	0.0	5.3	5.3	0.0	5.3	10.5

### (3) 1ヶ月あたりの実労働日数

#### 本業

本業の1ヶ月での就労日数をみると、「本業・非正社員+副業・非正社員」では「20～25日未満」が43.4%でもっとも多いが、「10日未満」の14.2%と「10～15日未満」の17.8%を合わせ15日未満も3割以上を占めている。また、「本業・正社員+副業・非正社員」では「20～25日未満」が68.5%と他と比べても割合が高い一方、「20日未満」は少ない。それに比べると「本業・非雇用者+副業・非雇用者」は就労日数が多くなっており、「20～25日未満」の32.7%と「25日以上」の36.6%を合わせ20日以上がほぼ7割となっている（図表 2-7-16）。

図表 2-7-16：本業と主たる副業の就業形態の組み合わせ 本業の実労働日数（単位：％）



## 主たる副業

主たる副業の1ヶ月での就労日数をみると、「本業・非正社員+副業・非正社員」では「5~10日未満」が31.8%でもっとも多く、「5日未満」が28.5%で続き、両者を合わせた10日未満の人が全体の6割を占める。また、「本業・正社員+副業・非正社員」も同様の傾向である。「本業・非雇用者+副業・非雇用者」も同様の順番で割合が高いが、「25日以上」の割合も1割(13.4%)あった。(図表2-7-17)。

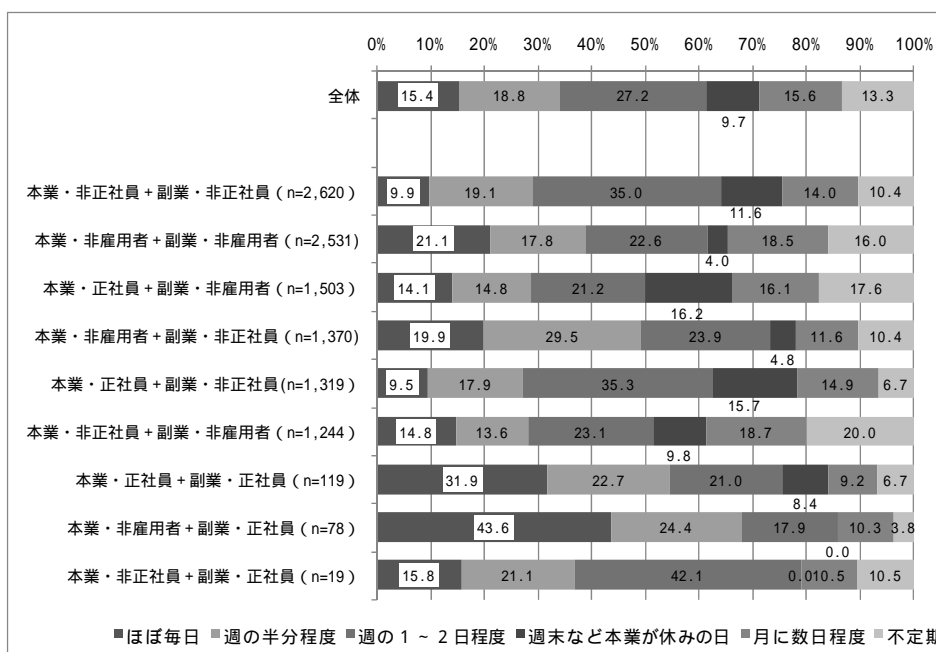
図表2-7-17：本業と主たる副業の就業形態の組み合わせ 主たる副業の実労働日数(単位：%)

	全体(n)	主たる副業の日数					
		5日未満	5~10日未満	10~15日未満	15~20日未満	20~25日未満	25日以上
全体	10,803	25.2	28.6	18.5	9.8	9.4	8.6
本業・非正社員+副業・非正社員	2,620	28.5	31.8	18.2	8.9	8.2	4.4
本業・非雇用者+副業・非雇用者	2,531	21.5	26.2	19.5	9.8	9.6	13.4
本業・正社員+副業・非雇用者	1,503	28.7	28.6	17.8	8.3	6.8	9.8
本業・非雇用者+副業・非正社員	1,370	15.3	22.8	21.7	15.3	16.7	8.3
本業・正社員+副業・非正社員	1,319	30.6	32.7	17.5	8.6	6.4	4.2
本業・非正社員+副業・非雇用者	1,244	28.5	29.8	15.7	8.7	6.9	10.5
本業・正社員+副業・正社員	119	16.0	21.0	16.8	10.9	21.0	14.3
本業・非雇用者+副業・正社員	78	10.3	15.4	9.0	9.0	35.9	20.5
本業・非正社員+副業・正社員	19	10.5	36.8	36.8	5.3	5.3	5.3

## (4) 副業頻度

副業の頻度をみていくと、「本業・非正社員+副業・非正社員」では「週の1~2日程度」という人が35.0%でもっとも多く、「ほぼ毎日」(9.9%)はほぼ1割にとどまっている。また、「本業・正社員+副業・非正社員」も同様の傾向である。一方、「本業・非雇用者+副業・非雇用者」では、「ほぼ毎日」は21.1%と2割以上に及んでいる(図表2-7-18)。

図表2-7-18：本業と主たる副業の就業形態の組み合わせ 主たる副業の頻度(単位：%)

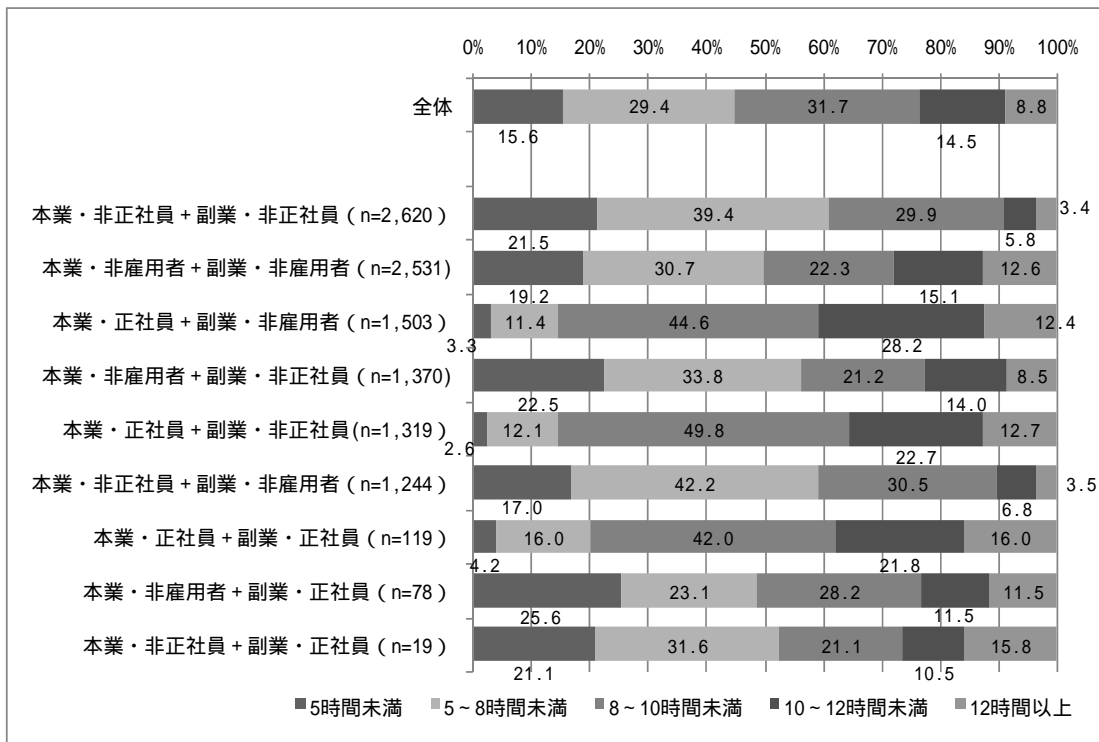


(5) 1日あたりの実労働時間

本業

本業の1日あたりの実労働時間（直近の月の実績）をみると、「本業・非正社員＋副業・非正社員」では「5時間未満」が21.5%、「5～8時間未満」が39.4%と比較的短い時間働いている人が多く、両者を合わせた8時間未満の人が6割（60.9%）を占めている。「本業・正社員＋副業・非雇用者」や「本業・正社員＋副業・非正社員」など本業が正社員のタイプでは、当然ながら「8～10時間未満」の割合が高い（いずれも4割台）（図表2-7-19）。

図表2-7-19：本業と主たる副業の就業形態の組み合わせ 本業の実労働時間（単位：%）



主たる副業

主たる副業の1日あたりの実労働時間（直近の月の実績）をみると、「本業・非正社員＋副業・非正社員」では「5～8時間未満」が33.8%でもっとも多く、次いで「3～5時間未満」（32.3%）、「8～10時間未満」（15.6%）などの順となっている。このタイプでは副業でも8時間未満という人が多数を占める。一方、「本業・非雇用者＋副業・非雇用者」は、「3～5時間未満」が35.7%でもっとも多い。また「3時間未満」の人の割合（23.0%）が「本業・非正社員＋副業・非正社員」よりも10ポイント近く高い。「本業・正社員＋副業・非雇用者」、「本業・正社員＋副業・非正社員」では、正社員の仕事に差し支えのない範囲で副業をしているからか、8時間以上の割合が低く、「3～5時間未満」がもっとも割合が高い（それぞれ36.5%、34.3%）（図表2-7-20）。

図表 2-7-20：本業と主たる副業の就業形態の組み合わせ 主たる副業の実労働時間（単位：％）

	全体 (n)	主たる副業の時間					
		3時間未満	3～5時間未 満	5～8時間未 満	8～10時間 未満	10～12時間 未満	12時間以上
全体	10,803	19.2	33.7	28.8	12.1	3.3	2.9
本業・非正社員＋副業・非正社員	2,620	13.6	32.3	33.8	15.6	2.4	2.2
本業・非雇用者＋副業・非雇用者	2,531	23.0	35.7	24.7	8.5	4.5	3.6
本業・正社員＋副業・非雇用者	1,503	28.0	36.5	23.1	7.1	2.7	2.7
本業・非雇用者＋副業・非正社員	1,370	10.5	28.1	36.3	19.1	2.6	3.4
本業・正社員＋副業・非正社員	1,319	11.6	34.3	31.8	14.7	4.2	3.3
本業・非正社員＋副業・非雇用者	1,244	30.5	35.7	22.7	5.9	3.1	2.1
本業・正社員＋副業・正社員	119	20.2	26.9	26.9	15.1	5.0	5.9
本業・非雇用者＋副業・正社員	78	12.8	26.9	26.9	26.9	5.1	1.3
本業・非正社員＋副業・正社員	19	42.1	42.1	10.5	5.3	0.0	0.0

(6) 収入(月収)

本業の月収

本業の月収(直近の月の実績)をみていくと、「本業・非正社員＋副業・非正社員」では「10～20万円未満」が32.8%と最も多く、「5～10万円未満」が30.6%で続いている。この就業形態の組み合わせでは「5万円未満」という人も1割以上(14.0%)おり、平均月収額が最も低い。また、「本業・正社員＋副業・非正社員」では「20～30万円未満」が33.5%と最も多く、これに「10～20万円未満」(22.1%)が続いている。さらに、「本業・非雇用者＋副業・非雇用者」では「10～20万円未満」が21.2%と最も多い一方、「20～30万円未満」が18.5%、「30～40万円未満」が14.0%の他、「70万円以上」も9.4%となっている(図表2-7-21)。

図表 2-7-21：本業と主たる副業の就業形態の組み合わせ 本業の月収(単位：％)

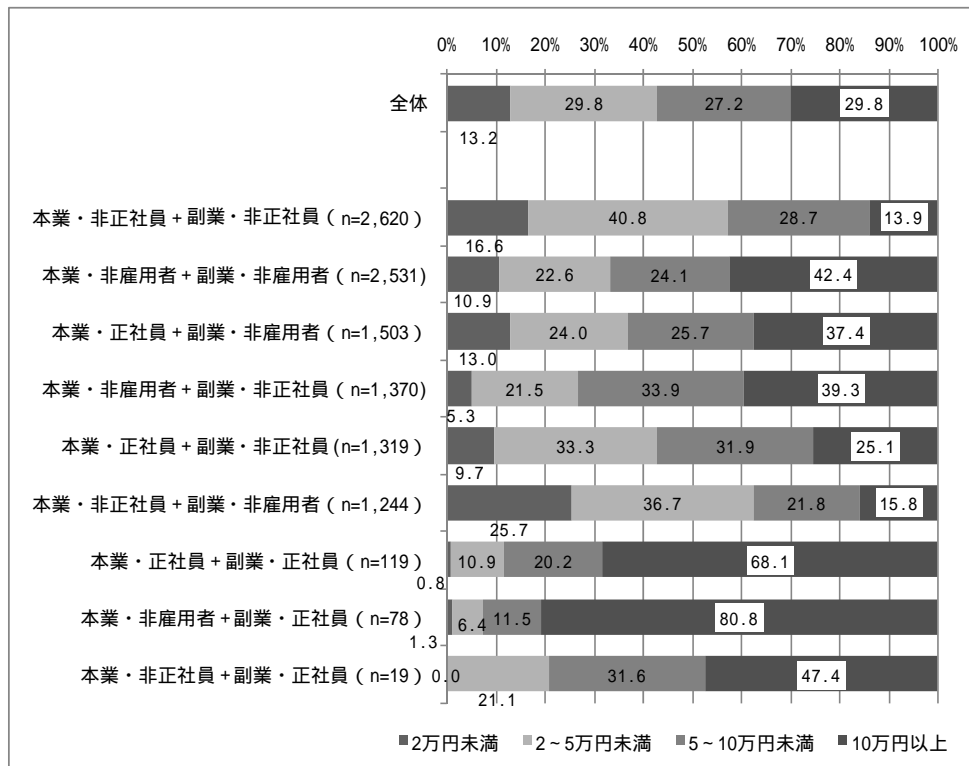
	全体 (n)	本業月収額									位平均 ・千円 (単)	位中央 ・千円 (単)
		5 万 円 未 満	5 } 1 未 0 満 万 円	1 0 } 円 2 未 0 満 万	2 0 } 円 3 未 0 満 万	3 0 } 円 4 未 0 満 万	4 0 } 円 5 未 0 満 万	5 0 } 円 6 未 0 満 万	6 0 } 円 7 未 0 満 万	7 0 } 万 円 以 上		
全体	10,803	7.3	16.0	25.4	21.2	12.8	6.3	4.4	2.1	4.6	247.1	200.0
本業・非正社員＋副業・非正社員	2,620	14.0	30.6	32.8	16.1	3.9	1.2	0.7	0.2	0.5	135.2	100.0
本業・非雇用者＋副業・非雇用者	2,531	6.8	11.9	21.2	18.5	14.0	7.6	6.8	3.8	9.4	309.7	205.0
本業・正社員＋副業・非雇用者	1,503	0.1	0.0	14.3	28.2	25.7	13.2	9.3	3.7	5.5	351.6	300.0
本業・非雇用者＋副業・非正社員	1,370	9.1	17.8	30.7	17.6	10.6	5.6	2.3	1.6	4.7	223.5	150.0
本業・正社員＋副業・非正社員	1,319	0.1	0.6	22.1	33.5	19.9	10.6	6.0	2.6	4.7	317.0	260.0
本業・非正社員＋副業・非雇用者	1,244	9.8	29.5	30.7	19.6	6.4	1.4	1.3	0.4	0.8	155.4	120.0
本業・正社員＋副業・正社員	119	0.0	0.0	13.4	22.7	27.7	11.8	4.2	5.0	15.1	412.8	302.0
本業・非雇用者＋副業・正社員	78	5.1	0.0	26.9	17.9	15.4	9.0	7.7	0.0	17.9	401.0	277.5
本業・非正社員＋副業・正社員	19	5.3	21.1	21.1	21.1	15.8	0.0	10.5	5.3	0.0	230.9	200.0

### 主たる副業の月収

主たる副業の月収（直近の実績）をみると、「本業・非正社員＋副業・非正社員」は「2～5万円未満」が40.8%でもっとも多く、「2万円未満」（16.6%）と合わせた5万円未満の人で6割近くを占めている。「10万円以上」という人は13.9%で、すべてのタイプのなかでもっとも割合が低くなっている。「本業・非雇用者＋副業・非雇用者」と「本業・正社員＋副業・非雇用者」では、「10万円以上」の割合がもっとも高く、いずれも5万円以上の人で全体の6割以上を占めている。「本業・正社員＋副業・非正社員」では「2～5万円未満」（33.3%）と「5～10万円未満」（31.9%）で合わせて6割以上となっており、「10万円以上」（25.1%）は4人に1人の割合となっている（図表2-7-22）。

なお、主たる副業月収の平均額をみると、副業が正社員のタイプは総じて額が高くなっており、額がもっとも低かったのは「本業・非正社員＋副業・非雇用者」（約5万4,400円）で、次いで「本業・非正社員＋副業・非正社員」（約5万5,000円）となっている（図表2-7-23）。

図表2-7-22：本業と主たる副業の就業形態の組み合わせ 主たる副業の月収（単位：％）



図表 2-7-23：本業と主たる副業の就業形態の組み合わせ 主たる副業の月収（単位：％）

	全体 (n)	主たる副業の月収額									位平均値 (千円) (単)	位中央値 (千円) (単)
		1万円未満	1}2万円未満	2}3万円未満	3}4万円未満	4}5万円未満	5}10万円未満	10万円未満	15万円未満	20万円以上		
全体	10,803	3.3	9.9	11.0	11.6	7.2	27.2	13.7	5.0	11.1	87.6	50.0
本業・非正社員+副業・非正社員	2,620	4.1	12.5	15.1	14.4	11.3	28.7	8.3	2.6	2.9	55.0	40.0
本業・非雇用者+副業・非雇用者	2,531	2.4	8.5	9.0	9.2	4.4	24.1	16.2	6.7	19.5	117.4	65.0
本業・正社員+副業・非雇用者	1,503	3.7	9.3	9.6	9.8	4.5	25.7	16.6	5.1	15.6	103.2	50.0
本業・非雇用者+副業・非正社員	1,370	1.1	4.2	6.4	8.2	6.9	33.9	20.4	8.0	10.9	98.2	76.0
本業・正社員+副業・非正社員	1,319	1.9	7.8	9.7	13.6	10.0	31.9	12.8	4.9	7.4	77.9	50.0
本業・非正社員+副業・非雇用者	1,244	7.7	18.0	16.1	15.4	5.3	21.8	9.2	1.9	4.7	54.4	30.0
本業・正社員+副業・正社員	119	0.0	0.8	5.0	3.4	2.5	20.2	18.5	13.4	36.1	201.8	123.0
本業・非雇用者+副業・正社員	78	1.3	0.0	2.6	1.3	2.6	11.5	15.4	7.7	57.7	245.6	200.0
本業・非正社員+副業・正社員	19	0.0	0.0	10.5	10.5	0.0	31.6	21.1	21.1	5.3	96.8	85.0

### 本業の月収と主たる副業の月収の総計

本業の月収（直近の実績）と主たる副業の月収（直近の実績）の総計をみると、全体では「10～20万円未満」（22.5％）がもっとも多いが、「本業・正社員+副業・非正社員」では「20～30万円未満」（30.3％）、「30～40万円未満」（25.7％）の割合が高く、「本業・正社員+副業・正社員」や「本業・非雇用者+副業・正社員」では「70万円以上」がそれぞれ32.8％、34.6％ともっとも高い割合となっている（図表 2-7-24）。

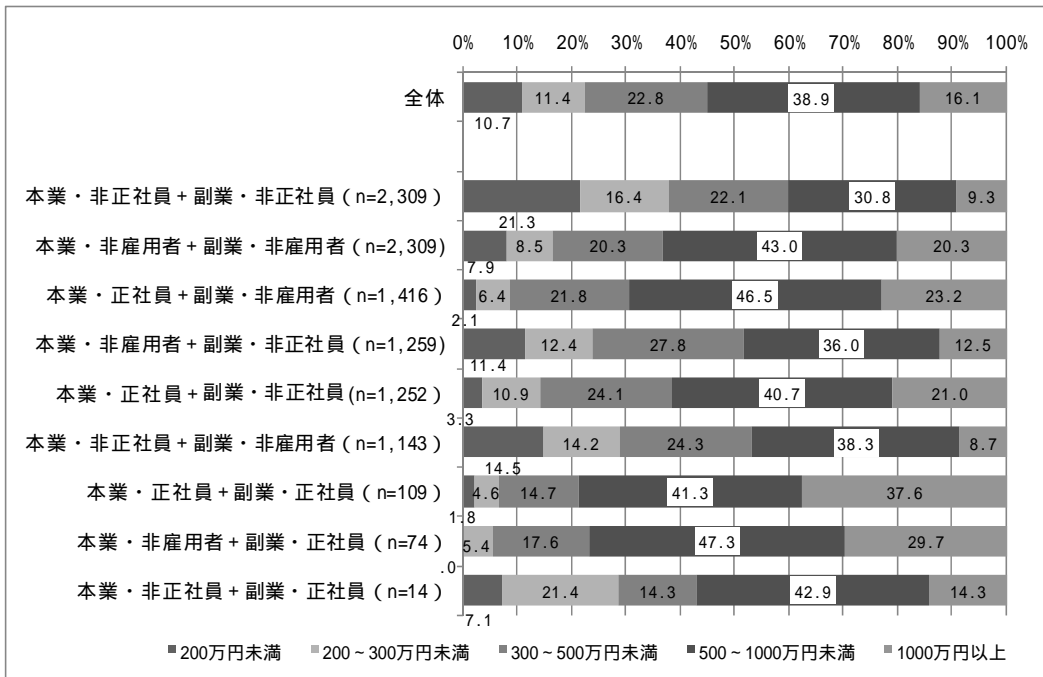
図表 2-7-24：本業と主たる副業の就業形態の組み合わせ 本業月収と副業月収の総計（単位：％）

	全体 (n)	月収総額 (本業+副業)									位平均値 (千円) (単)	位中央値 (千円) (単)
		5万円未満	5}10万円未満	10}20万円未満	20}30万円未満	30}40万円未満	40}50万円未満	50}60万円未満	60}70万円未満	70万円以上		
全体	10,803	2.1	9.5	22.5	22.2	15.5	9.0	5.9	3.8	9.5	347.0	260.0
本業・非正社員+副業・非正社員	2,620	3.9	19.0	37.3	24.0	9.3	3.3	1.1	0.8	1.4	197.4	162.0
本業・非雇用者+副業・非雇用者	2,531	2.4	7.8	16.4	17.1	13.8	9.8	8.3	6.1	18.3	449.0	330.0
本業・正社員+副業・非雇用者	1,503	0.0	0.1	7.7	19.2	23.1	17.8	11.4	6.9	13.8	464.8	396.0
本業・非雇用者+副業・非正社員	1,370	0.9	7.2	26.4	24.2	16.5	8.6	5.0	3.6	7.5	334.4	252.0
本業・正社員+副業・非正社員	1,319	0.0	0.2	9.0	30.3	25.7	13.1	8.4	3.7	9.6	404.4	330.0
本業・非正社員+副業・非雇用者	1,244	3.6	18.6	34.6	22.9	10.8	3.8	2.3	1.3	2.1	214.8	170.0
本業・正社員+副業・正社員	119	0.0	0.0	2.5	15.1	13.4	20.2	11.8	4.2	32.8	650.0	490.0
本業・非雇用者+副業・正社員	78	0.0	1.3	5.1	10.3	15.4	12.8	10.3	10.3	34.6	687.9	532.5
本業・非正社員+副業・正社員	19	0.0	0.0	26.3	26.3	15.8	15.8	5.3	10.5	0.0	332.0	290.0

### (7) 世帯収入

世帯収入（ただし、副業による収入は除く）をみると、「本業・非正社員+副業・非正社員」は、「200万円未満」（21.3％）、「200～300万円未満」（16.4％）、「300～500万円未満」（22.1％）と合わせ500万円未満が全体のほぼ6割となっている。一方、「本業・非雇用者+副業・非雇用者」と「本業・正社員+副業・非雇用者」は、ともに500万円以上の人で全体の6割を占める。「本業・正社員+副業・非正社員」など、本業が正社員のタイプでは「500～1000万円未満」がそれぞれもっとも多くなっており、「本業・正社員+副業・正社員」では「1000万円以上」世帯（37.6％）が4割近くもみられた（図表 2-7-25）。

図表 2-7-25：本業と主たる副業の就業形態の組み合わせ 世帯収入（単位：％）



注) 「わからない」の回答を除いて集計

#### 4. 副業の動機

副業している理由について、まず、複数回答での結果からみていくと、「本業・非正社員 + 副業・非正社員」では6割（64.0％）が「収入を増やしたいから」をあげ、次いで「1つの仕事だけでは生活自体が営めないから」（31.6％）が多く、収入面での理由が上位にあがっている。「本業・非雇用者 + 副業・非雇用者」も「収入を増やしたいから」（42.5％）がもっとも割合が高かったが、このタイプでは2番目に割合が高かったのは「自分が活躍できる場を広げたいから」（34.3％）であり、「現在の仕事で培った能力を活用するため」（23.2％）の割合も高い。「自分が活躍できる場を広げたいから」は、「本業・正社員 + 副業・非雇用者」（33.4％）など副業が非雇用者のタイプでいずれも高い割合となっている（図表 2-7-26）。なお、単一回答での結果は図表 2-7-27 のとおりである。

図表 2-7-26：本業と主たる副業の就業形態の組み合わせ 副業理由（複数回答 単位：％）

	全体 (n)	は1つ生活の仕事が営めないから	収入を増やしたい	負債を抱えたい金や	口を閉ざしたいから	転職したいから	独立したいから	場を自分が活躍できる	様々な分野で活躍できる	現在の仕事を活用する	現在の仕事を活用する	時間のゆとりがある	に好きな仕事が本業か	つ、別の仕事の性格	本業の仕事を自然に	仕事を頼まれたか	その他
全体	10,803	26.5	52.7	9.7	2.4	6.3	26.8	21.2	14.7	20.4	14.2	7.9	16.8	4.8			
本業・非正社員 + 副業・非正社員	2,620	31.6	64.0	10.6	2.6	2.8	19.5	17.8	7.8	26.0	8.7	5.2	14.0	2.1			
本業・非雇用者 + 副業・非雇用者	2,531	24.1	42.5	6.1	1.1	4.3	34.3	23.9	23.2	19.4	13.9	13.4	17.9	4.8			
本業・正社員 + 副業・非雇用者	1,503	12.6	47.3	7.3	4.1	16.4	33.4	23.1	17.0	12.9	23.8	6.3	17.6	8.7			
本業・非雇用者 + 副業・非正社員	1,370	41.5	55.5	11.6	0.7	2.9	23.4	26.2	13.7	24.1	6.3	7.2	16.4	3.4			
本業・正社員 + 副業・非正社員	1,319	26.6	61.3	17.7	4.7	5.1	22.3	21.1	13.2	17.5	9.8	8.6	19.0	2.0			
本業・非正社員 + 副業・非雇用者	1,244	21.6	47.0	7.3	1.7	10.9	28.0	16.8	10.8	19.9	28.9	3.2	16.2	9.6			
本業・正社員 + 副業・正社員	119	21.8	38.7	8.4	6.7	7.6	26.9	13.4	19.3	15.1	13.4	16.0	19.3	6.7			
本業・非雇用者 + 副業・正社員	78	25.6	33.3	6.4	1.3	3.8	17.9	16.7	20.5	15.4	5.1	16.7	30.8	7.7			
本業・非正社員 + 副業・正社員	19	26.3	31.6	5.3	15.8	0.0	15.8	10.5	10.5	15.8	15.8	0.0	21.1	15.8			

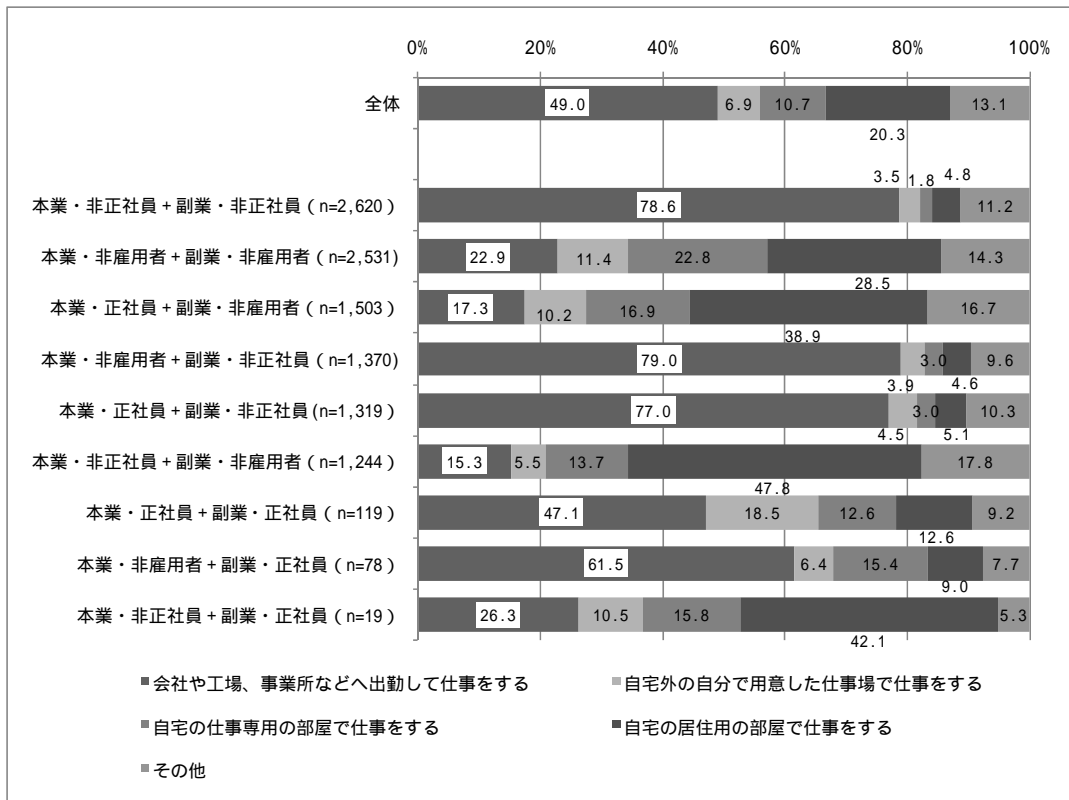
図表 2-7-27：本業と主たる副業の就業形態の組み合わせ 副業理由（単一回答 単位：％）

	全体 (n)	は1つの生活の自事だけではないから	収入を増やしたいから	ローンなど借金を抱えているため	転職したいから	独立したいから	自分が活躍できる場を広げたいから	様々な分野の人とつながりがあるから	現在の仕事を活用するため	時間のゆとりがあるから	に副業のほうが本業が自然だ	本業の性格が自然だ	仕事を頼まれたか断りきれなかった	その他
全体	10,803	15.1	31.1	3.4	0.5	2.3	9.4	4.2	4.2	6.2	7.3	3.5	8.7	4.0
本業・非正社員+副業・非正社員	2,620	11.8	25.2	1.7	1.7	1.7	9.2	4.2	5.9	6.7	6.7	8.4	10.1	6.7
本業・非雇用者+副業・非雇用者	2,531	13.6	38.8	8.7	1.2	1.5	6.2	3.6	3.8	3.4	3.8	4.2	9.6	1.6
本業・正社員+副業・非雇用者	1,503	5.5	27.3	2.0	0.6	6.9	12.2	3.9	4.5	4.2	12.6	3.1	9.3	7.9
本業・非雇用者+副業・非正社員	1,370	15.8	21.1	0.0	10.5	0.0	5.3	0.0	0.0	5.3	5.3	0.0	21.1	15.8
本業・正社員+副業・非正社員	1,319	18.6	42.9	4.1	0.6	0.8	6.3	3.2	1.8	7.4	3.4	1.8	7.8	1.3
本業・非正社員+副業・非雇用者	1,244	10.5	25.2	2.4	0.2	3.5	9.0	3.0	2.3	7.2	18.1	1.3	9.6	7.8
本業・正社員+副業・正社員	119	17.9	12.8	2.6	1.3	1.3	9.0	6.4	9.0	6.4	2.6	10.3	12.8	7.7
本業・非雇用者+副業・正社員	78	29.0	27.4	3.1	0.1	0.9	7.2	6.4	4.2	7.1	2.0	2.4	7.4	2.6
本業・非正社員+副業・正社員	19	12.8	23.1	1.6	0.3	1.5	14.0	5.1	7.4	6.7	7.9	6.4	8.8	4.4

### 5. 主たる副業での出勤形態

主たる副業での出勤形態をみると、「本業・非正社員+副業・非正社員」、「本業・非雇用者+副業・非正社員」、「本業・正社員+副業・非正社員」といった副業が非正社員のタイプでは「会社や工場、事業所などへ出勤して仕事をする」がいずれも8割近くを占めている。一方、「本業・非雇用者+副業・非雇用者」と「本業・正社員+副業・非雇用者」では、「自宅の居住用の部屋で仕事をする」の割合がもっとも高くなっている（それぞれ28.5%、38.9%）（図表 2-7-28）。

図表 2-7-28：本業と主たる副業の就業形態の組み合わせ 主たる副業での出勤形態（単位：％）





なお、「会社や工場、事業所などへ出勤して仕事をする」と「自宅外の自分で用意した仕事場で仕事をする」を「在宅勤務以外」、「自宅の仕事専用の部屋で仕事をする」と「自宅の居住用の部屋で仕事をする」を「在宅勤務」として、各割合をみると、「本業・非雇用者＋副業・非雇用者」、「本業・正社員＋副業・非雇用者」、「本業・非正社員＋副業・非雇用者」などで「在宅勤務」の割合が5割以上に達した（図表2-7-29）。

図表2-7-29：本業と主たる副業の就業形態の組み合わせ 主たる副業での在宅勤務（単位：％）

	全体 (n)	在宅 勤務	在宅 勤務 以外
全体	10,803	31.0	69.0
本業・非正社員＋副業・非正社員	2,620	6.6	93.4
本業・非雇用者＋副業・非雇用者	2,531	51.4	48.6
本業・正社員＋副業・非雇用者	1,503	55.8	44.2
本業・非雇用者＋副業・非正社員	1,370	7.6	92.4
本業・正社員＋副業・非正社員	1,319	8.1	91.9
本業・非正社員＋副業・非雇用者	1,244	61.5	38.5
本業・正社員＋副業・正社員	119	25.2	74.8
本業・非雇用者＋副業・正社員	78	24.4	75.6
本業・非正社員＋副業・正社員	19	57.9	42.1

<参考> 「平成19年就業構造基本調査」(総務省)における副業者の属性  
(有業者ベース)

1. 有業者に占める副業者の割合

	総数(人)	割合(%)
総数	65,977,500	100.0
うち副業者	2,617,100	4.0
男性	1,530,500	58.5
女性	1,086,600	41.5

注) 男女は副業者計を100とした場合の割合

2. 年齢

	総数(人)	割合(%)
副業者計	2,617,100	100.0
15-19歳	27,300	1.0
20-24歳	132,800	5.1
25-29歳	131,100	5.0
30-34歳	172,700	6.6
35-39歳	201,200	7.7
40-44歳	255,900	9.8
45-49歳	315,600	12.1
50-54歳	349,700	13.4
55-59歳	435,100	16.6
60-64歳	271,600	10.4
65-69歳	169,300	6.5
70-74歳	95,000	3.6
75歳以上	59,700	2.3

3. 本業の就業形態

	総数(人)	割合(%)
副業者計	2,617,100	100.0
自営業主	436,900	16.7
うち起業者	295,800	11.3
家族従業者	76,400	2.9
雇用者	2,102,600	80.3
会社などの役員	317,500	12.1
うち起業者	155,100	5.9
正規の職員・従業員	763,700	29.2
パート	445,100	17.0
アルバイト	260,900	10.0
労働者派遣事業所の派遣社員	62,900	2.4
契約社員	110,000	4.2
嘱託	65,200	2.5
その他	75,100	2.9

#### 4. 副業の就業形態

	総数(人)	割合(%)
副業者計	2,617,100	100.0
自営業主	906,300	34.6
家族従業者	421,200	16.1
雇用者	1,266,400	48.4

#### 5. 本業の業種

	総数(人)	割合(%)
副業者計	2,617,100	100.0
農業	134,200	5.1
林業	5,900	0.2
漁業	20,500	0.8
鉱業	2,700	0.1
建設業	223,600	8.5
製造業	310,100	11.8
電気・ガス・熱供給・水道業	6,800	0.3
情報通信業	73,200	2.8
運輸業	109,900	4.2
卸売・小売業	453,200	17.3
金融・保険業	49,000	1.9
不動産業	75,600	2.9
飲食店, 宿泊業	150,500	5.8
医療, 福祉	239,900	9.2
教育, 学習支援業	193,800	7.4
複合サービス事業	38,400	1.5
サービス業(他に分類されないもの)	406,400	15.5
公務(他に分類されないもの)	61,500	2.3
分類不能の産業	62,000	2.4

#### 6. 副業の業種

	総数(人)	割合(%)
副業者計	2,617,100	100.0
農業	645,500	24.7
林業	4,400	0.2
漁業	20,400	0.8
鉱業	100	0.0
建設業	87,300	3.3
製造業	146,800	5.6
電気・ガス・熱供給・水道業	900	0.0
情報通信業	34,100	1.3
運輸業	65,500	2.5
卸売・小売業	330,700	12.6
金融・保険業	20,100	0.8
不動産業	164,200	6.3
飲食店, 宿泊業	177,300	6.8
医療, 福祉	148,100	5.7
教育, 学習支援業	196,300	7.5
複合サービス事業	10,700	0.4
サービス業(他に分類されないもの)	412,200	15.8
公務(他に分類されないもの)	30,700	1.2
分類不能の産業	121,700	4.7